

令和 6 年度
授業改善のための学生アンケート報告書

－ 全 体 集 計 －

第 I 部

令和 7 年 3 月

拓殖大学 F D 委員会

はじめに

「学修者本位の教育」が求められています。いうまでもなく教育とは学生のためのものであり、教育機関に求められている教育の質保証は、学修者本位の教育の質保証でなければなりません。本学では「拓殖大学F D委員会」が中心となり、「教員の授業の改善に役立てること、並びに本学の教育の質の向上を図ること」を目的に「授業改善のための学生アンケート」を実施しています。本学ではアンケート集計結果にもとづく分析、学生の意見や教員による授業の振り返りを通じて、授業内容・教育方法の改善やカリキュラム全体の見直し、学修支援環境の充実などにつなげ、学生の主体的な学びを促す効果的学修の推進に取り組んでいます。

令和3年度からWebシステムを使用したアンケート形式を導入しました。これにより実施科目を原則すべての科目へと拡充し、結果の迅速なフィードバックもできるようになりました。アンケート実施の目的を合理的に達成できる環境が整ったといえます。

また、令和5年度までは、「教職課程科目」と「日本語教員養成講座科目」を一括で集計していましたが、今年度より、それぞれの科目区分ごとに集計結果を分けて集計・分析できるよう改修を行い、授業改善をより詳細に行うための体制を整えました。

本報告書は、令和6年度に実施した「授業改善のための学生アンケート」を基に「全体集計」（第Ⅰ部）と「科目別集計」（第Ⅱ部）の2部構成にまとめました。

第Ⅰ部では、大学全体から各学部・学科まできめ細かな分析を試み、各学部における評価及び課題を明確にしました。本学ホームページにて学内外に公表します。

第Ⅱ部では「科目別集計（個表）」の形で授業評価に参加した全教員のデータとともに、学生の主な意見、並びにこれに対する担当教員の所見を掲載し、学内イントラネット上で公表します。

教員各位におかれましては、本報告書を活用し、自身のアンケート結果を過去と比較し、他の教員や他学部の状況も参考にしながら、今後の改善に役立てていただくようお願いいたします。大学全体としては、教育の質の向上を図るための教学マネジメントの一環として、各学部における取組に対して適切な支援などを行ってまいります。

令和7年3月

拓殖大学 学長
鈴 木 昭 一

目 次

はじめに

I 学生アンケートの実施について

1. 経緯と実施方針	3
2. 実施状況	3
3. 集計結果の概要	3
4. 今後の取組	4

II 実施状況

1. 実施期間	7
2. 実施教員数	7
3. 実施科目数	8
4. アンケート回答数（延べ人数）	8
5. 学科目別実施科目数	8

III 全体集計

1. 学科目別（講義等科目）平均値・標準偏差値	11
2. 教員所属別（講義等科目）平均値・標準偏差値	
(1) 専任教員所属別	12
(2) 講師（非常勤）所属別	13
3. 履修登録者数別比較表（講義科目）	14
4. 設問項目ごとの集計結果（年度比較）	
(1) 学科目別平均値	
①商学部初期教育科目	15
②商学部専門科目	16
③政経学部専門科目	17
④外国語学部専門科目	18
⑤工学部専門科目（講義等科目、実験・実習科目別）	19
⑥国際学部専門科目	21
⑦教養教育科目	22
⑧外国語科目	23
⑨スポーツ・トレーニング科目	24
⑩教職課程科目	25
⑪ゼミ・外書講読科目	26
⑫日本語教員養成講座科目	27
⑬全体（講義等科目）	28
(2) 学生所属別平均値・標準偏差（講義科目）	
①学年別	29
②学科別	30

(3) 満足度平均値	
①学科目別	32
②所属別	33
③身分別	34
④年齢別	35
5. 学科目別 回答の分析	36
6. 学部等設問項目 平均値・標準偏差	41
7. 学部等設問項目 教員別回答別表・グラフ	43

IV 評価及び課題

1. 商学部	49
2. 政経学部	51
3. 外国語学部	54
4. 工学部	56
5. 国際学部	62
6. 教養教育（教養教育科目）	65
（外国語科目）	67
（スポーツ・トレーニング科目）	69
7. 教職課程科目	74
8. 日本語教員養成講座科目	77

参考資料

実施要領	81
アンケート様式	83

I 学生アンケートの実施について

1. 経緯と実施方針

拓殖大学における教育内容と方法の改善を目的とした組織的な取り組みは、1992 年（平成 4 年）の拓殖大学自己点検評価委員会の設置から始まり、各学部到自己点検評価委員会が設置され、検証と評価を繰り返しながら教育の改革・改善に取り組んできました。2012 年（平成 24 年）4 月から拓殖大学 F D 委員会による取組として現在に至っております。

具体的には、1994 年（平成 6 年）から始まった「学生による授業評価（現・授業改善のための学生アンケート）」の実施、全学的な F D ワークショップ及び各学部独自の F D ワークショップ開催、教育・研究等業績報告書の作成、新任教員研修会の実施などです。このうち「授業改善のための学生アンケート」（以下、学生アンケート）は、これら一連の教育改革の柱となるものであり、次のような特色を持っています。

- （1）大学（5 学部）全体の取り組みとして実施していること。
- （2）全教員が参加していること。
- （3）授業科目ごとの集計表には、統計処理したデータだけでなく学生からの要望・担当教員の所見及び改善に向けた取り組み方針を記載し、改善に向けて取り組んでいること。
- （4）集計・分析結果のみならず、授業科目毎の集計及び担当教員による所見を公開し、全教員が参照できるようにしていること。

2. 実施状況

令和 6 年度「授業改善のための学生アンケート」は、全教員〔専任教員 222 名、講師（非常勤）368 名〕を対象に実施いたしました。また、令和 3 年度より、学生アンケートは Web システムを使用したアンケート形式を導入し、学外委託科目等一部科目を除く全科目での実施をいたしました。

実施科目数は専任教員で 1,011 科目（令和 5 年度〈以降同様〉1,115 科目）、講師（非常勤）で 1,149 科目（1,165 科目）、合計 2,160 科目（2,280 科目）、また、学生からの述べ回答数は 36,371 人（44,715 人）となりました。

3. 集計結果の概要

学生アンケートを実施した全授業科目の「満足度」の平均は 4.18 となり、令和 5 年度と比べ 0.03pt 上がりましたが、その数値は、学部別、科目分野別で差があります。たとえば専任教員の学部別では、国際学部の 4.32 が最も高く、外国語学部 4.31、政経学部 4.24、商学部 4.19、工学部 3.90 と続いています。

区分別の満足度は、ゼミ・外書講読（4.57）が最も高く、次いで日本語教員養成講座科目（4.34）、以下、教職課程科目（4.33）、外国語学部専門科目（4.29）、国際学部専門

科目（4.23）、外国語科目（4.20）、教養教育科目（4.14）、政経学部専門科目（4.13）、商学部専門科目（4.11）、商学部初期教育科目（3.95）、工学部専門科目〔講義〕（3.86）と続いています。

学生の学年別「満足度」では、高学年になるほど高い傾向であり、また教員の身分別では特別非常勤講師（4.26／12人）が最も高く、以下、教授（4.21／151人）、准教授（4.17／58人）、講師（非常勤）（4.16／293人）、助教（4.10／10人）の結果となりました。

教員の年齢別では、最も高い数値は40歳代（4.22）であり、逆に最も低い数値は40歳未満、50歳代同率で（4.16）となりました。

「満足度」以外の項目については、今後の課題も含め学部別あるいは学科目別に詳細に分析されているので、本報告書「V評価と課題」をご覧ください。

4. 今後の取組

（1）客観性が担保されるアンケート実施の継続

令和3年度から導入された Web システムを利用した実施方法については、回答者の匿名性が保たれる方法を引き続き継続して実施していくこと。

（2）アンケート実施率及び回答者数の向上

適宜、各学部所属長や学務課と連携を図り、教員のアンケート実施率及び学生の回答者数向上を目指していくこと。

（3）「授業改善のための学生アンケート」結果（満足度）が低い科目への対応

教育力の底上げを図るため、科目の満足度が2年連続2.9以下となった教員については、改善方法の検討を促し、報告書の提出を求めるなどの対応をとること。

少子高齢化と文部科学省による定員管理の厳格化から、大学を取り巻く環境が厳しくなっている折、本学においても持続可能な社会の担い手を育むため、教育の質と学生満足度の向上に向けた取り組みを一層追求する必要があります。

国際的な視野を持ち、タフな人間力を身につけた『拓殖人材』を育むためには、学修者本位の教育の質の向上は当然の責務であり、本委員会では『授業改善のための学生アンケート』を大学教学マネジメントの柱の一つと位置づけ、積極的に学士教育課程の編成・実施に係る組織的な取り組みを行っていくことといたします。

令和7年3月

拓殖大学FD委員会
委員長 山田 政通

Ⅱ 実施状況

1. 実施期間

2024年12月2日（月）～14日（土）

2. 実施教員数

1) 専任教員

所 属	実施対象教員数	実 施 者 数	未 実 施 者 数	実 施 率（％）
商 学 部	49	47	2	95.92%
政 経 学 部	56	56	0	100.00%
外国語学部	31	31	0	100.00%
工 学 部	49	49	0	100.00%
国 際 学 部	32	31	1	96.88%
兼 担	5	5	0	100.00%
合 計	222	219	3	98.65%

（注）専任教員：教授、准教授、助教

2) 講師（非常勤）

所 属	実施対象教員数	実 施 者 数	未 実 施 者 数	実 施 率（％）
商 学 部	102	90	12	88.24%
政 経 学 部	102	81	21	79.41%
外国語学部	64	56	8	87.50%
工 学 部	43	32	11	74.42%
国 際 学 部	47	38	9	80.85%
兼 担	10	10	0	100.00%
合 計	368	307	61	83.42%

（注）講師（非常勤）：客員教授を含む

3) 全体

所 属	実施対象教員数	実 施 者 数	未 実 施 者 数	実 施 率（％）
専 任 教 員	222	219	3	98.65%
講 師（非常勤）	368	307	61	83.42%
合 計	590	526	64	89.15%

3. 実施科目数

所 属	専 任 教 員	非 常 勤 講 師	合 計
商 学 部	235	346	581
政 経 学 部	309	262	571
外 国 語 学 部	163	240	403
工 学 部	134	91	225
国 際 学 部	158	175	333
兼 担	12	35	47
合 計	1,011	1,149	2,160

4. アンケート回答数（延べ人数）

回 答 者 の 所 属	1 年	2 年	3 年	4 年	そ の 他	合 計
商 学 部	4,167	3,460	1,946	802	5	10,380
政 経 学 部	4,645	3,934	2,377	904	2	11,862
外 国 語 学 部	1,436	1,270	866	415	4	3,991
工 学 部	2,226	1,857	956	71	8	5,118
国 際 学 部	1,879	1,809	931	370	31	5,020
合 計	14,353	12,330	7,076	2,562	50	36,371

5. 学科目別実施科目数

所 属	商 学 部	政 経 学 部	外 国 語 学 部	工 学 部	国 際 学 部	兼 担	合 計
商学部初期教育科目	21						21
商学部専門科目	155	1	6		4	2	168
政経学部専門科目	8	175	1		1	10	195
外国語学部専門科目	5	4	255	3	6	9	282
工学部専門科目（講義）		1		103	1		105
工学部専門科目（実験実習）				32			32
国際学部専門科目	1		1		52	3	57
教養教育科目	31	46	22	10	25	7	141
外国語科目	241	178	62	63	152	14	710
スポーツ・トレーニング科目		5		6	3		14
教職課程科目	12	12	4	8	10		46
ゼミナール・外書講読	107	149	52		79	2	389
日本語教員養成講座科目			5		2	1	8
合 計	581	571	408	225	335	48	2,168

（注）教養教育科目：国際学部基礎科目を含む

外国語科目：英語、第2外国語、選択外国語、地域言語、留学生用の日本語

Ⅲ 全体集計

1. 学科目別（講義等科目） 平均値・標準偏差

設問項目	区分	商学部初 期教育科 目	商学部専 門科目	政経学部 専門科目	外国語学 部専門科 目	工学部専 門科目 (講義)	国際学部 専門科目	教養教育 科目	外国語科 目	教職課程 科目	ゼミナ ール・外 書講読	日本語教 員養成講 座科目	全体
		科目数: (21)	科目数: (168)	科目数: (195)	科目数: (282)	科目数: (105)	科目数: (57)	科目数: (141)	科目数: (710)	科目数: (46)	科目数: (389)	科目数: (8)	科目数: (2122)
1-(1)	平均値	4.67	4.62	4.63	4.51	4.69	4.56	4.64	4.58	4.66	4.66	4.54	4.61
	標準偏差	0.64	0.69	0.65	0.70	0.60	0.67	0.64	0.68	0.59	0.63	0.72	0.66
1-(2)	平均値	3.25	4.02	3.98	4.15	3.73	4.04	3.79	4.16	4.23	3.90	4.09	4.01
	標準偏差	1.29	0.98	1.02	0.83	1.07	0.92	1.05	0.83	0.76	1.05	0.83	0.96
1-(3)	平均値	1.51	1.74	1.70	1.97	1.93	1.82	1.62	1.99	1.66	2.44	1.99	1.88
	標準偏差	0.93	1.00	0.93	1.00	1.04	1.05	0.90	1.03	0.92	1.34	1.08	1.04
2-(1)	平均値	4.19	4.31	4.33	4.39	4.19	4.29	4.27	4.33	4.46	4.48	4.44	4.33
	標準偏差	0.78	0.68	0.67	0.65	0.68	0.68	0.71	0.68	0.61	0.64	0.60	0.68
2-(4)	平均値	3.91	4.19	4.17	4.30	3.97	4.21	4.12	4.20	4.38	4.48	4.44	4.20
	標準偏差	1.02	0.82	0.85	0.76	0.90	0.76	0.82	0.80	0.69	0.62	0.67	0.81
2-(5)	平均値	4.00	4.25	4.24	4.27	4.02	4.21	4.12	4.23	4.35	4.44	4.23	4.23
	標準偏差	0.91	0.76	0.77	0.71	0.82	0.75	0.81	0.73	0.68	0.68	0.73	0.76
2-(6)	平均値	3.60	3.80	3.73	4.31	3.59	3.98	3.77	4.26	4.24	4.54	4.51	4.03
	標準偏差	1.05	1.03	1.03	0.75	1.03	0.94	1.00	0.76	0.78	0.62	0.65	0.94
2-(7)	平均値	2.42	2.34	2.29	2.61	2.44	2.41	2.13	2.50	2.14	3.34	2.47	2.46
	標準偏差	1.33	1.28	1.27	1.34	1.26	1.35	1.24	1.30	1.27	1.28	1.35	1.32
2-(8)	平均値	4.04	4.25	4.26	4.40	4.04	4.31	4.18	4.28	4.48	4.57	4.46	4.28
	標準偏差	0.86	0.72	0.73	0.67	0.80	0.69	0.75	0.72	0.63	0.60	0.62	0.73
2-(9)	平均値	4.14	4.32	4.38	4.45	4.26	4.38	4.29	4.38	4.52	4.49	4.55	4.37
	標準偏差	0.94	0.75	0.72	0.65	0.76	0.65	0.73	0.69	0.64	0.70	0.55	0.71
2-(10)	平均値	4.09	4.21	4.22	4.33	4.04	4.22	4.17	4.26	4.39	4.38	4.44	4.23
	標準偏差	0.87	0.79	0.80	0.70	0.89	0.76	0.78	0.74	0.69	0.71	0.65	0.77
2-(11)	平均値	3.87	3.90	3.91	4.16	3.64	4.05	4.00	4.04	4.20	4.38	4.14	4.01
	標準偏差	0.98	0.88	0.87	0.73	0.97	0.78	0.80	0.81	0.69	0.65	0.71	0.84
2-(12)	平均値	3.79	3.96	3.97	4.16	3.73	4.15	4.00	4.00	4.26	4.47	4.18	4.03
	標準偏差	0.99	0.90	0.90	0.81	0.98	0.79	0.87	0.90	0.75	0.64	0.77	0.89
2-(13)	平均値	3.71	3.98	3.97	4.12	3.67	4.16	4.01	3.94	4.31	4.46	4.28	4.01
	標準偏差	0.99	0.85	0.87	0.81	0.97	0.76	0.84	0.88	0.67	0.64	0.62	0.86
2-(14)	平均値	3.95	4.11	4.13	4.29	3.86	4.23	4.14	4.20	4.33	4.57	4.34	4.18
	標準偏差	0.94	0.82	0.82	0.76	0.94	0.73	0.82	0.80	0.68	0.61	0.72	0.81

○回答「3.0」が適切である項目

2-(2)	平均値	3.54	3.53	3.50	3.39	3.67	3.35	3.37	3.39	3.30	3.27	3.43	3.43
	標準偏差	0.89	0.70	0.72	0.66	0.78	0.63	0.68	0.71	0.58	0.58	0.62	0.70
2-(3)	平均値	3.40	3.16	3.19	3.12	3.28	3.16	3.14	3.16	3.16	3.04	3.13	3.16
	標準偏差	0.83	0.53	0.55	0.46	0.62	0.48	0.47	0.52	0.50	0.33	0.42	0.52

2. 教員所属別（講義等科目）

（1）専任教員所属別

設問項目	区分	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼任教員	専任教員全体	講師全体	全体
		科目数： (235)	科目数： (307)	科目数： (163)	科目数： (98)	科目数： (155)	科目数： (12)	科目数： (970)	科目数： (1144)	科目数： (2114)
1-(1)	平均値	4.64	4.65	4.59	4.67	4.58	4.59	4.63	4.58	4.61
	標準偏差	0.67	0.64	0.66	0.62	0.67	0.67	0.65	0.67	0.66
1-(2)	平均値	3.98	4.07	4.11	3.70	4.00	4.22	3.99	4.02	4.01
	標準偏差	0.99	0.96	0.87	1.08	0.97	0.96	0.99	0.94	0.96
1-(3)	平均値	1.85	1.86	2.09	1.89	1.94	1.70	1.89	1.88	1.88
	標準偏差	1.08	1.07	1.09	1.02	1.12	0.96	1.08	1.01	1.04
2-(1)	平均値	4.35	4.37	4.39	4.21	4.32	4.23	4.34	4.32	4.33
	標準偏差	0.68	0.66	0.66	0.68	0.70	0.66	0.67	0.68	0.68
2-(4)	平均値	4.22	4.28	4.35	4.05	4.30	4.10	4.24	4.16	4.20
	標準偏差	0.82	0.78	0.73	0.87	0.71	0.83	0.79	0.83	0.81
2-(5)	平均値	4.26	4.31	4.25	4.07	4.29	4.14	4.26	4.20	4.23
	標準偏差	0.77	0.74	0.73	0.82	0.73	0.81	0.76	0.76	0.76
2-(6)	平均値	3.92	3.92	4.29	3.65	4.16	3.93	3.95	4.10	4.03
	標準偏差	1.02	1.01	0.77	1.03	0.84	0.90	0.99	0.88	0.94
2-(7)	平均値	2.46	2.46	2.68	2.38	2.60	2.31	2.49	2.44	2.46
	標準偏差	1.33	1.33	1.34	1.25	1.37	1.37	1.33	1.30	1.32
2-(8)	平均値	4.29	4.36	4.42	4.07	4.37	4.22	4.31	4.25	4.28
	標準偏差	0.73	0.69	0.67	0.79	0.68	0.79	0.72	0.73	0.73
2-(9)	平均値	4.36	4.40	4.43	4.29	4.39	4.29	4.38	4.36	4.37
	標準偏差	0.74	0.72	0.67	0.74	0.67	0.74	0.72	0.71	0.71
2-(10)	平均値	4.24	4.27	4.32	4.04	4.26	4.18	4.23	4.23	4.23
	標準偏差	0.78	0.78	0.72	0.89	0.72	0.74	0.79	0.76	0.77
2-(11)	平均値	3.99	4.02	4.17	3.69	4.19	3.95	4.01	4.00	4.00
	標準偏差	0.86	0.83	0.76	0.96	0.72	0.81	0.85	0.83	0.84
2-(12)	平均値	4.04	4.10	4.17	3.76	4.24	4.14	4.06	3.99	4.03
	標準偏差	0.88	0.86	0.83	0.97	0.75	0.78	0.88	0.90	0.89
2-(13)	平均値	4.06	4.11	4.15	3.72	4.24	4.10	4.07	3.95	4.01
	標準偏差	0.84	0.81	0.81	0.95	0.73	0.78	0.84	0.89	0.87
2-(14)	平均値	4.19	4.24	4.31	3.90	4.32	4.20	4.20	4.17	4.18
	標準偏差	0.81	0.78	0.76	0.92	0.70	0.82	0.81	0.82	0.81

○回答「3.0」が適切である項目

2-(2)	平均値	3.48	3.44	3.40	3.62	3.26	3.40	3.45	3.42	3.43
	標準偏差	0.68	0.69	0.67	0.79	0.61	0.69	0.70	0.71	0.70
2-(3)	平均値	3.14	3.13	3.13	3.25	3.11	3.21	3.15	3.18	3.16
	標準偏差	0.51	0.46	0.48	0.60	0.43	0.56	0.50	0.54	0.52

（注）専任教員：教授、准教授、助教

(2) 講師（非常勤）所属別

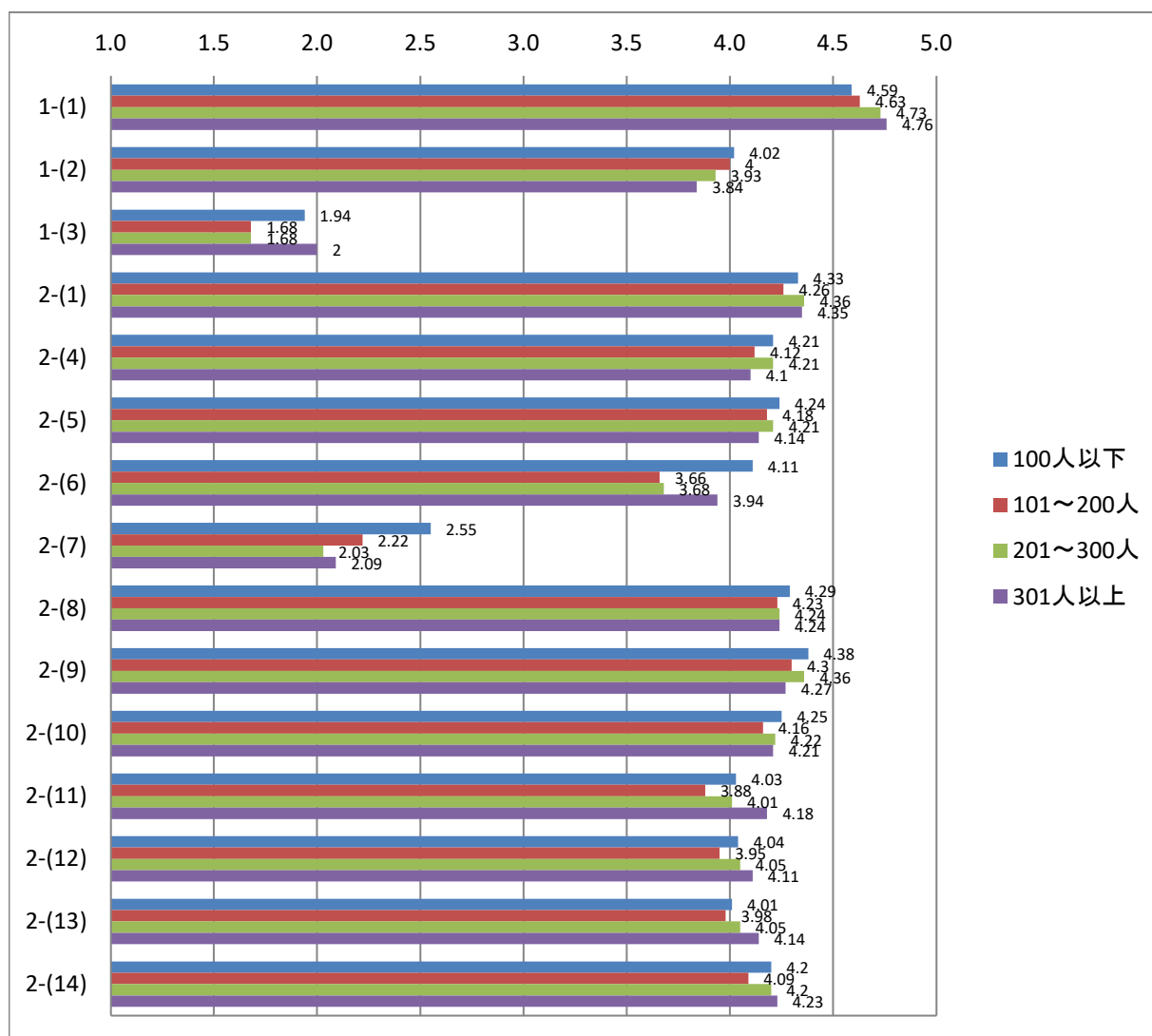
設問項目	区分	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼任教員	講師全体	専任教員全体	全体
		科目数: (346)	科目数: (259)	科目数: (240)	科目数: (89)	科目数: (175)	科目数: (35)	科目数: (1144)	科目数: (970)	科目数: (2114)
1-(1)	平均値	4.63	4.55	4.50	4.63	4.55	4.64	4.58	4.63	4.61
	標準偏差	0.64	0.70	0.71	0.64	0.70	0.61	0.67	0.65	0.66
1-(2)	平均値	4.10	3.92	4.06	3.96	3.98	4.15	4.02	3.99	4.01
	標準偏差	0.90	0.99	0.89	0.98	0.96	0.91	0.94	0.99	0.96
1-(3)	平均値	1.88	1.84	1.79	1.99	1.92	1.98	1.88	1.89	1.88
	標準偏差	1.02	0.98	0.94	1.06	1.03	1.05	1.01	1.08	1.04
2-(1)	平均値	4.33	4.30	4.35	4.24	4.30	4.41	4.32	4.34	4.33
	標準偏差	0.67	0.70	0.65	0.68	0.69	0.65	0.68	0.67	0.68
2-(4)	平均値	4.19	4.07	4.22	4.09	4.21	4.32	4.16	4.24	4.20
	標準偏差	0.82	0.89	0.80	0.82	0.78	0.72	0.83	0.79	0.81
2-(5)	平均値	4.24	4.14	4.25	4.09	4.19	4.21	4.20	4.26	4.23
	標準偏差	0.74	0.78	0.71	0.78	0.77	0.73	0.76	0.76	0.76
2-(6)	平均値	4.15	3.99	4.22	3.98	4.14	4.14	4.10	3.95	4.03
	標準偏差	0.87	0.94	0.80	0.93	0.84	0.80	0.88	0.99	0.94
2-(7)	平均値	2.47	2.30	2.46	2.47	2.54	2.52	2.44	2.49	2.46
	標準偏差	1.31	1.28	1.31	1.28	1.32	1.32	1.30	1.33	1.32
2-(8)	平均値	4.29	4.16	4.33	4.14	4.27	4.40	4.25	4.31	4.28
	標準偏差	0.73	0.77	0.69	0.73	0.73	0.67	0.73	0.72	0.73
2-(9)	平均値	4.38	4.34	4.37	4.32	4.37	4.44	4.36	4.38	4.37
	標準偏差	0.71	0.72	0.69	0.71	0.70	0.64	0.71	0.72	0.71
2-(10)	平均値	4.28	4.17	4.26	4.17	4.23	4.32	4.23	4.23	4.23
	標準偏差	0.73	0.78	0.73	0.79	0.78	0.73	0.76	0.79	0.77
2-(11)	平均値	4.03	3.94	4.08	3.87	4.03	4.16	4.00	4.01	4.00
	標準偏差	0.84	0.83	0.78	0.87	0.82	0.76	0.83	0.85	0.84
2-(12)	平均値	4.03	3.90	4.12	3.76	4.02	4.15	3.99	4.06	4.03
	標準偏差	0.90	0.90	0.83	0.95	0.89	0.82	0.90	0.88	0.89
2-(13)	平均値	3.97	3.86	4.07	3.76	3.98	4.16	3.95	4.07	4.01
	標準偏差	0.87	0.91	0.83	0.93	0.89	0.79	0.89	0.84	0.87
2-(14)	平均値	4.18	4.11	4.26	4.05	4.18	4.27	4.17	4.20	4.18
	標準偏差	0.83	0.84	0.76	0.84	0.81	0.75	0.82	0.81	0.81

○回答「3.0」が適切である項目

2-(2)	平均値	3.45	3.41	3.40	3.46	3.38	3.31	3.42	3.45	3.43
	標準偏差	0.73	0.70	0.68	0.77	0.70	0.62	0.71	0.70	0.70
2-(3)	平均値	3.21	3.16	3.13	3.19	3.17	3.14	3.18	3.15	3.16
	標準偏差	0.57	0.54	0.46	0.57	0.52	0.48	0.54	0.50	0.52

(注) 講師（非常勤）：客員教授を含む

3. 履修登録者数別比較表（講義科目）



(注) 2-(2) 難易度、2-(3) 進度 (3の回答が適切) は回答の基準が異なるため、掲載していない。

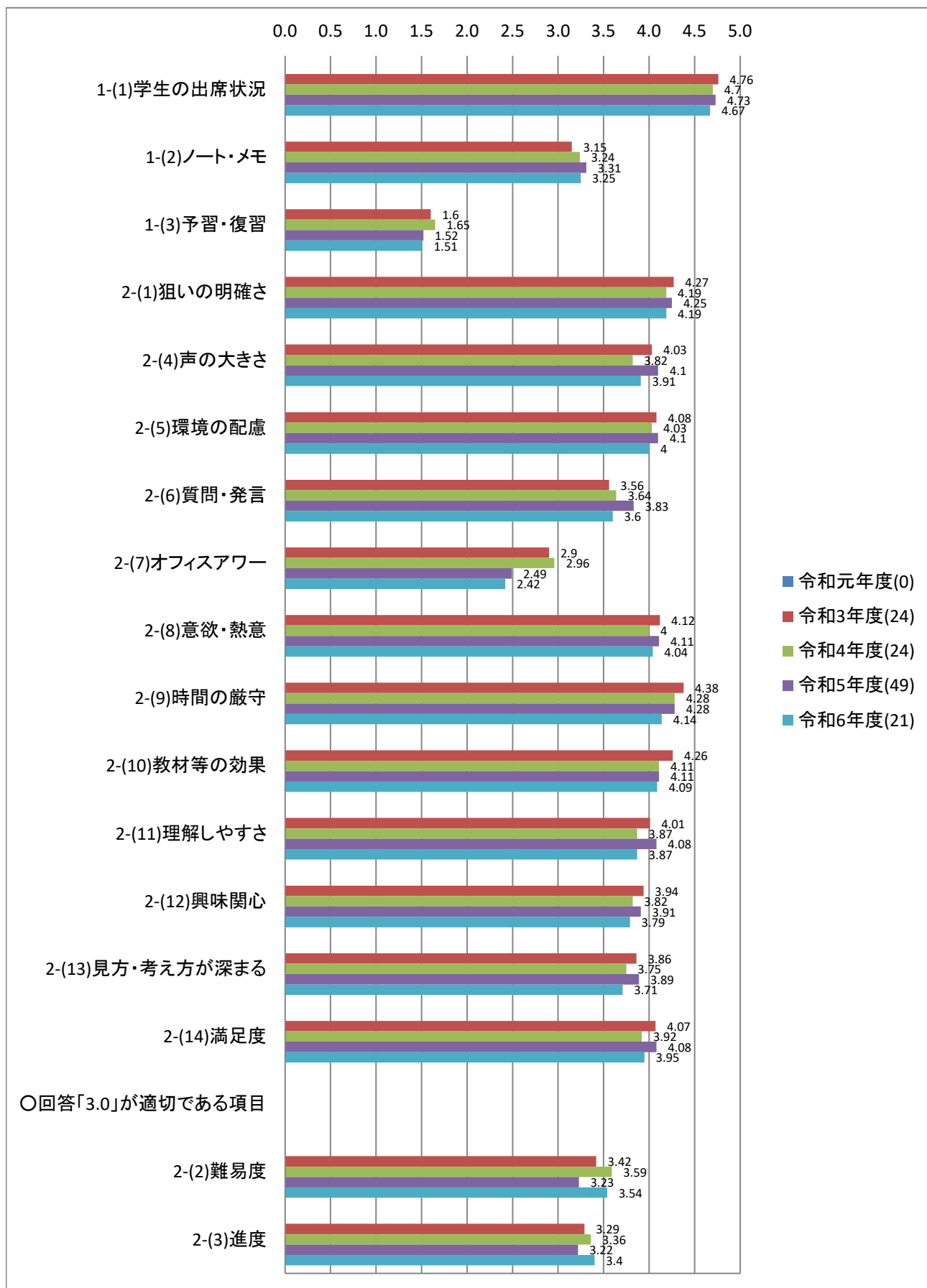
○平均値

区分		100人以下	101～200人	201～300人	301人以上
科目数		1,966	100	47	1
1-(1)	学生の出席状況	4.59	4.63	4.73	4.76
1-(2)	ノート・メモ	4.02	4.00	3.93	3.84
1-(3)	予習・復習	1.94	1.68	1.68	2.00
2-(1)	狙いの明確さ	4.33	4.26	4.36	4.35
2-(4)	声の大きさ	4.21	4.12	4.21	4.10
2-(5)	環境の配慮	4.24	4.18	4.21	4.14
2-(6)	質問・発言	4.11	3.66	3.68	3.94
2-(7)	オフィスアワー	2.55	2.22	2.03	2.09
2-(8)	意欲・熱意	4.29	4.23	4.24	4.24
2-(9)	時間の厳守	4.38	4.30	4.36	4.27
2-(10)	教材等の効果	4.25	4.16	4.22	4.21
2-(11)	理解しやすさ	4.03	3.88	4.01	4.18
2-(12)	興味関心	4.04	3.95	4.05	4.11
2-(13)	見方・考え方が深まる	4.01	3.98	4.05	4.14
2-(14)	満足度	4.20	4.09	4.20	4.23

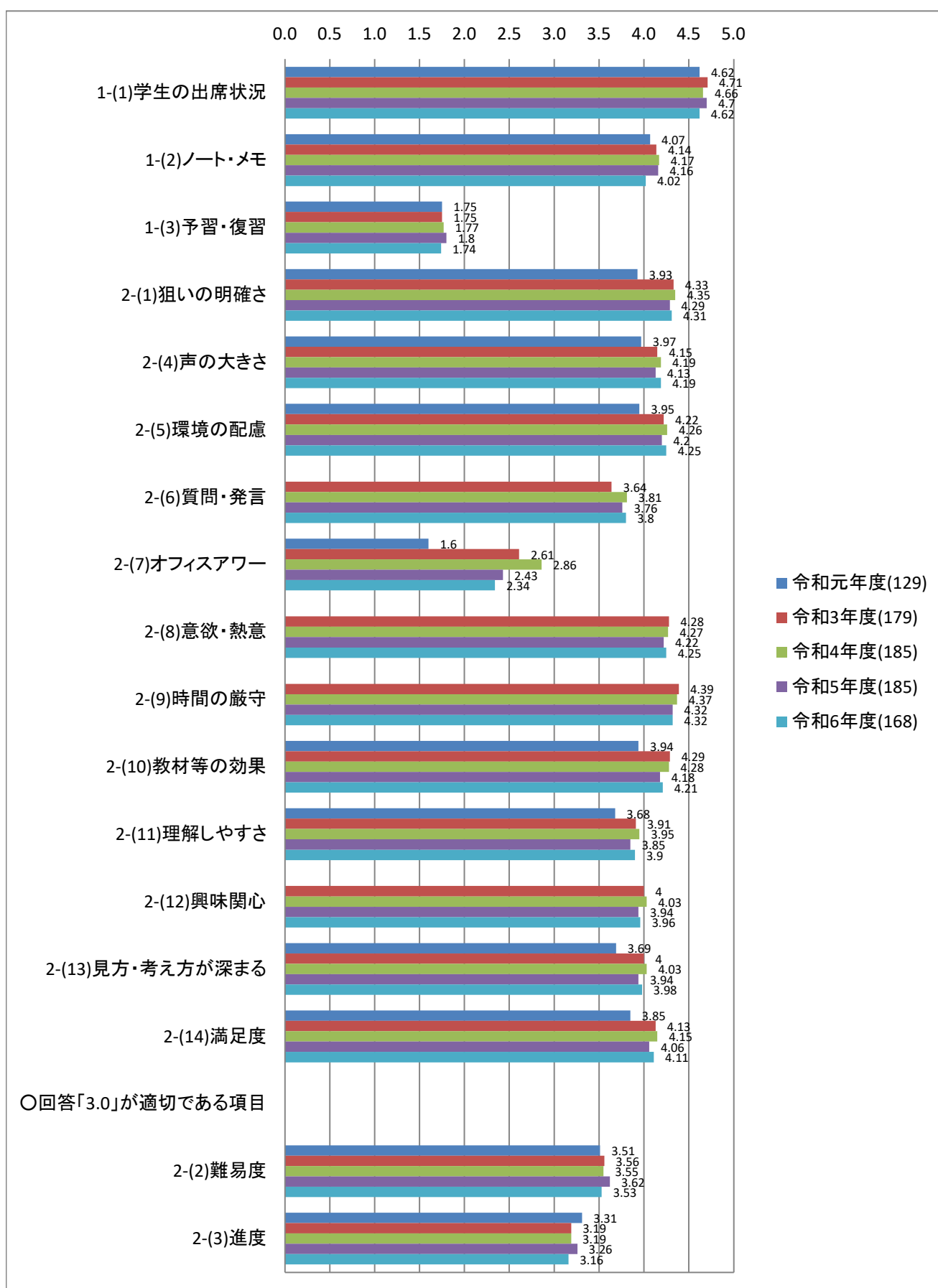
4. 設問項目ごとの集計結果（年度比較）

（１）学科目別平均値

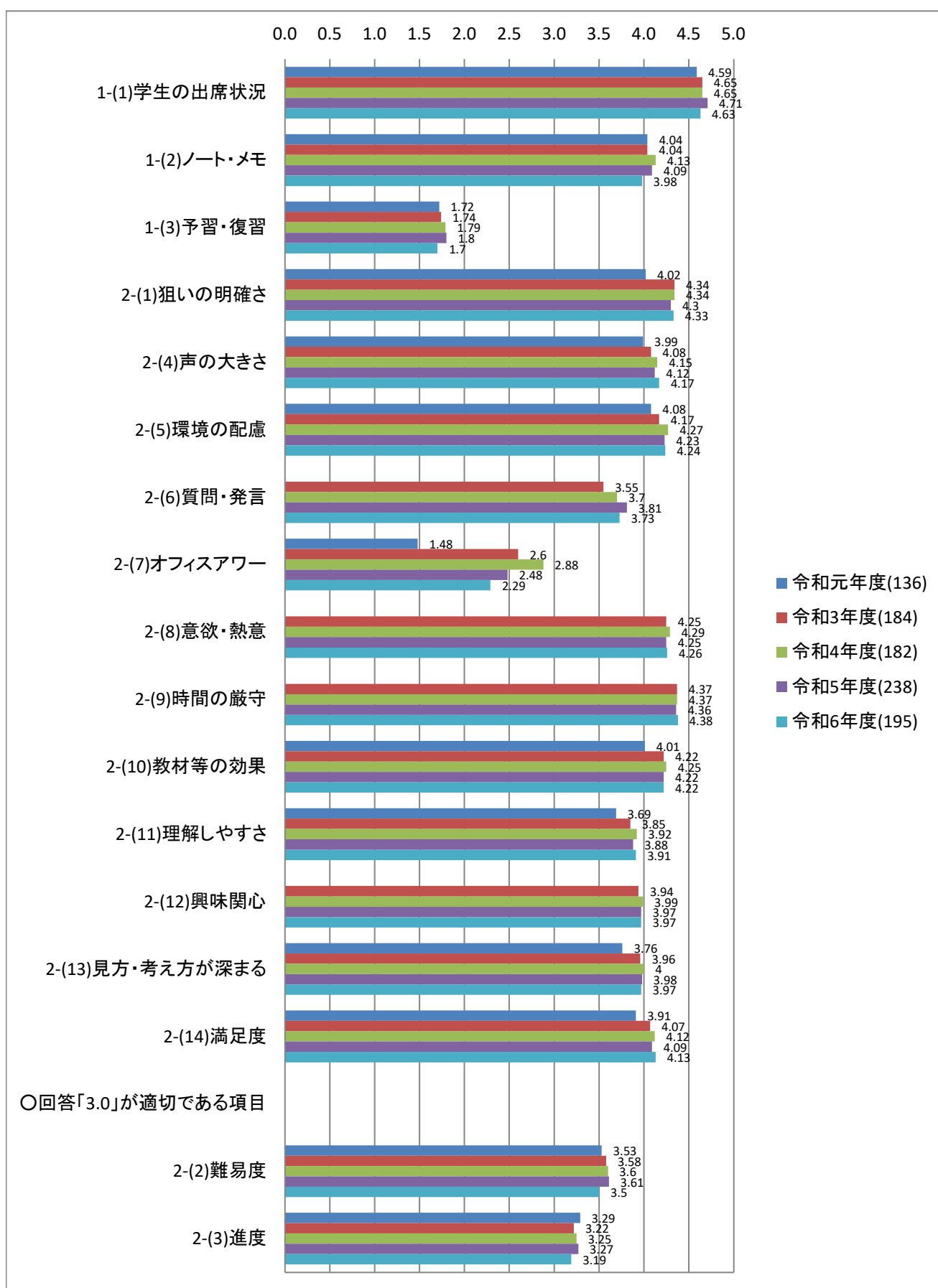
①商学部初期教育科目



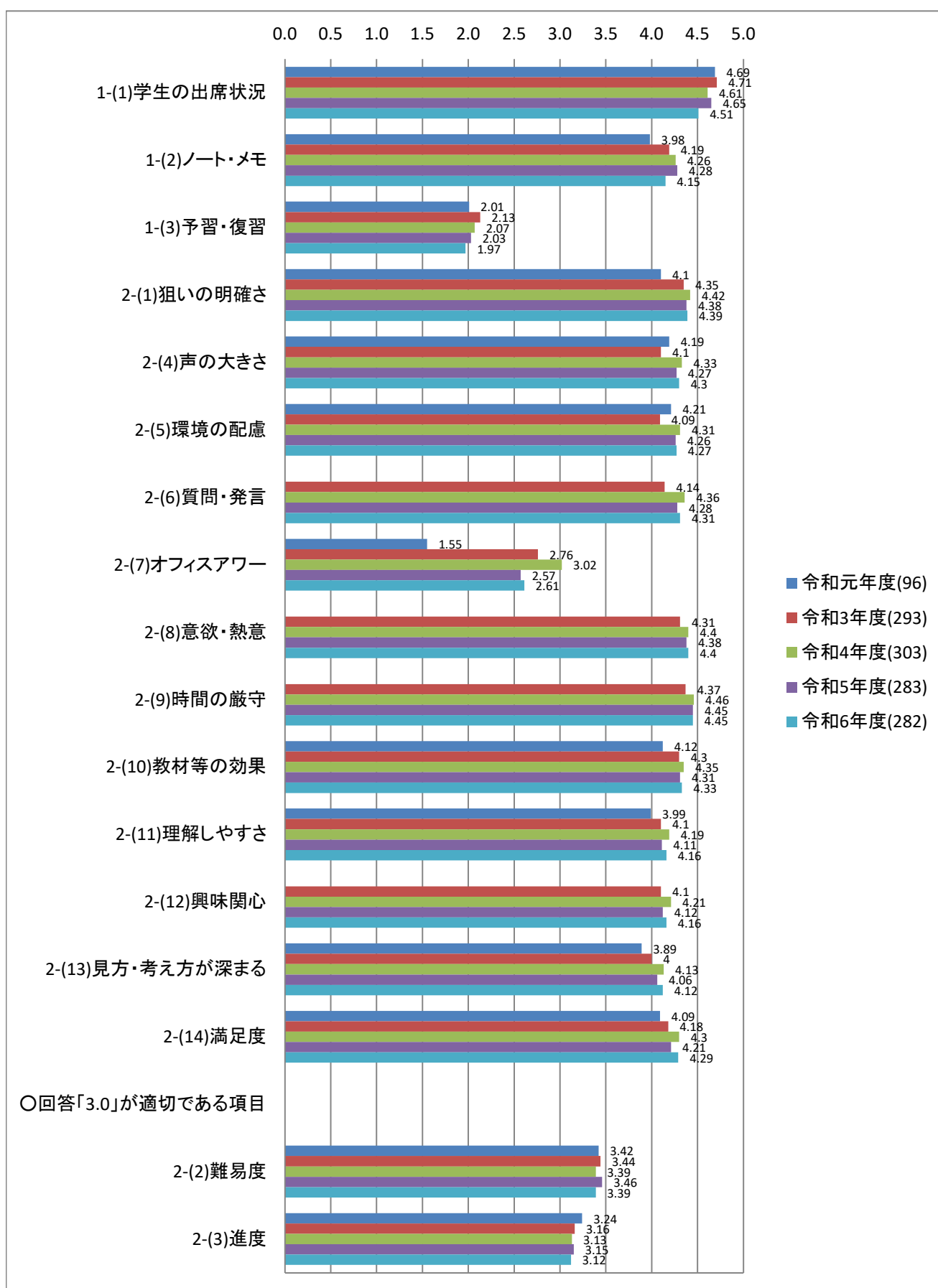
②商学部専門科目



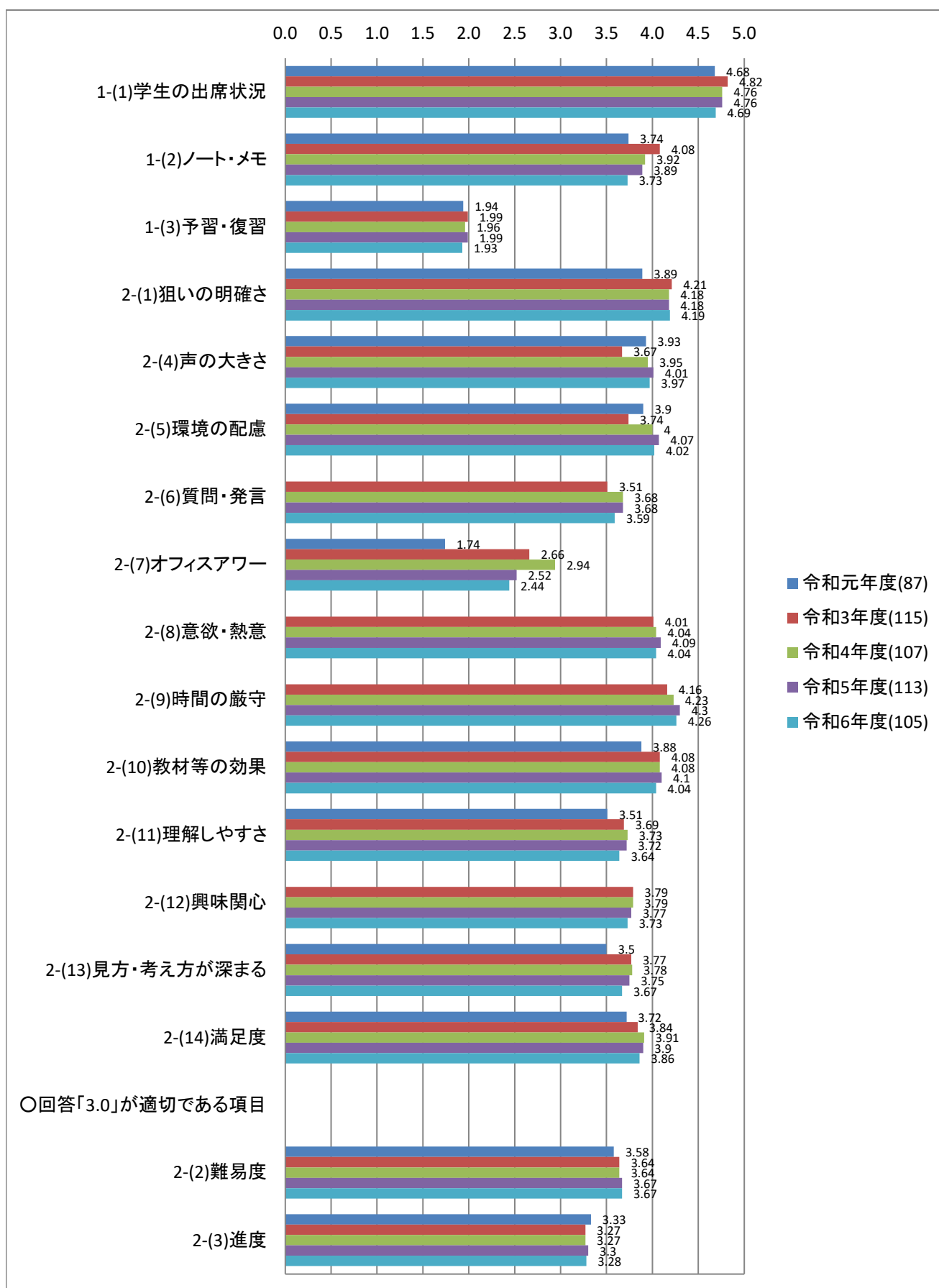
③政経学部専門科目



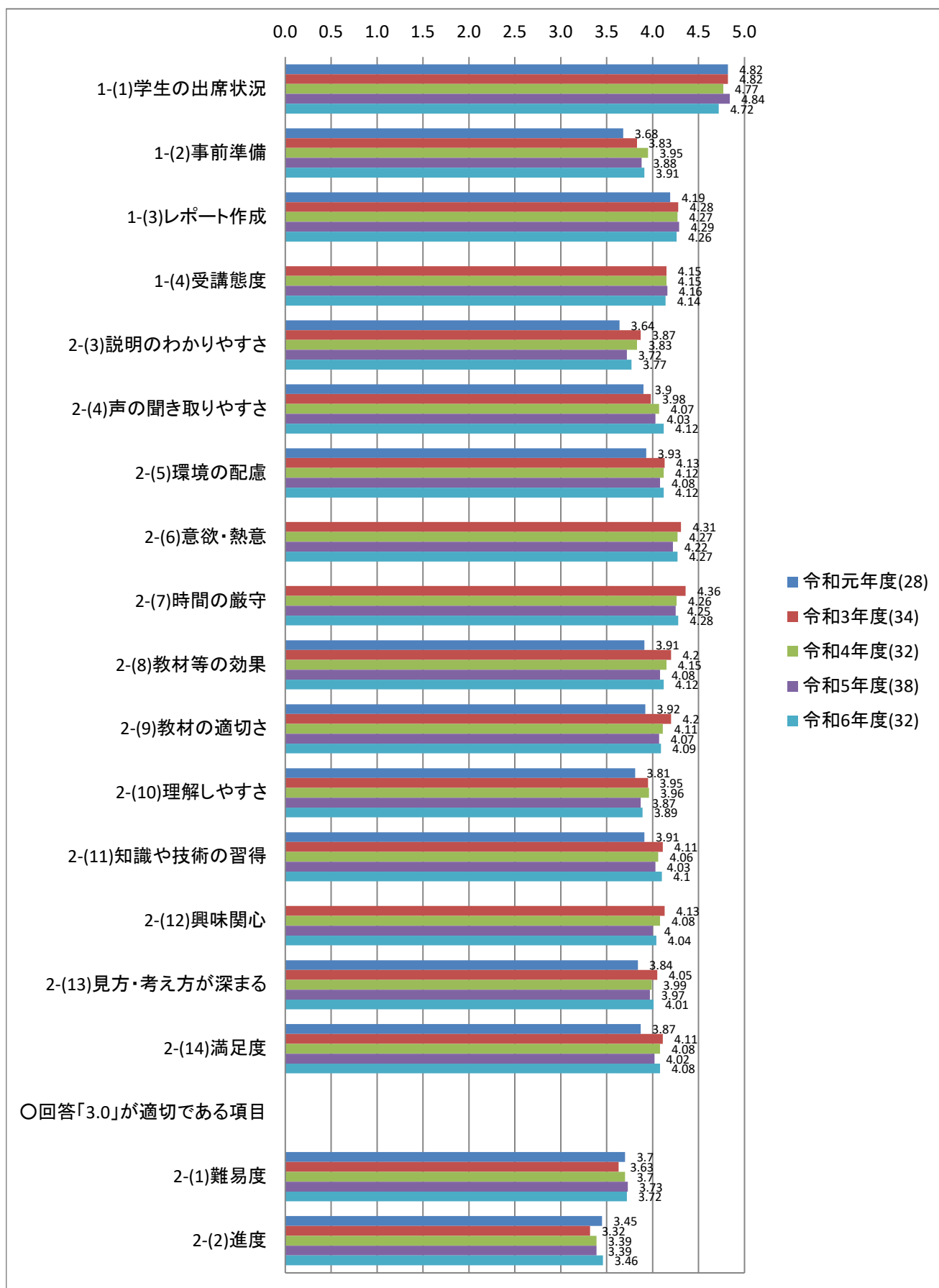
④外国語学部専門科目



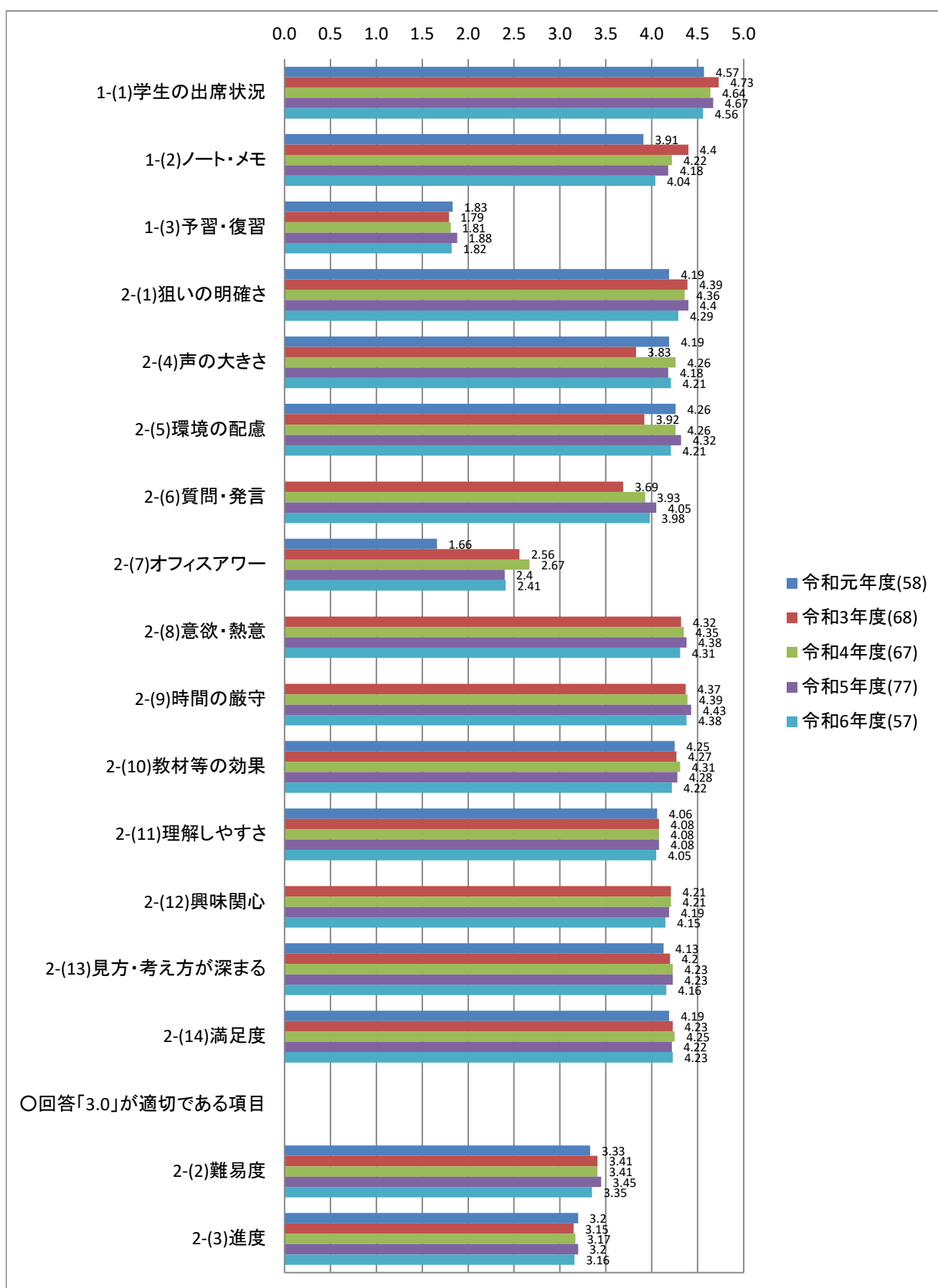
⑤工学部専門科目
・講義等科目



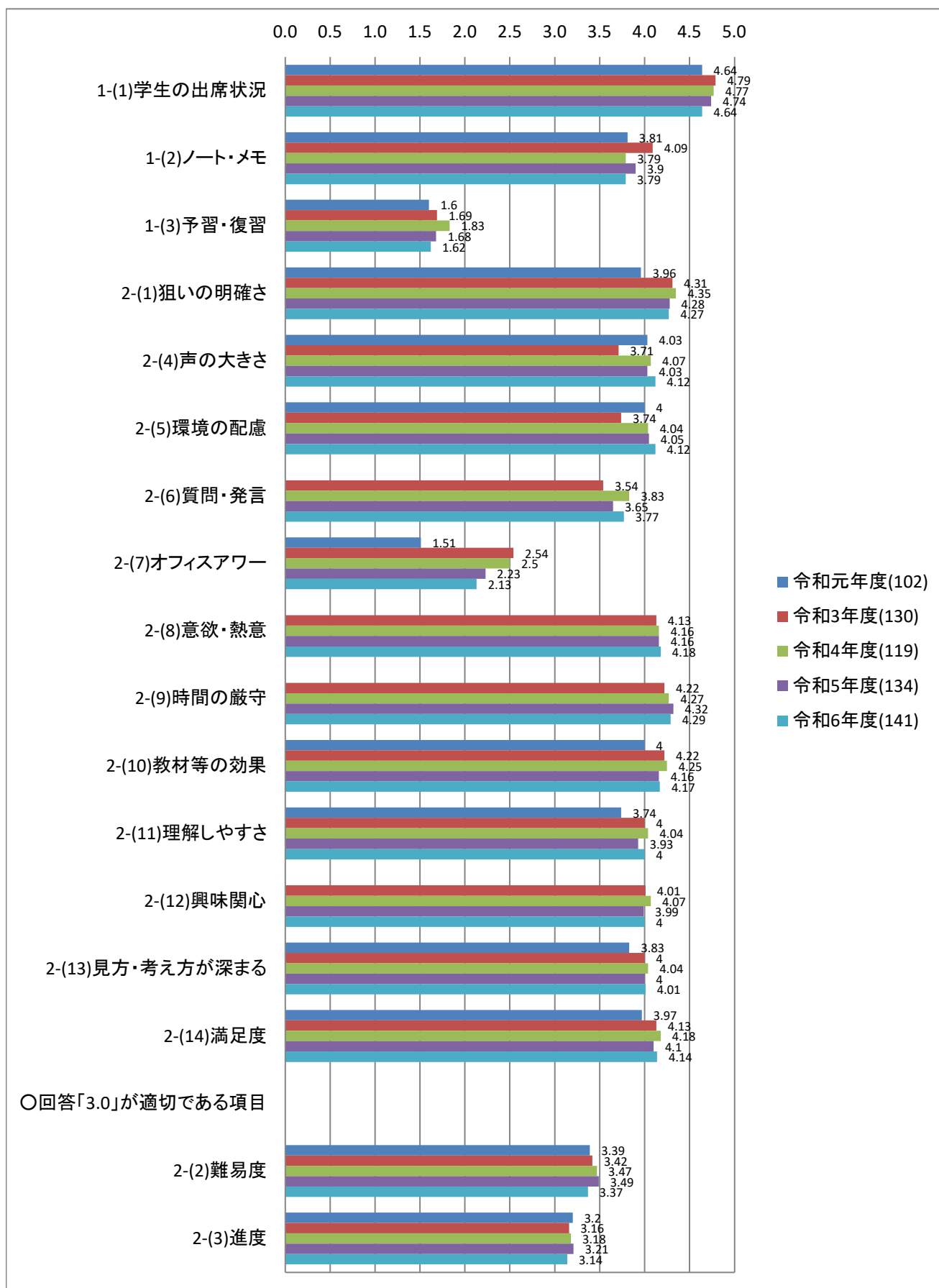
・工学部 実験・実習科目



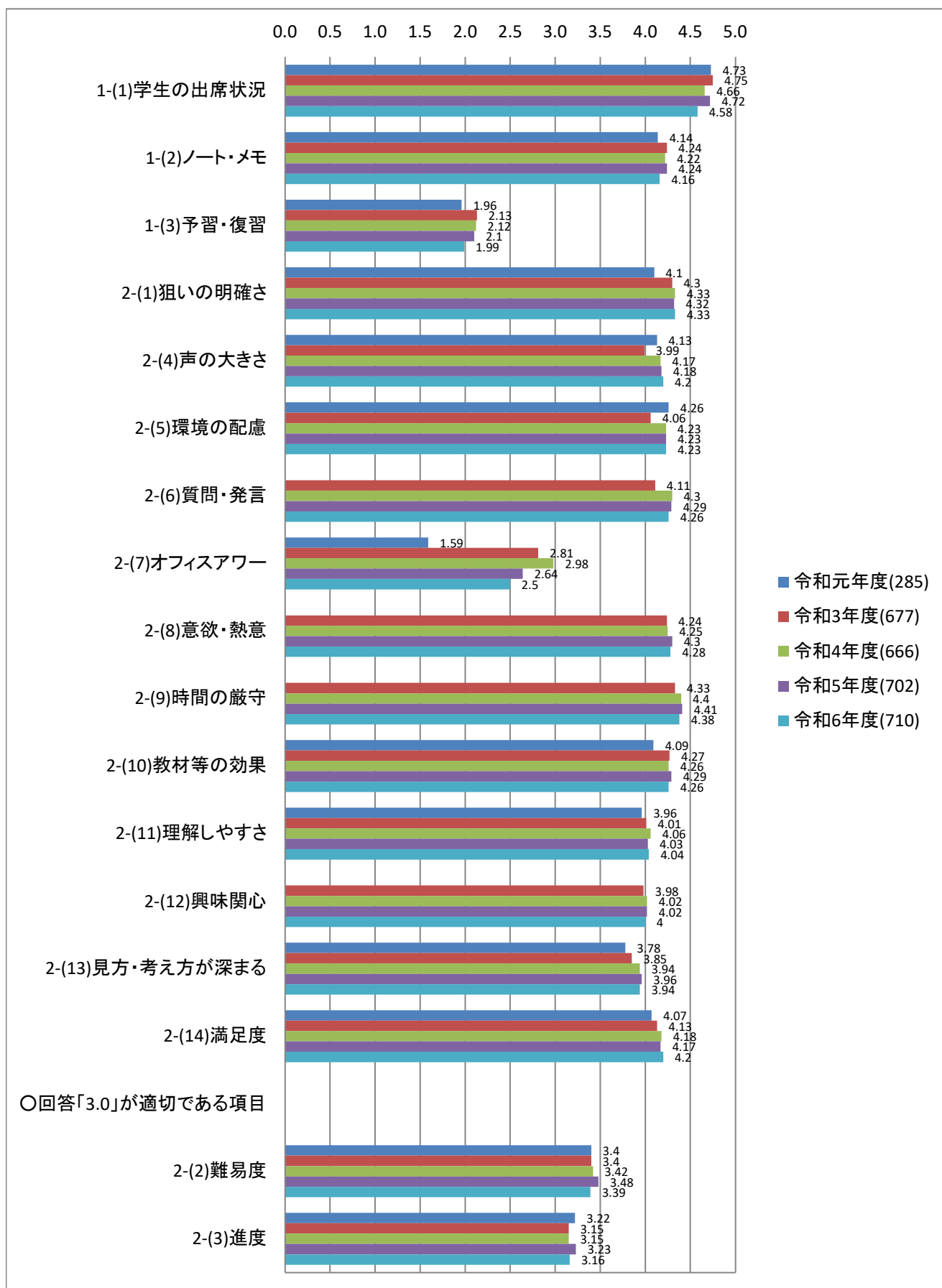
⑥国際学部専門科目



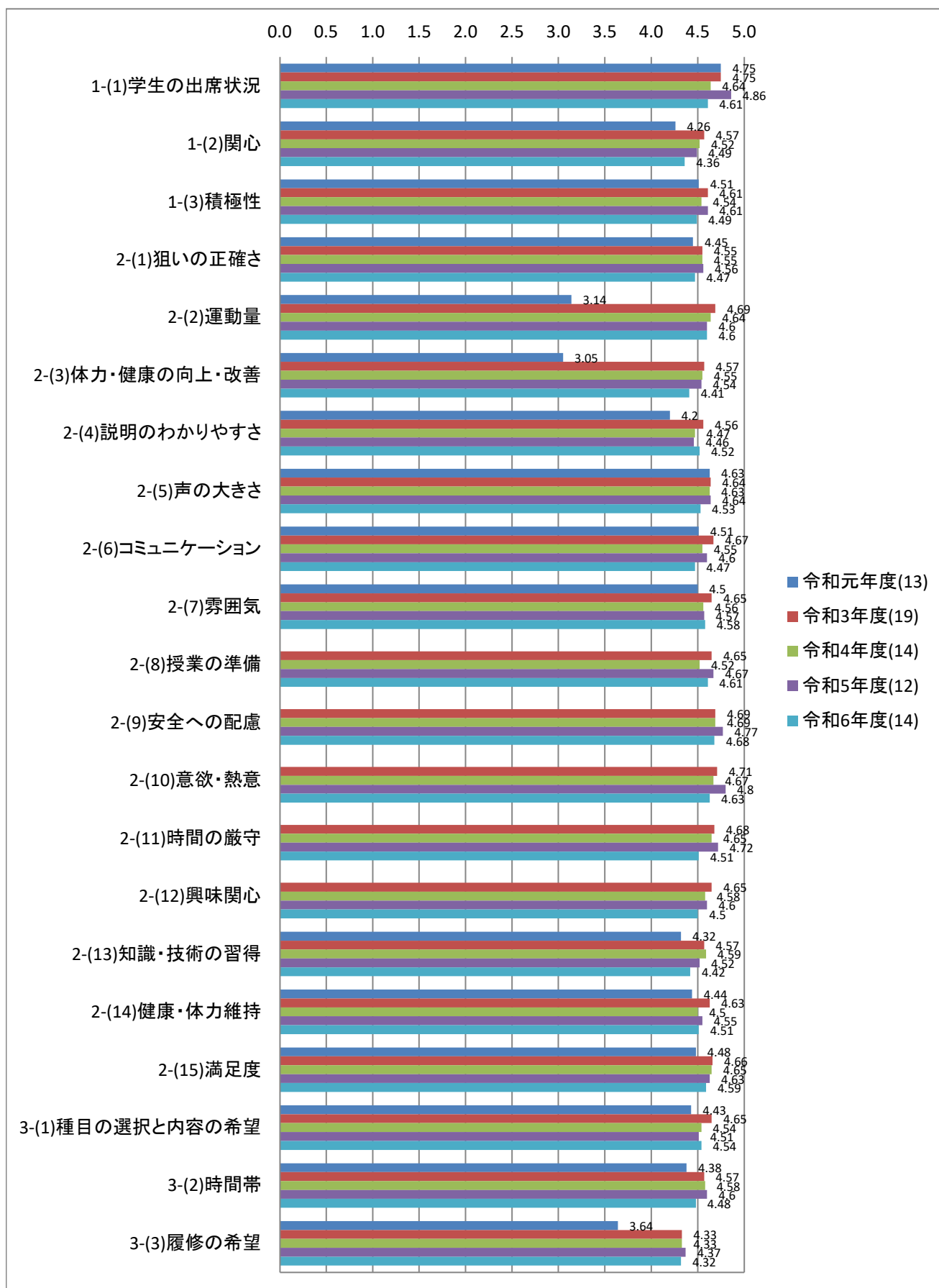
⑦教養教育科目／総合教育科目



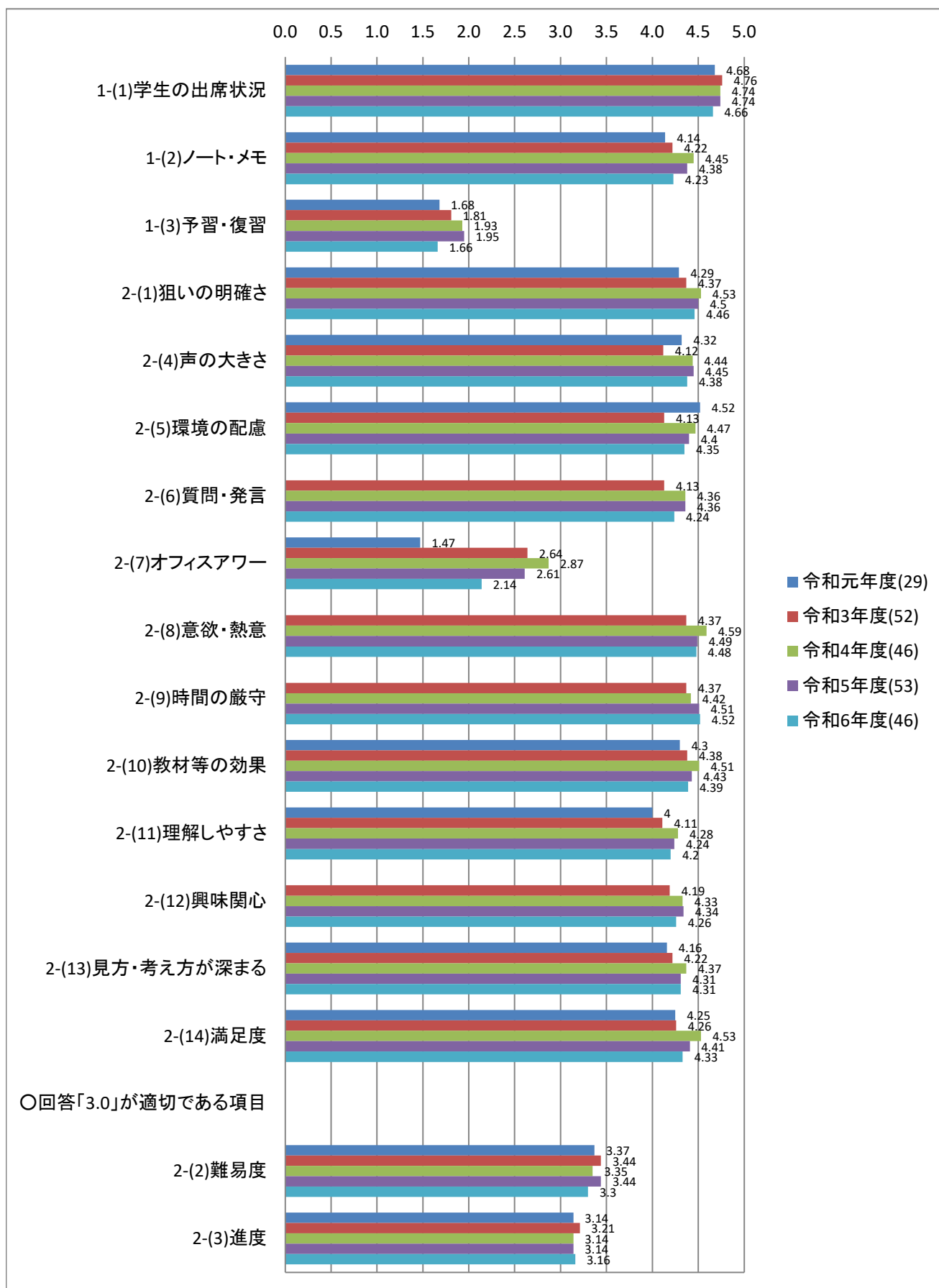
⑧外国語科目



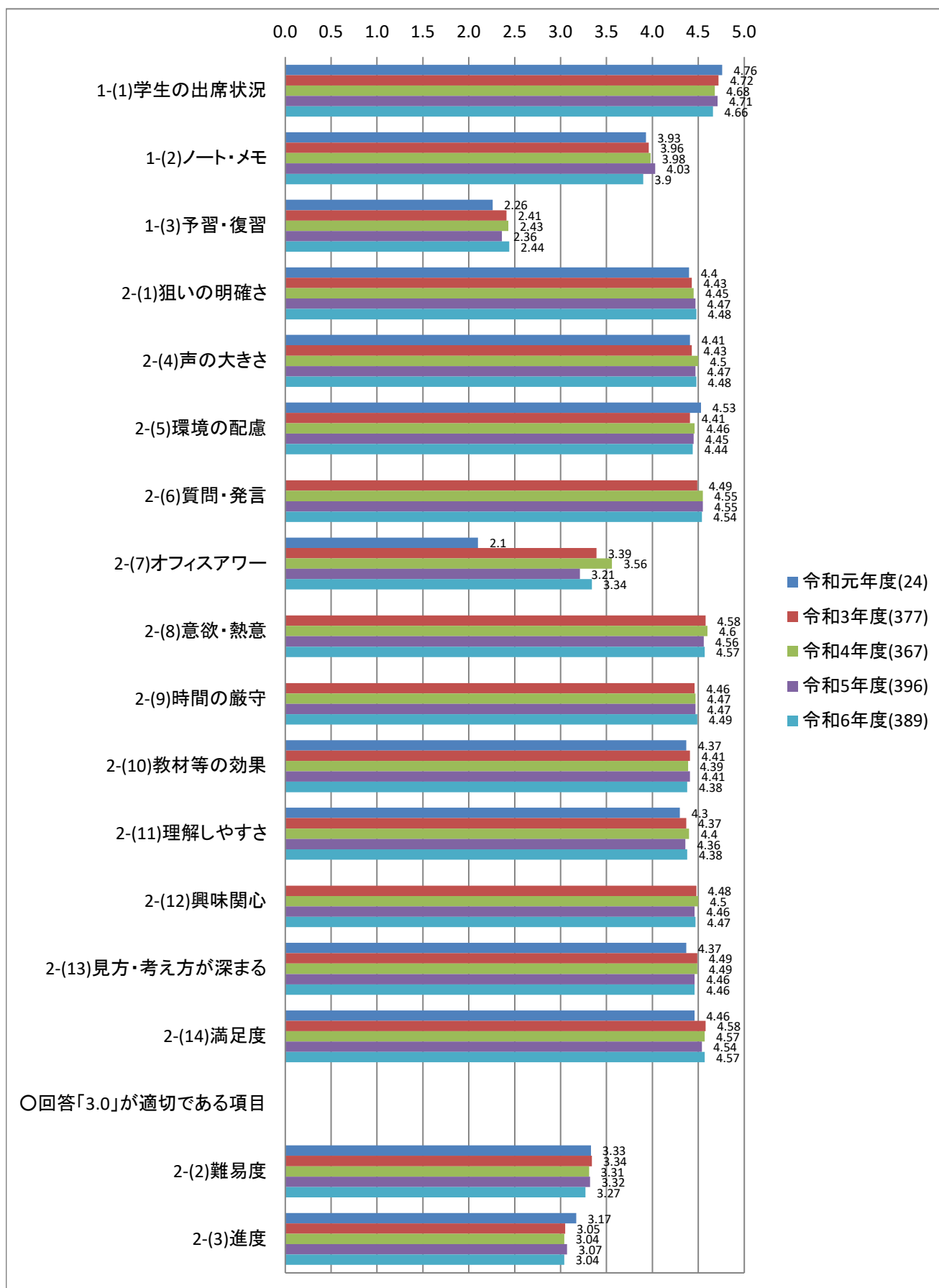
⑨スポーツ・トレーニング科目



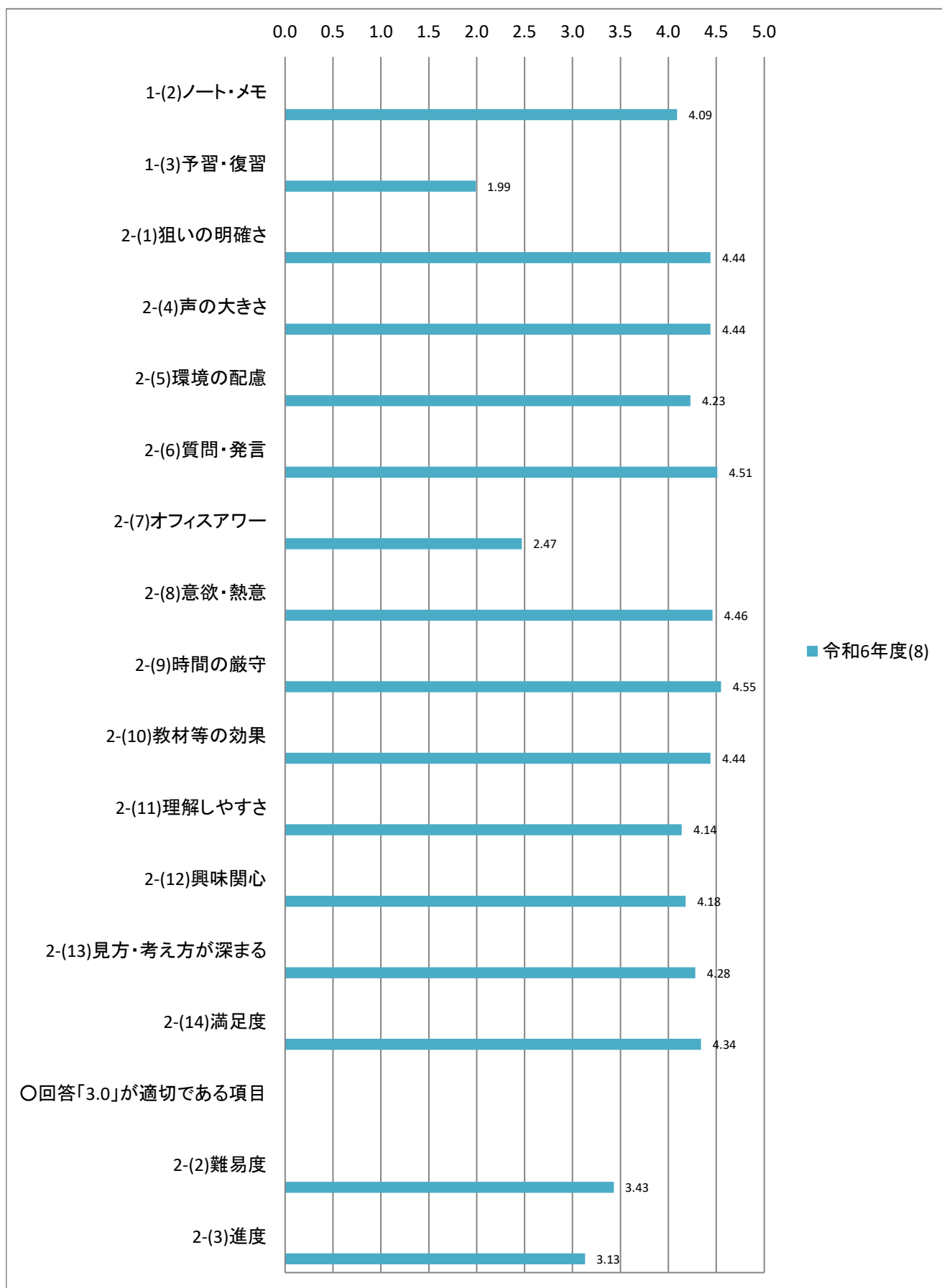
⑩教職課程科目



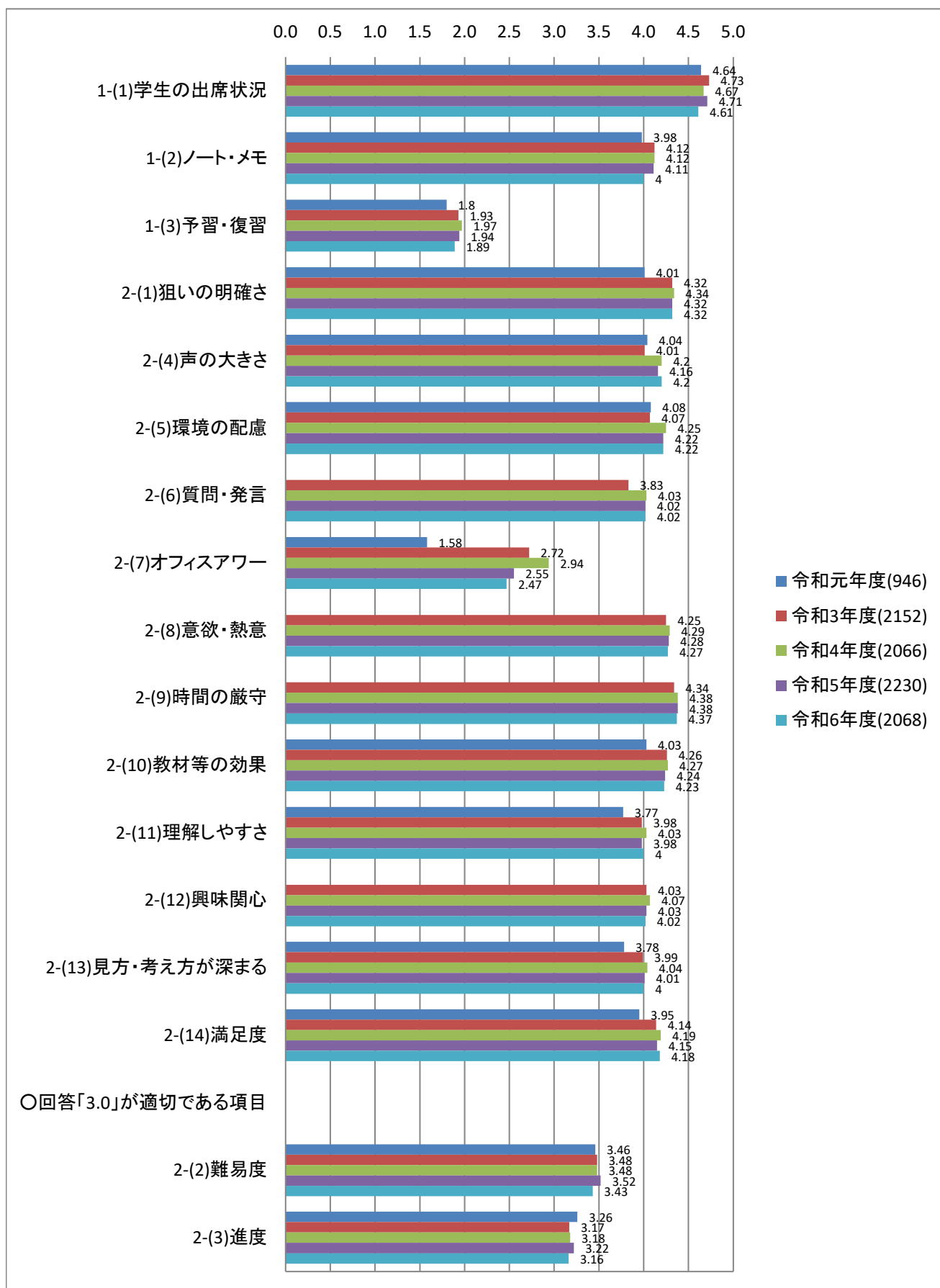
⑪ゼミ・外書講読科目



⑫日本語教員養成講座科目



⑬全体（講義等科目）



(2) 学生所属別平均値・標準偏差 (講義科目)

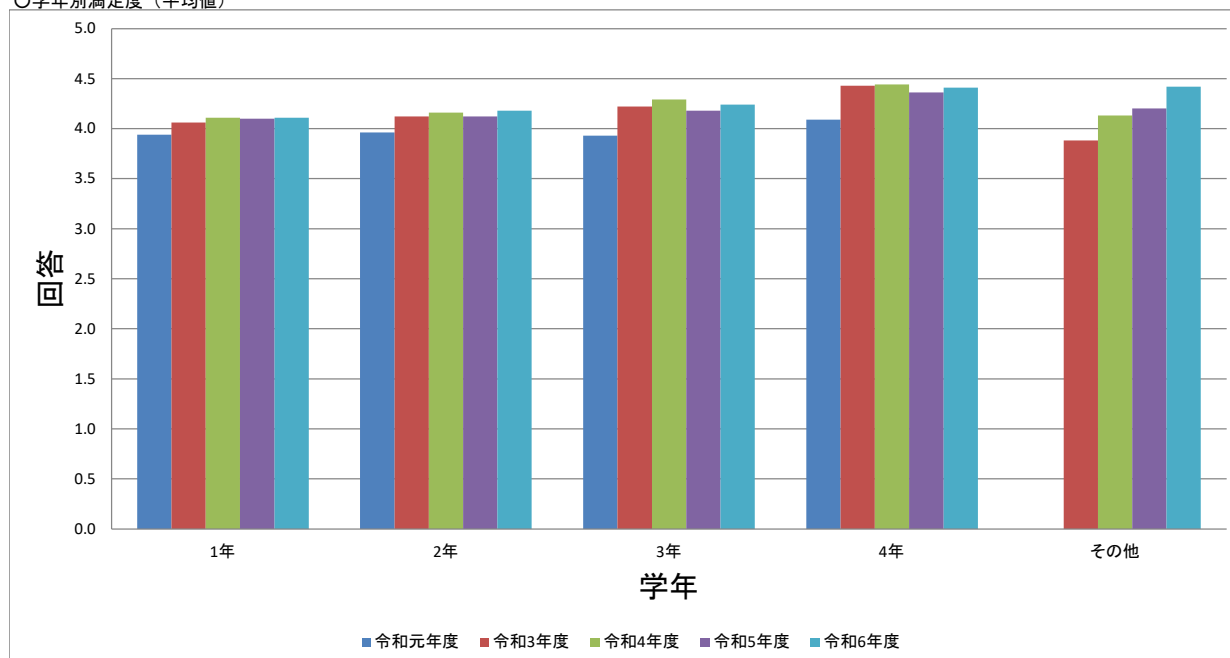
① 学年別

設問項目	区分	1年	2年	3年	4年	その他
		回答件数: (13688)	回答件数: (11678)	回答件数: (6687)	回答件数: (2537)	回答件数: (45)
1-(1) 学生の出席状況	平均値	4.65	4.58	4.61	4.50	4.73
	標準偏差	0.66	0.67	0.65	0.70	0.61
1-(2) ノート・メモ	平均値	3.98	4.04	3.99	4.02	4.03
	標準偏差	0.99	0.92	1.00	0.99	0.99
1-(3) 予習・復習	平均値	1.82	1.88	1.94	2.12	2.47
	標準偏差	1.00	1.01	1.10	1.21	1.31
2-(1) 狙いの明確さ	平均値	4.28	4.32	4.36	4.48	4.44
	標準偏差	0.70	0.66	0.67	0.63	0.65
2-(4) 声の大きさ	平均値	4.14	4.19	4.26	4.38	4.54
	標準偏差	0.86	0.79	0.79	0.74	0.59
2-(5) 環境の配慮	平均値	4.18	4.22	4.28	4.37	4.45
	標準偏差	0.79	0.74	0.75	0.73	0.73
2-(6) 質問・発言	平均値	3.98	4.04	4.02	4.21	4.41
	標準偏差	0.95	0.93	0.96	0.91	0.62
2-(7) オフィスアワー	平均値	2.39	2.38	2.60	2.89	2.89
	標準偏差	1.29	1.29	1.34	1.38	1.42
2-(8) 意欲・熱意	平均値	4.22	4.27	4.34	4.45	4.53
	標準偏差	0.77	0.70	0.72	0.66	0.65
2-(9) 時間の厳守	平均値	4.34	4.34	4.40	4.48	4.60
	標準偏差	0.73	0.70	0.71	0.69	0.58
2-(10) 教材等の効果	平均値	4.19	4.23	4.26	4.35	4.49
	標準偏差	0.80	0.74	0.79	0.73	0.65
2-(11) 理解しやすさ	平均値	3.94	3.99	4.06	4.23	4.24
	標準偏差	0.88	0.82	0.82	0.74	0.85
2-(12) 興味関心	平均値	3.94	4.01	4.10	4.30	4.29
	標準偏差	0.92	0.87	0.86	0.77	0.78
2-(13) 見方・考え方が深まる	平均値	3.90	3.99	4.11	4.30	4.36
	標準偏差	0.90	0.85	0.83	0.74	0.85
2-(14) 満足度	平均値	4.11	4.18	4.24	4.41	4.42
	標準偏差	0.85	0.78	0.81	0.73	0.77

○3の回答が適切である項目

2-(2) 難易度	平均値	3.46	3.43	3.43	3.29	3.36
	標準偏差	0.74	0.69	0.68	0.63	0.64
2-(3) 進捗	平均値	3.21	3.15	3.12	3.07	3.13
	標準偏差	0.57	0.50	0.47	0.40	0.40

○学年別満足度 (平均値)



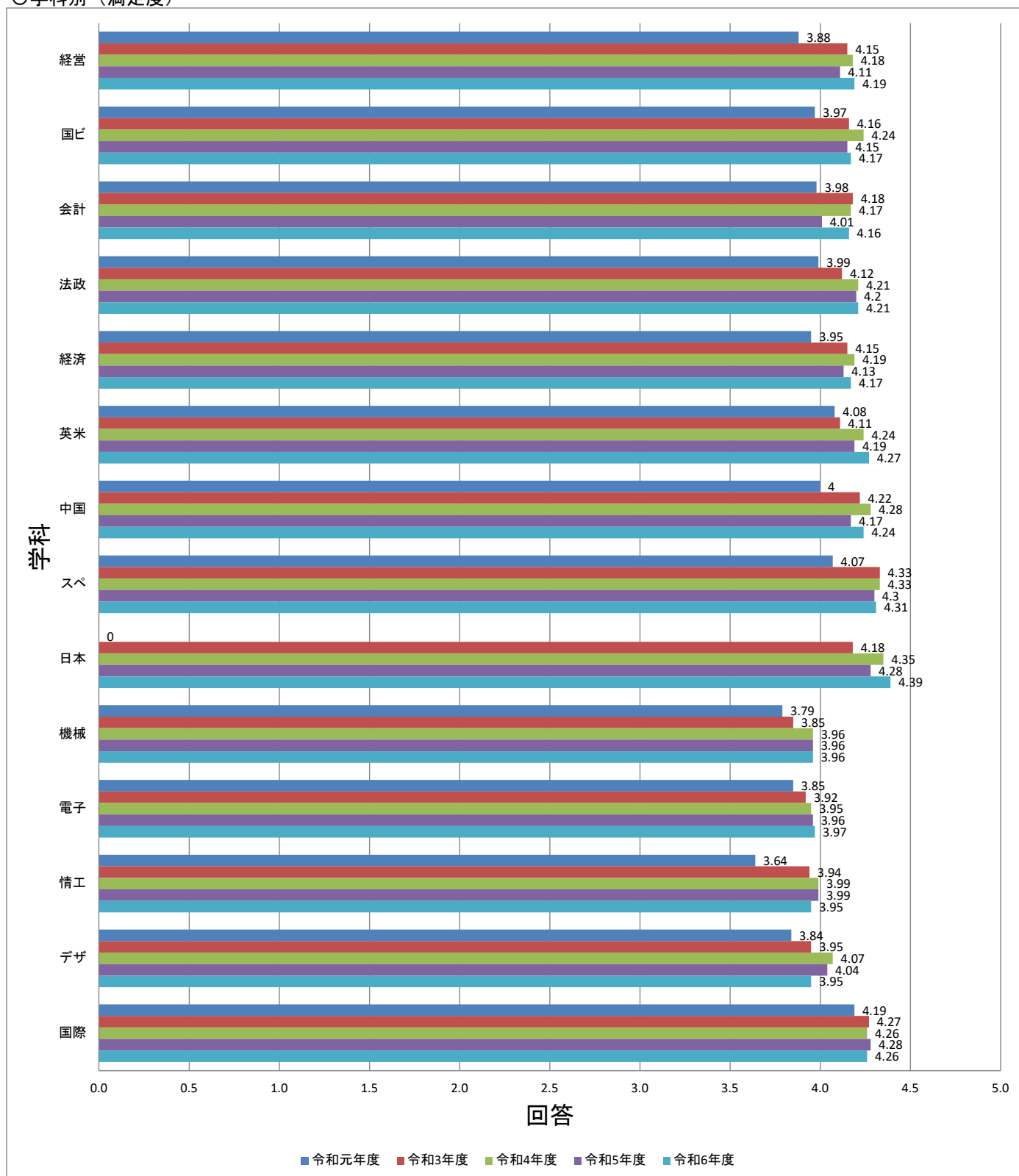
②学科別

設問項目	区分	商学部			政経学部		外国語学部				工学部				国際学部
		経営学科	国際ビジネス学科	会計学科	法律政治学科	経済学科	英米語学科	中国語学科	スペイン語学科	国際日本語学科	機械システム工学科	電子システム工学科	情報工学科	デザイン学科	国際学科
		回答件数: (6651)	回答件数: (2592)	回答件数: (1014)	回答件数: (4049)	回答件数: (7578)	回答件数: (1887)	回答件数: (625)	回答件数: (482)	回答件数: (894)	回答件数: (1153)	回答件数: (956)	回答件数: (1189)	回答件数: (667)	回答件数: (4898)
1-(1) 学生の出席状況	平均値	4.63	4.63	4.62	4.63	4.61	4.44	4.58	4.43	4.67	4.71	4.69	4.67	4.55	4.56
	標準偏差	0.66	0.64	0.67	0.66	0.66	0.73	0.68	0.66	0.62	0.57	0.61	0.63	0.67	0.69
1-(2) ノート・メモ	平均値	4.02	4.09	3.98	4.07	3.99	4.04	4.12	4.12	4.18	3.87	3.80	3.63	3.86	4.02
	標準偏差	0.98	0.95	0.95	0.93	0.98	0.88	0.89	0.88	0.86	1.04	1.06	1.09	0.95	0.95
1-(3) 予習・復習	平均値	1.88	1.79	1.75	1.85	1.90	1.92	1.85	1.97	2.00	2.03	1.86	1.77	1.81	1.96
	標準偏差	1.08	1.00	0.98	1.02	1.05	1.04	0.94	0.94	1.03	1.14	0.98	0.97	0.89	1.08
2-(1) 狙いの明確さ	平均値	4.34	4.34	4.31	4.38	4.33	4.37	4.35	4.39	4.44	4.19	4.24	4.20	4.19	4.31
	標準偏差	0.68	0.68	0.66	0.64	0.69	0.66	0.60	0.68	0.64	0.70	0.69	0.69	0.68	0.69
2-(4) 声の大きさ	平均値	4.18	4.19	4.17	4.27	4.17	4.29	4.25	4.30	4.36	4.03	4.10	4.03	4.01	4.25
	標準偏差	0.83	0.82	0.82	0.77	0.84	0.76	0.79	0.79	0.74	0.87	0.83	0.86	0.89	0.76
2-(5) 環境の配慮	平均値	4.24	4.27	4.18	4.28	4.22	4.25	4.22	4.29	4.30	4.06	4.07	4.03	4.08	4.24
	標準偏差	0.75	0.73	0.77	0.75	0.77	0.75	0.70	0.72	0.69	0.82	0.81	0.77	0.85	0.75
2-(6) 質問・発言	平均値	4.03	4.08	3.90	3.98	3.96	4.21	4.29	4.33	4.37	3.73	3.88	3.74	3.91	4.15
	標準偏差	0.95	0.95	1.02	0.98	0.97	0.85	0.70	0.74	0.71	1.05	0.97	0.97	0.97	0.85
2-(7) オフィスアワー	平均値	2.49	2.42	2.34	2.25	2.49	2.44	2.92	2.45	2.81	2.65	2.43	2.26	2.13	2.59
	標準偏差	1.33	1.32	1.29	1.28	1.31	1.34	1.27	1.26	1.36	1.30	1.25	1.21	1.17	1.35
2-(8) 意欲・熱意	平均値	4.28	4.31	4.25	4.33	4.26	4.36	4.37	4.35	4.44	4.05	4.13	4.07	4.14	4.31
	標準偏差	0.73	0.73	0.68	0.70	0.74	0.69	0.67	0.68	0.70	0.81	0.75	0.76	0.70	0.72
2-(9) 時間の厳守	平均値	4.35	4.38	4.35	4.39	4.37	4.41	4.33	4.49	4.49	4.25	4.25	4.35	4.28	4.38
	標準偏差	0.74	0.71	0.72	0.72	0.72	0.67	0.71	0.63	0.62	0.74	0.78	0.70	0.72	0.68
2-(10) 教材等の効果	平均値	4.25	4.26	4.23	4.28	4.21	4.26	4.27	4.33	4.40	4.03	4.16	4.06	4.07	4.26
	標準偏差	0.76	0.77	0.76	0.75	0.79	0.73	0.68	0.74	0.67	0.87	0.81	0.87	0.83	0.75
2-(11) 理解しやすさ	平均値	4.01	4.01	3.95	4.03	3.96	4.12	4.10	4.21	4.25	3.75	3.77	3.74	3.78	4.12
	標準偏差	0.85	0.87	0.84	0.81	0.85	0.76	0.69	0.75	0.74	0.95	0.92	0.93	0.87	0.77
2-(12) 興味関心	平均値	4.03	4.04	3.97	4.07	3.98	4.15	4.07	4.17	4.29	3.76	3.76	3.78	3.70	4.14
	標準偏差	0.88	0.90	0.86	0.88	0.90	0.80	0.82	0.86	0.77	0.98	0.95	0.97	0.97	0.82
2-(13) 見方・考え方が深まる	平均値	4.01	4.05	3.95	4.03	3.98	4.10	4.03	4.06	4.29	3.71	3.73	3.73	3.69	4.11
	標準偏差	0.85	0.86	0.83	0.87	0.87	0.81	0.79	0.90	0.72	0.97	0.93	0.94	0.94	0.82
2-(14) 満足度	平均値	4.19	4.17	4.16	4.21	4.17	4.27	4.24	4.31	4.39	3.96	3.97	3.95	3.95	4.26
	標準偏差	0.82	0.82	0.78	0.80	0.83	0.74	0.77	0.79	0.72	0.92	0.86	0.90	0.85	0.76

○3の回答が適切である項目

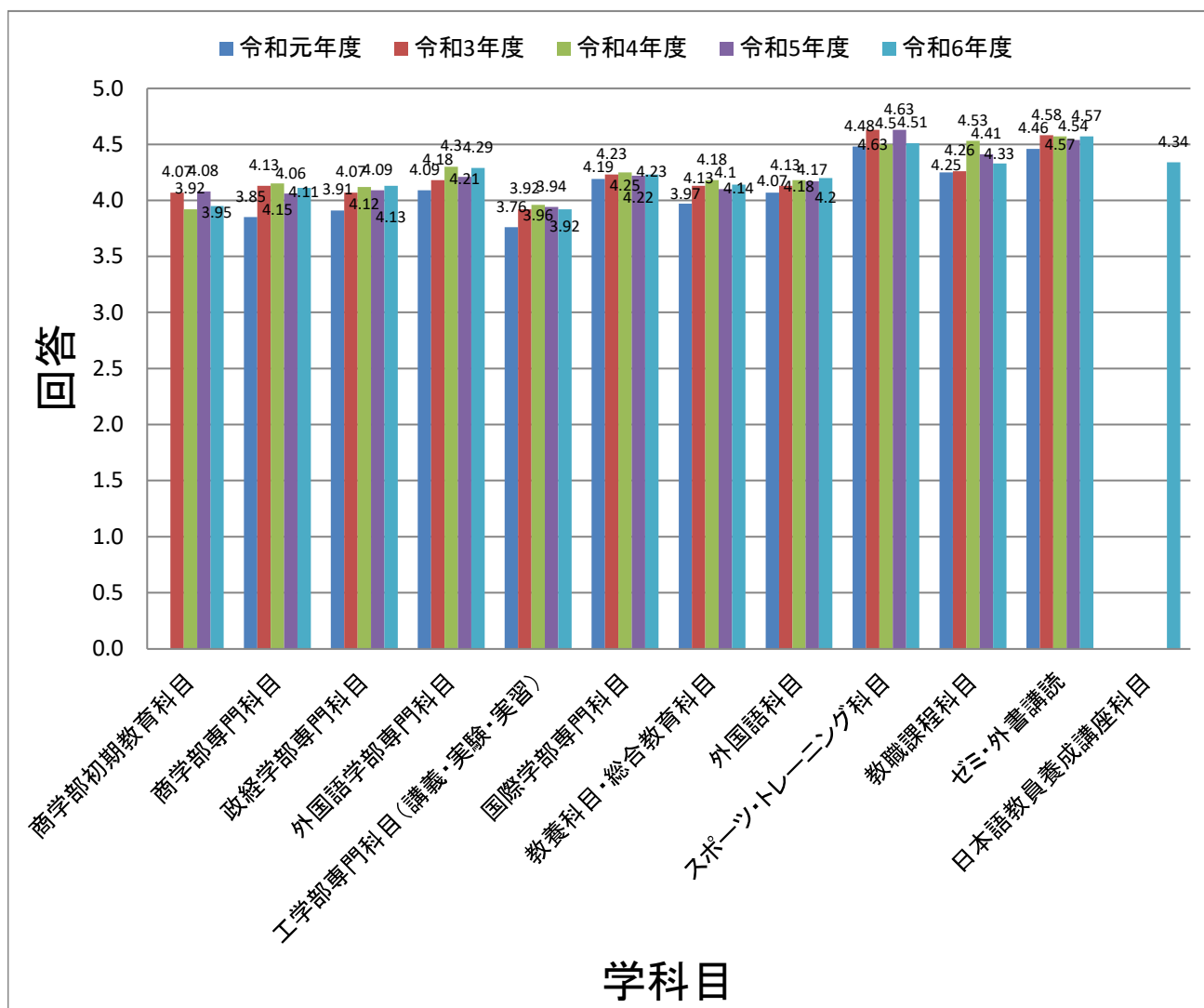
2-(2) 難易度	平均値	3.44	3.49	3.47	3.39	3.46	3.42	3.44	3.31	3.35	3.55	3.50	3.55	3.51	3.33
	標準偏差	0.70	0.75	0.70	0.67	0.71	0.70	0.68	0.61	0.61	0.79	0.78	0.79	0.72	0.67
2-(3) 進捗	平均値	3.16	3.19	3.16	3.12	3.18	3.15	3.13	3.06	3.08	3.22	3.23	3.23	3.19	3.15
	標準偏差	0.52	0.54	0.49	0.50	0.53	0.52	0.49	0.40	0.36	0.61	0.59	0.57	0.53	0.48

○学科別（満足度）



	経営学科	国際ビジネス学科	会計学科	法律政治学科	経済学科	英米語学科	中国語学科	スペイン語学科	国際日本語学科	機械システム工学科	電子システム工学科	情報工学科	デザイン学科	国際学科
令和元年度	3.88	3.97	3.98	3.99	3.95	4.08	4.00	4.07	0.00	3.79	3.85	3.64	3.84	4.19
令和3年度	4.15	4.16	4.18	4.12	4.15	4.11	4.22	4.33	4.18	3.85	3.92	3.94	3.95	4.27
令和4年度	4.18	4.24	4.17	4.21	4.19	4.24	4.28	4.33	4.35	3.96	3.95	3.99	4.07	4.26
令和5年度	4.11	4.15	4.01	4.20	4.13	4.19	4.17	4.30	4.28	3.96	3.96	3.99	4.04	4.28
令和6年度	4.19	4.17	4.16	4.21	4.17	4.27	4.24	4.31	4.39	3.96	3.97	3.95	3.95	4.26

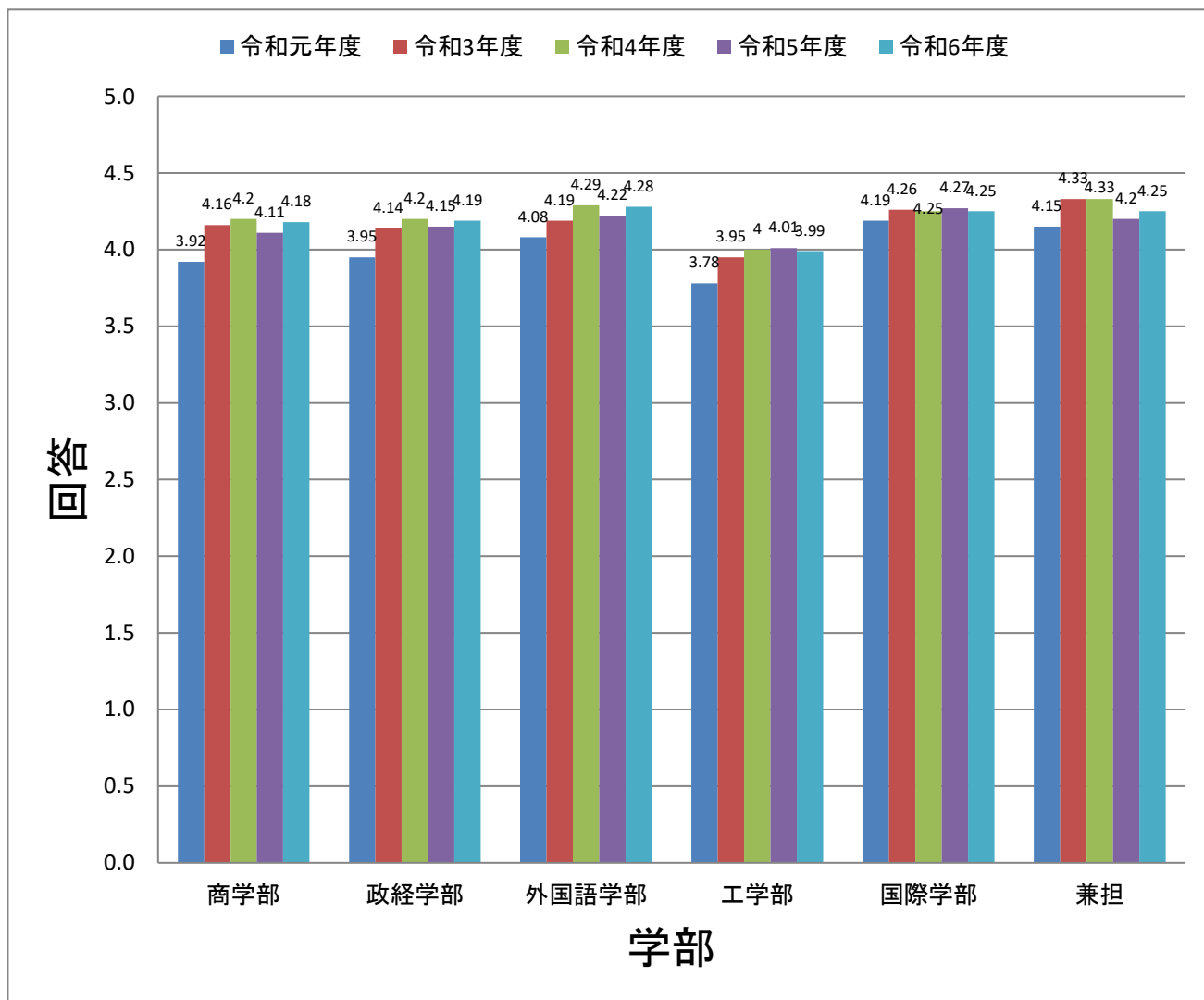
(3) 満足度 平均値
①学科目別



○科目数

令和元年度	0	129	136	96	115	58	102	285	13	29	24	-
令和3年度	24	179	184	293	149	68	130	677	19	52	377	-
令和4年度	24	185	182	303	139	67	119	666	14	46	367	-
令和5年度	49	185	238	283	151	77	134	702	12	53	396	-
令和6年度	21	168	195	282	137	57	141	710	14	46	389	8

②所属別

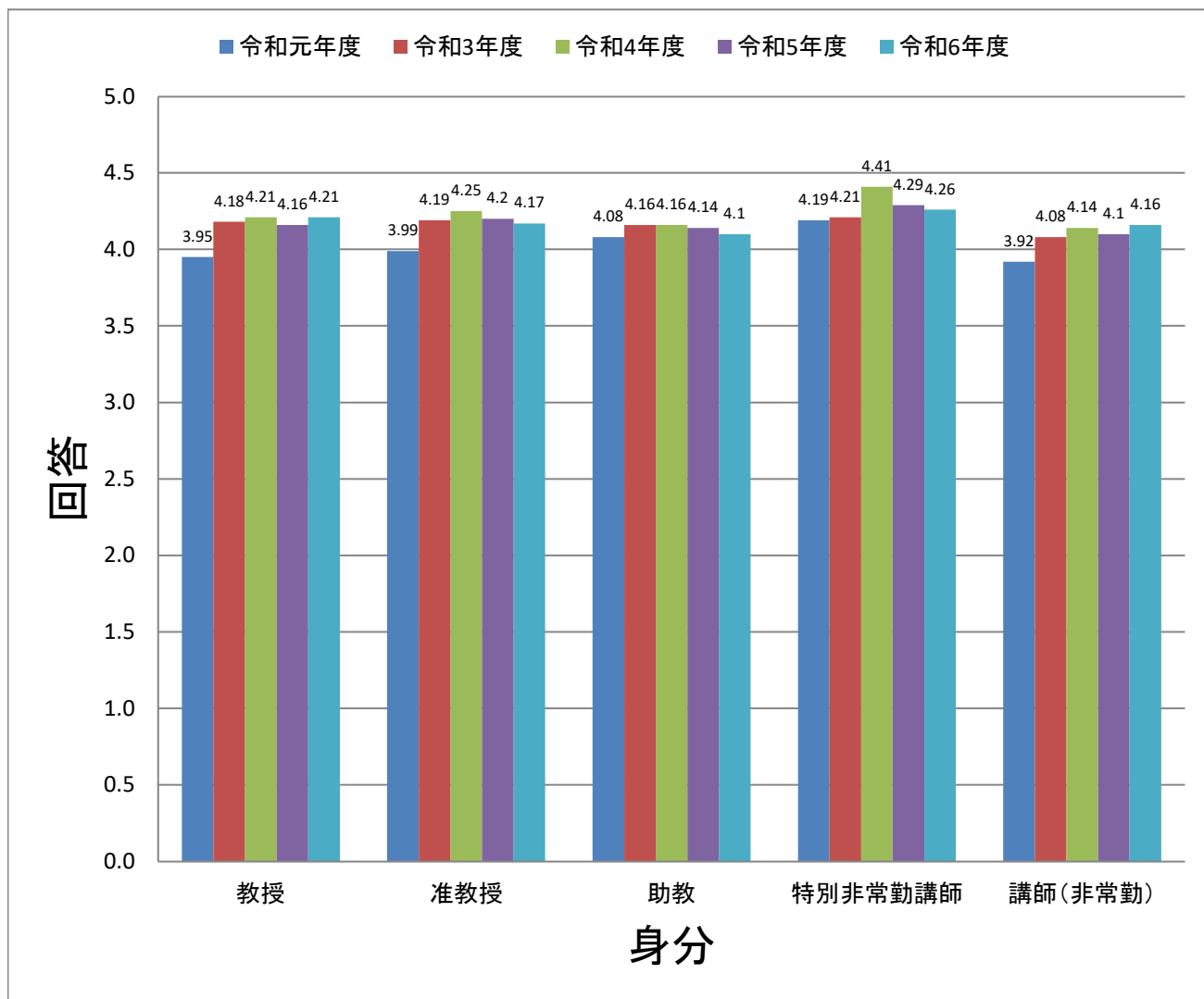


○人数

令和元年度	158	162	85	96	81	17
令和3年度	124	137	90	87	70	20
令和4年度	134	132	89	86	71	17
令和5年度	146	138	88	93	72	19
令和6年度	137	137	87	81	69	15

※講師（非常勤）を含む

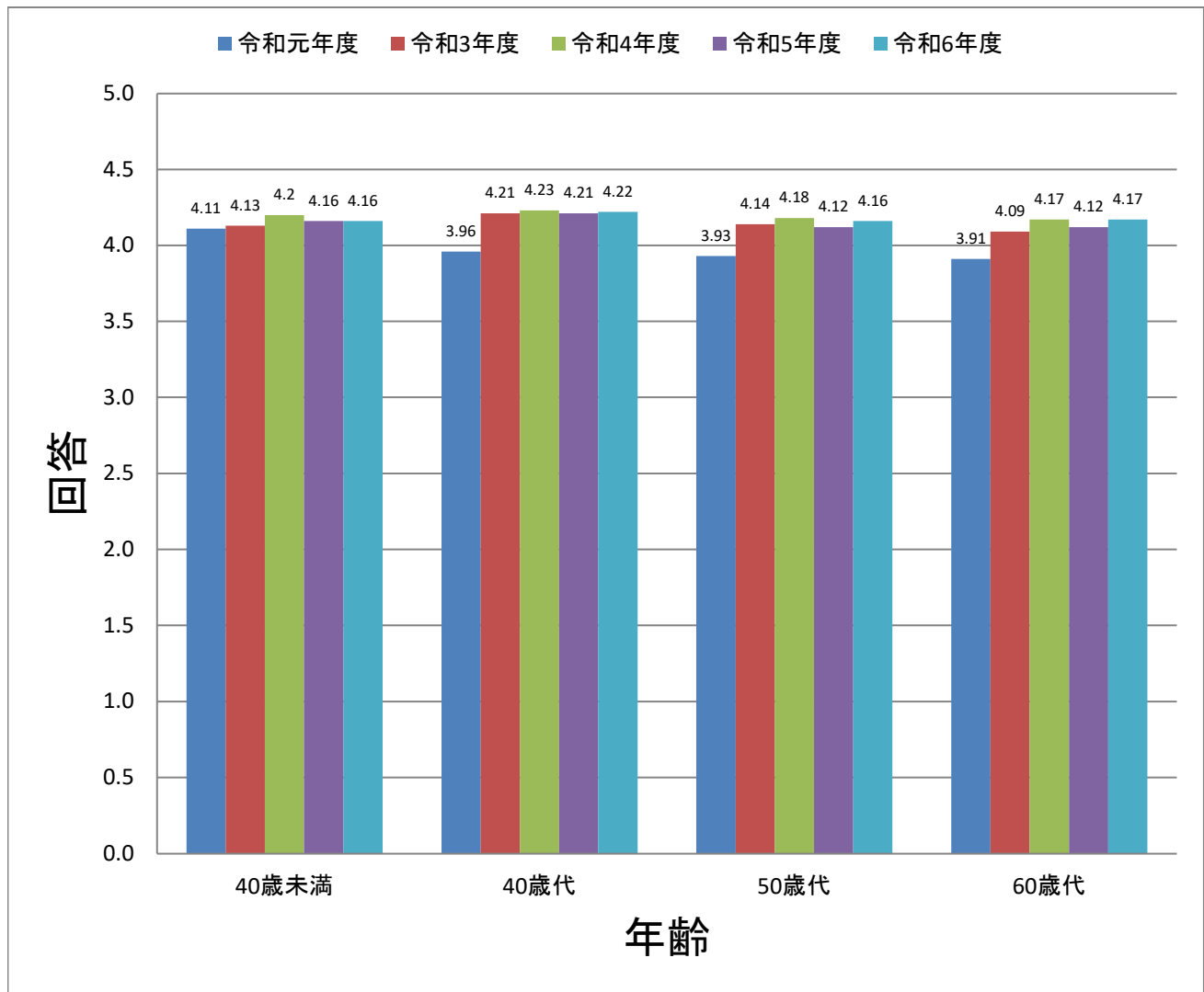
③身分別



○人数

令和元年度	148	58	10	22	361
令和3年度	155	58	12	15	282
令和4年度	146	64	10	16	289
令和5年度	150	65	14	13	311
令和6年度	151	58	10	12	293

④年齢別



○人数

令和元年度	66	144	191	198
令和3年度	48	117	181	182
令和4年度	50	114	188	177
令和5年度	53	123	198	182
令和6年度	54	111	183	178

5. 学科目別 回答の分析

(1) 商学部初期教育科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0%	0.47%	7.75%	16.43%	75.35%
1-(2)	14.15%	13.17%	25.12%	28.78%	18.78%
1-(3)	69.01%	18.54%	7.75%	1.64%	3.05%
2-(1)	1.17%	2.35%	8.69%	52.35%	35.45%
2-(2)	2.35%	4.23%	46.48%	30.75%	16.20%
2-(3)	2.11%	4.23%	56.57%	25.59%	11.50%
2-(4)	3.94%	6.16%	14.78%	45.32%	29.80%
2-(5)	2.49%	3.74%	15.21%	48.63%	29.93%
2-(6)	4.79%	9.82%	24.94%	41.06%	19.40%
2-(7)	34.74%	22.07%	17.37%	17.84%	7.98%
2-(8)	2.11%	3.29%	12.21%	52.82%	29.58%
2-(9)	3.27%	3.53%	8.06%	46.35%	38.79%
2-(10)	2.11%	2.58%	13.38%	47.65%	34.27%
2-(11)	3.99%	6.10%	13.62%	51.64%	24.65%
2-(12)	3.76%	6.57%	19.25%	47.65%	22.77%
2-(13)	4.23%	6.57%	23.00%	46.24%	19.95%
2-(14)	3.29%	3.99%	15.49%	49.30%	27.93%

(2) 商学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.74%	0.51%	5.82%	21.50%	71.43%
1-(2)	3.08%	5.27%	13.09%	43.50%	35.06%
1-(3)	54.56%	25.21%	14.16%	3.45%	2.62%
2-(1)	0.56%	0.81%	6.91%	50.40%	41.32%
2-(2)	0.38%	1.90%	51.77%	36.73%	9.22%
2-(3)	0.54%	2.75%	79.71%	14.03%	2.98%
2-(4)	1.02%	2.84%	11.06%	46.52%	38.56%
2-(5)	0.88%	1.60%	9.79%	47.34%	40.39%
2-(6)	3.81%	6.99%	21.26%	41.67%	26.27%
2-(7)	36.26%	21.03%	21.45%	14.77%	6.49%
2-(8)	0.72%	1.10%	9.26%	50.13%	38.79%
2-(9)	0.84%	1.85%	6.86%	45.38%	45.07%
2-(10)	1.14%	1.77%	10.54%	47.65%	38.90%
2-(11)	1.97%	5.17%	16.60%	53.04%	23.22%
2-(12)	2.24%	4.36%	16.02%	50.13%	27.25%
2-(13)	1.99%	3.02%	15.86%	53.15%	25.97%
2-(14)	1.54%	2.73%	10.87%	52.80%	32.06%

(3) 政経学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.32%	0.32%	6.85%	21.15%	71.36%
1-(2)	4.02%	4.95%	14.43%	42.49%	34.11%
1-(3)	54.95%	26.11%	14.74%	2.33%	1.87%
2-(1)	0.48%	0.64%	6.34%	50.28%	42.26%
2-(2)	0.64%	2.49%	52.12%	35.88%	8.86%
2-(3)	0.44%	2.40%	78.39%	15.20%	3.56%
2-(4)	1.32%	3.52%	10.85%	45.38%	38.93%
2-(5)	0.81%	1.81%	10.03%	47.26%	40.09%
2-(6)	4.28%	7.13%	23.76%	41.32%	23.50%
2-(7)	38.89%	18.62%	22.27%	14.70%	5.52%
2-(8)	0.84%	1.14%	8.81%	49.72%	39.50%
2-(9)	0.83%	1.22%	5.64%	43.85%	48.46%
2-(10)	1.25%	2.01%	9.88%	47.03%	39.84%
2-(11)	2.21%	4.13%	17.30%	53.33%	23.03%
2-(12)	2.42%	3.81%	15.52%	50.55%	27.70%
2-(13)	2.22%	3.36%	15.49%	52.74%	26.18%
2-(14)	1.66%	2.31%	11.45%	50.71%	33.87%

(4) 外国語学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.04%	0.58%	10.10%	26.97%	62.32%
1-(2)	1.35%	2.89%	11.15%	48.65%	35.96%
1-(3)	39.95%	31.79%	22.26%	3.38%	2.62%
2-(1)	0.29%	0.58%	5.72%	47.14%	46.28%
2-(2)	0.47%	2.84%	59.04%	32.07%	5.57%
2-(3)	0.32%	2.48%	84.03%	11.25%	1.91%
2-(4)	0.57%	2.14%	8.57%	43.96%	44.76%
2-(5)	0.57%	0.80%	9.71%	48.57%	40.35%
2-(6)	0.85%	1.19%	9.08%	43.80%	45.07%
2-(7)	29.09%	19.71%	22.19%	19.45%	9.56%
2-(8)	0.32%	0.61%	6.69%	43.29%	49.08%
2-(9)	0.27%	0.77%	4.54%	42.91%	51.52%
2-(10)	0.40%	1.11%	7.59%	47.32%	43.58%
2-(11)	0.61%	2.30%	9.56%	55.20%	32.33%
2-(12)	1.11%	2.52%	12.01%	48.29%	36.07%
2-(13)	1.01%	2.62%	13.70%	48.47%	34.20%
2-(14)	0.93%	1.58%	8.31%	46.24%	42.93%

(5) 工学部専門科目（講義科目）

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0%	0.40%	6.28%	17.22%	76.10%
1-(2)	4.91%	8.64%	18.96%	43.92%	23.57%
1-(3)	44.17%	28.95%	19.40%	4.29%	3.18%
2-(1)	0.72%	0.72%	8.55%	58.45%	31.57%
2-(2)	0.56%	3.22%	39.72%	41.79%	14.71%
2-(3)	0.48%	2.27%	71.69%	20.00%	5.57%
2-(4)	2.23%	5.14%	13.36%	51.67%	27.61%
2-(5)	1.54%	2.49%	16.17%	52.27%	27.53%
2-(6)	5.30%	8.49%	24.47%	45.67%	16.07%
2-(7)	31.93%	21.71%	22.47%	18.29%	5.61%
2-(8)	1.63%	2.23%	13.88%	55.35%	26.92%
2-(9)	1.12%	1.81%	7.13%	50.06%	39.87%
2-(10)	2.58%	3.02%	13.40%	50.18%	30.82%
2-(11)	4.33%	7.95%	21.87%	51.25%	14.59%
2-(12)	4.57%	6.00%	20.44%	50.14%	18.85%
2-(13)	4.57%	6.24%	23.38%	49.66%	16.14%
2-(14)	3.70%	4.89%	15.55%	53.68%	22.19%

(6) 工学部専門科目（実験・実習科目）

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.10%	0.59%	4.95%	15.53%	78.83%
1-(2)	2.77%	7.72%	15.03%	45.20%	29.28%
1-(3)	0.89%	1.58%	11.37%	43.22%	42.93%
1-(4)	0.20%	1.98%	18.69%	41.44%	37.69%
2-(1)	0.59%	1.38%	36.30%	49.36%	12.36%
2-(2)	0.10%	1.98%	57.96%	31.95%	8.01%
2-(3)	2.87%	6.33%	20.97%	50.94%	18.89%
2-(4)	1.46%	2.71%	10.41%	53.59%	31.84%
2-(5)	0.73%	1.78%	12.38%	54.56%	30.54%
2-(6)	0.69%	0.99%	10.19%	46.39%	41.74%
2-(7)	0.53%	2.84%	7.98%	45.69%	42.96%
2-(8)	0.89%	3.56%	12.17%	49.75%	33.63%
2-(9)	0.89%	2.67%	14.05%	50.94%	31.45%
2-(10)	1.68%	5.24%	17.51%	53.71%	21.86%
2-(11)	0.99%	2.27%	10.98%	57.27%	28.49%
2-(12)	1.88%	3.56%	14.44%	49.16%	30.96%
2-(13)	1.38%	3.36%	13.85%	55.29%	26.11%
2-(14)	1.38%	4.06%	11.97%	50.74%	31.85%

(7) 国際学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.25%	0.31%	7.77%	26.14%	65.52%
1-(2)	2.11%	4.22%	14.91%	45.32%	33.44%
1-(3)	51.47%	25.58%	15.80%	3.64%	3.51%
2-(1)	0.38%	0.75%	8.15%	51.22%	39.50%
2-(2)	0.31%	3.07%	62.63%	29.22%	4.76%
2-(3)	0.19%	0.94%	84.83%	10.91%	3.13%
2-(4)	0.41%	2.17%	11.37%	48.14%	37.91%
2-(5)	0.61%	1.75%	10.99%	49.56%	37.09%
2-(6)	2.43%	4.66%	16.69%	45.00%	31.22%
2-(7)	36.87%	18.37%	20.88%	14.86%	9.03%
2-(8)	0.38%	0.75%	8.34%	48.78%	41.76%
2-(9)	0.07%	0.81%	6.58%	46.07%	46.47%
2-(10)	0.56%	1.82%	11.29%	48.15%	38.18%
2-(11)	1.07%	2.19%	14.55%	54.61%	27.59%
2-(12)	1.00%	2.38%	11.54%	50.53%	34.55%
2-(13)	1.00%	1.76%	10.72%	53.48%	33.04%
2-(14)	0.56%	1.82%	8.78%	51.66%	37.18%

(8) 教養教育科目／総合教育科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.16%	0.48%	6.59%	21.14%	71.64%
1-(2)	4.93%	6.37%	18.69%	44.74%	25.25%
1-(3)	59.64%	24.27%	11.98%	2.68%	1.43%
2-(1)	0.61%	0.93%	8.74%	50.19%	39.54%
2-(2)	0.72%	3.27%	61.02%	28.73%	6.27%
2-(3)	0.27%	1.51%	84.63%	10.81%	2.79%
2-(4)	0.96%	3.15%	12.76%	48.69%	34.44%
2-(5)	0.91%	2.39%	14.81%	47.73%	34.16%
2-(6)	3.39%	6.64%	23.93%	41.36%	24.68%
2-(7)	45.33%	17.47%	20.98%	11.47%	4.75%
2-(8)	0.66%	1.62%	11.90%	50.74%	35.08%
2-(9)	0.58%	1.12%	9.70%	45.84%	42.76%
2-(10)	1.12%	1.65%	11.90%	50.29%	35.05%
2-(11)	1.25%	3.24%	14.60%	56.29%	24.61%
2-(12)	1.96%	3.74%	15.06%	50.48%	28.76%
2-(13)	1.83%	2.71%	15.43%	52.79%	27.24%
2-(14)	1.67%	2.26%	10.78%	51.22%	34.07%

(9) 外国語科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.16%	0.43%	8.46%	23.47%	67.49%
1-(2)	1.41%	2.91%	10.73%	48.69%	36.27%
1-(3)	39.43%	32.48%	20.67%	4.32%	3.11%
2-(1)	0.45%	0.79%	6.83%	49.30%	42.64%
2-(2)	0.90%	3.83%	57.22%	31.30%	6.75%
2-(3)	0.45%	2.52%	80.62%	13.58%	2.83%
2-(4)	1.07%	2.41%	10.50%	47.38%	38.65%
2-(5)	0.68%	1.38%	9.89%	50.52%	37.53%
2-(6)	0.76%	1.35%	10.21%	46.00%	41.68%
2-(7)	31.27%	21.07%	22.06%	18.02%	7.58%
2-(8)	0.74%	1.05%	8.45%	49.09%	40.68%
2-(9)	0.49%	1.13%	5.96%	44.63%	47.80%
2-(10)	0.93%	1.28%	8.52%	49.50%	39.77%
2-(11)	1.38%	3.01%	13.57%	54.37%	27.68%
2-(12)	2.56%	3.24%	15.42%	49.51%	29.27%
2-(13)	2.28%	3.22%	18.36%	50.08%	26.05%
2-(14)	1.53%	1.82%	9.36%	49.37%	37.92%

(10) スポーツ・トレーニング科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0%	0%	8.99%	20.63%	70.37%
1-(2)	0%	1.06%	5.82%	49.21%	43.92%
1-(3)	0%	0%	3.17%	44.44%	52.38%
2-(1)	0.53%	1.06%	2.65%	42.86%	52.91%
2-(2)	0%	0.53%	4.76%	29.10%	65.61%
2-(3)	0%	0%	10.05%	38.62%	51.32%
2-(4)	0%	0%	5.29%	37.57%	57.14%
2-(5)	0%	0%	2.23%	42.46%	55.31%
2-(6)	0%	1.06%	6.88%	35.98%	56.08%
2-(7)	0%	0%	1.59%	38.62%	59.79%
2-(8)	0%	0.53%	3.17%	31.22%	65.08%
2-(9)	0%	0.53%	2.12%	25.93%	71.43%
2-(10)	0%	1.06%	3.70%	26.46%	68.78%
2-(11)	1.09%	1.09%	4.35%	33.15%	60.33%
2-(12)	0%	0%	3.70%	42.33%	53.97%
2-(13)	0%	0%	6.88%	43.92%	49.21%
2-(14)	0%	0.53%	4.23%	39.15%	56.08%
2-(15)	0%	0%	2.12%	36.51%	61.38%
3-(1)	0%	0%	2.65%	40.74%	56.61%
3-(2)	0.55%	1.10%	2.76%	41.44%	54.14%
3-(3)	0.53%	2.65%	11.11%	35.45%	50.26%

(11) 教職課程科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0%	0.19%	5.41%	22.39%	72.01%
1-(2)	0.78%	2.15%	8.81%	49.32%	38.94%
1-(3)	56.34%	28.36%	11.19%	1.49%	2.61%
2-(1)	0.37%	0.19%	3.36%	45.71%	50.37%
2-(2)	0.19%	2.24%	67.91%	26.31%	3.36%
2-(3)	0%	3.17%	80.60%	13.43%	2.80%
2-(4)	0.40%	1.41%	5.66%	44.44%	48.08%
2-(5)	0%	1.61%	7.04%	45.88%	45.47%
2-(6)	0.41%	2.23%	11.76%	43.81%	41.78%
2-(7)	45.90%	17.72%	17.35%	14.37%	4.66%
2-(8)	0.19%	0.75%	4.29%	40.86%	53.92%
2-(9)	0%	1.64%	2.86%	37.22%	58.28%
2-(10)	0.56%	1.12%	5.22%	44.78%	48.32%
2-(11)	0.37%	1.87%	8.02%	56.53%	33.21%
2-(12)	0.56%	2.43%	8.02%	48.32%	40.67%
2-(13)	0.19%	1.12%	6.90%	50.75%	41.04%
2-(14)	0.37%	1.49%	5.22%	50.75%	42.16%

(12) ゼミ・外書講読

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.19%	0.60%	5.50%	20.84%	72.87%
1-(2)	4.49%	5.08%	18.24%	40.34%	31.86%
1-(3)	33.27%	21.59%	24.34%	9.04%	11.76%
2-(1)	0.08%	0.64%	5.46%	38.36%	55.46%
2-(2)	0.60%	2.37%	69.07%	25.17%	2.79%
2-(3)	0.26%	2.07%	91.79%	5.16%	0.72%
2-(4)	0.08%	0.35%	5.51%	39.58%	54.48%
2-(5)	0.43%	0.71%	5.71%	40.24%	52.91%
2-(6)	0.32%	0.43%	3.75%	35.46%	60.04%
2-(7)	11.98%	14.69%	21.18%	31.99%	20.16%
2-(8)	0.15%	0.26%	3.77%	34.02%	61.79%
2-(9)	0.47%	1.54%	4.23%	36.48%	57.27%
2-(10)	0.53%	0.64%	8.06%	42.24%	48.53%
2-(11)	0.15%	0.72%	6.29%	46.83%	46.01%
2-(12)	0.23%	0.49%	5.12%	40.84%	53.32%
2-(13)	0.30%	0.38%	4.94%	41.75%	52.64%
2-(14)	0.23%	0.38%	3.84%	33.42%	62.13%

(1 3) 日本語教員養成講座科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0%	1.57%	8.90%	23.04%	66.49%
1-(2)	0.57%	4.60%	13.22%	48.85%	32.76%
1-(3)	45.03%	21.99%	25.13%	4.71%	3.14%
2-(1)	0%	0.52%	4.19%	46.07%	49.21%
2-(2)	0%	2.62%	56.02%	37.17%	4.19%
2-(3)	0%	2.62%	82.20%	14.66%	0.52%
2-(4)	0.58%	1.17%	2.92%	44.44%	50.88%
2-(5)	1.18%	0.59%	8.88%	52.66%	36.69%
2-(6)	0.59%	0.59%	3.55%	37.87%	57.40%
2-(7)	31.94%	26.70%	14.14%	17.28%	9.95%
2-(8)	0.52%	0.52%	2.09%	46.07%	50.79%
2-(9)	0%	0.60%	1.19%	41.07%	57.14%
2-(10)	0.52%	0.52%	4.19%	43.98%	50.79%
2-(11)	0.52%	3.66%	4.71%	63.35%	27.75%
2-(12)	0.52%	3.66%	7.85%	52.88%	35.08%
2-(13)	0.52%	0%	5.76%	58.64%	35.08%
2-(14)	0.52%	2.09%	5.24%	47.12%	45.03%

(1 4) 全体 (講義科目)

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.24%	0.44%	7.36%	22.25%	69.71%
1-(2)	3.08%	4.66%	14.02%	45.20%	33.04%
1-(3)	46.93%	27.98%	17.85%	3.93%	3.31%
2-(1)	0.47%	0.77%	6.98%	49.48%	42.31%
2-(2)	0.68%	3.04%	56.00%	32.72%	7.56%
2-(3)	0.43%	2.31%	80.96%	13.26%	3.05%
2-(4)	1.07%	2.77%	10.59%	46.48%	39.09%
2-(5)	0.80%	1.60%	10.58%	48.39%	38.62%
2-(6)	2.41%	4.23%	16.09%	43.09%	34.18%
2-(7)	33.37%	19.61%	21.76%	17.41%	7.85%
2-(8)	0.73%	1.13%	8.92%	48.37%	40.84%
2-(9)	0.64%	1.30%	6.25%	44.41%	47.40%
2-(10)	1.07%	1.61%	9.80%	48.18%	39.34%
2-(11)	1.65%	3.62%	14.45%	53.48%	26.80%
2-(12)	2.23%	3.46%	14.64%	49.17%	30.49%
2-(13)	2.06%	3.09%	15.92%	50.52%	28.41%
2-(14)	1.55%	2.19%	10.04%	49.18%	37.05%

6. 学部等設問項目 平均値・標準偏差

5段階評価の設問項目のみ集計

(1) 商学部

設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(1) あなたは、この授業に対して十分に取 り組んだと思いますか。	専任教員	114	4.12	0.77
	講師（非常勤）	75	4.17	0.76
計		189	4.13	0.77

(2) 外国語学部

設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(1) この授業で使う教室の大きさ、施設・ 備品などは適切ですか。（※対面授業の履修 者のみ回答してください）	専任教員	94	4.29	0.70
	講師（非常勤）	188	4.32	0.67
計		282	4.31	0.69
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(2) このクラスの学生数は適切ですか。 （※対面授業の履修者のみ回答してくださ い）	専任教員	94	4.28	0.69
	講師（非常勤）	188	4.30	0.68
計		282	4.29	0.69

(3) 工学部

設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(1) この授業の到達目標をよく理解してい ますか。	専任教員	75	3.67	0.94
	講師（非常勤）	30	3.64	0.95
計		105	3.66	0.94
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(2) 宿題や課題に前向きな気持ちで取り組 んでいますか。	専任教員	75	3.76	0.95
	講師（非常勤）	30	3.76	0.94
計		105	3.76	0.95
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(3) この授業の内容について、先生や友人 とよく話しますか。	専任教員	75	3.41	1.14
	講師（非常勤）	30	3.35	1.16
計		105	3.40	1.14

(4) 国際学部

設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(1) 留学生だけに質問します。この授業の内容はどのくらいわかりますか。	専任教員	42	4.15	0.80
	講師（非常勤）	15	3.97	1.05
計		57	4.10	0.88
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(2) 留学生だけに質問します。先生の日本語はどのくらいわかりますか。	専任教員	42	4.27	0.74
	講師（非常勤）	15	4.12	0.89
計		57	4.23	0.78

(5) 教職課程科目

設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(1) この授業では I C T 機器の活用は適切に行われていますか。	専任教員	29	4.26	0.79
	講師（非常勤）	17	4.36	0.73
計		46	4.29	0.77

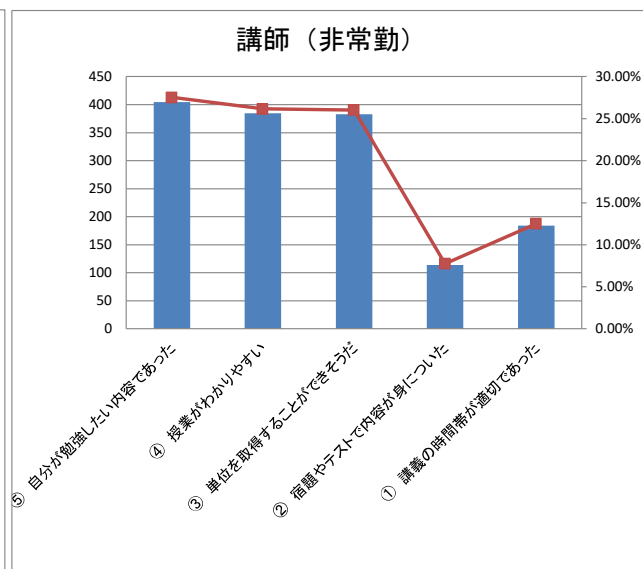
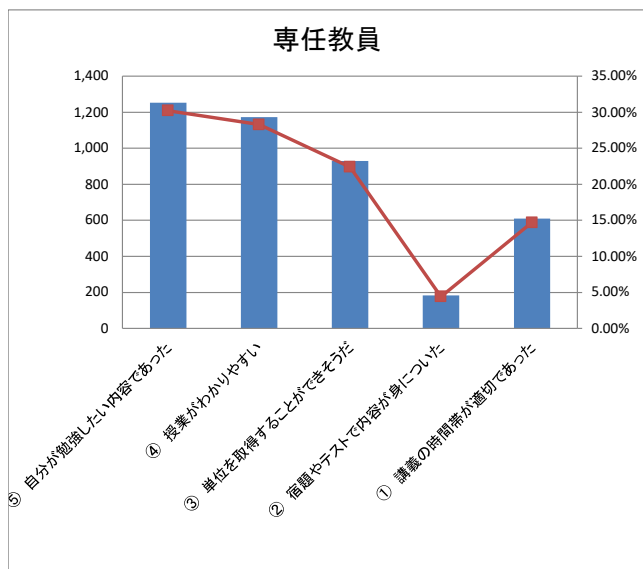
7. 学部等設問項目 教員別回答別表・グラフ

5段階評価以外の設問項目のみ集計

(1) 政経学部

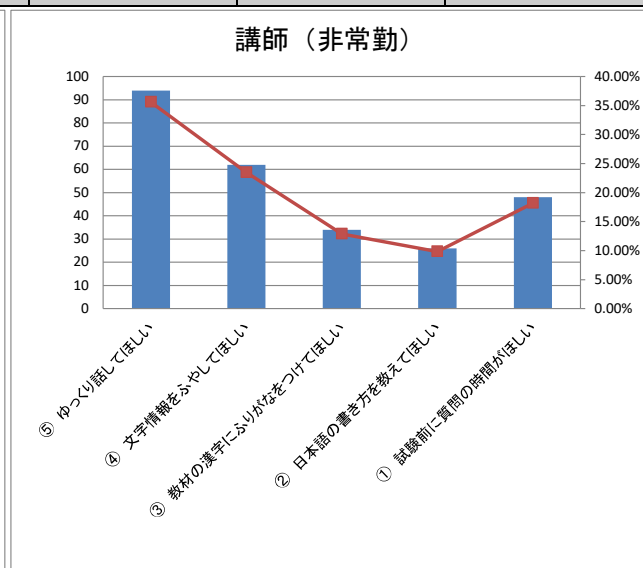
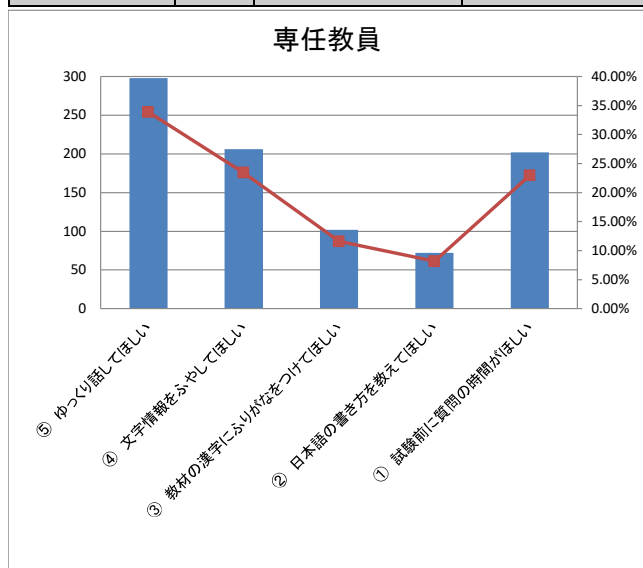
3-(1) この授業の満足度として、あなたが考える一番大きなものは何ですか。

		⑤ 自分が勉強したい内容であった	④ 授業がわかりやすい	③ 単位を取得することができそう	② 宿題やテストで内容が身についた	① 講義の時間帯が適切であった
専任教員	回答	1,253	1,173	929	183	609
	割合	30.21%	28.29%	22.40%	4.41%	14.69%
講師（非常勤）	回答	405	385	383	114	184
	割合	27.53%	26.17%	26.04%	7.75%	12.51%
計	回答	1,658	1,558	1,312	297	793
	割合	29.51%	27.73%	23.35%	5.29%	14.12%



3-(2) 留学生だけに質問します。留学生からみて、この授業に必要なことは何ですか。（複数回答可）

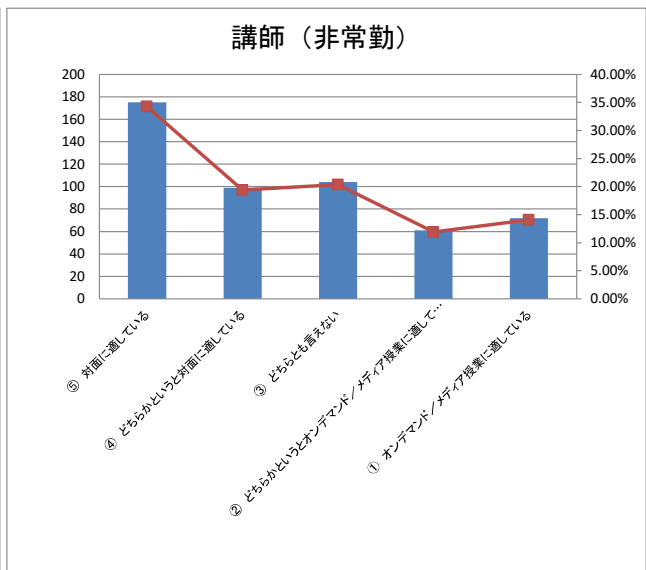
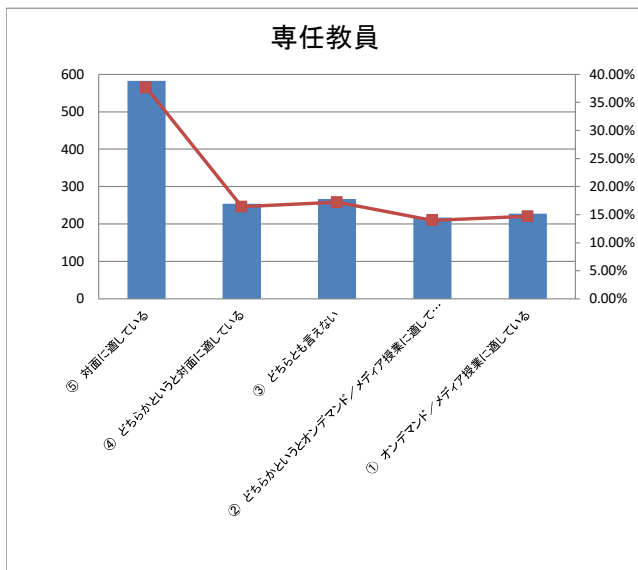
		⑤ ゆっくり話してほしい	④ 文字情報をふやしてほしい	③ 教材の漢字にふりがなをつけてほしい	② 日本語の書き方を教えてほしい	① 試験前に質問の時間がほしい
専任教員	回答	298	206	102	72	202
	割合	33.86%	23.41%	11.59%	8.18%	22.95%
講師（非常勤）	回答	94	62	34	26	48
	割合	35.61%	23.48%	12.88%	9.85%	18.18%
計	回答	392	268	136	98	250
	割合	34.27%	23.43%	11.89%	8.57%	21.85%



(2) 工学部

3-(4) この授業は、対面とオンデマンド／メディア授業のどちらの形式に適していると思いますか。
(※オンデマンド授業またはメディア授業の履修者のみ回答してください)

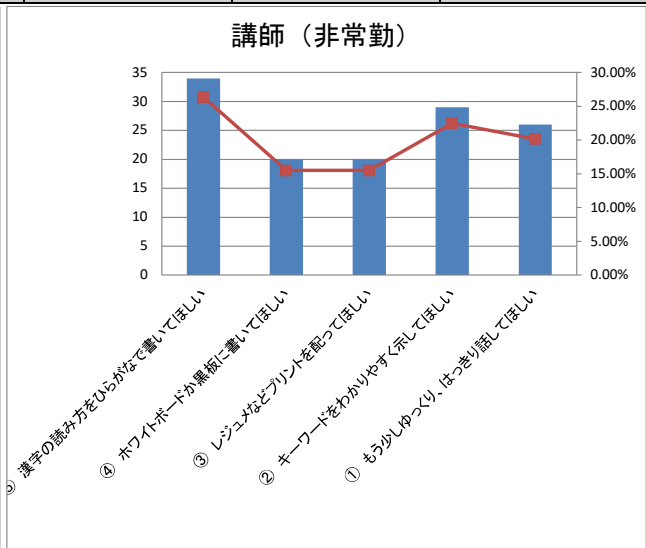
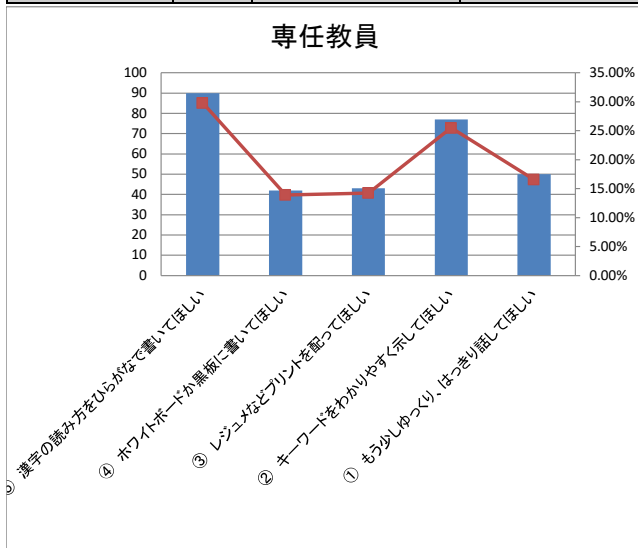
		⑤ 対面に適している	④ どちらかというに対面に適している	③ どちらとも言えない	② どちらかというとオンデマンド／メディア授業に適している	① オンデマンド／メディア授業に適している
専任教員	回答	583	254	267	217	228
	割合	37.64%	16.40%	17.24%	14.01%	14.72%
講師（非常勤）	回答	175	99	104	61	72
	割合	34.25%	19.37%	20.35%	11.94%	14.09%
計	回答	758	353	371	278	300
	割合	36.80%	17.14%	18.01%	13.50%	14.56%



(3) 国際学部

3-(3) 留学生だけに質問します。この授業に必要なことは何ですか。（複数選択可）その他の意見がある場合は、自由意見欄に記入してください。

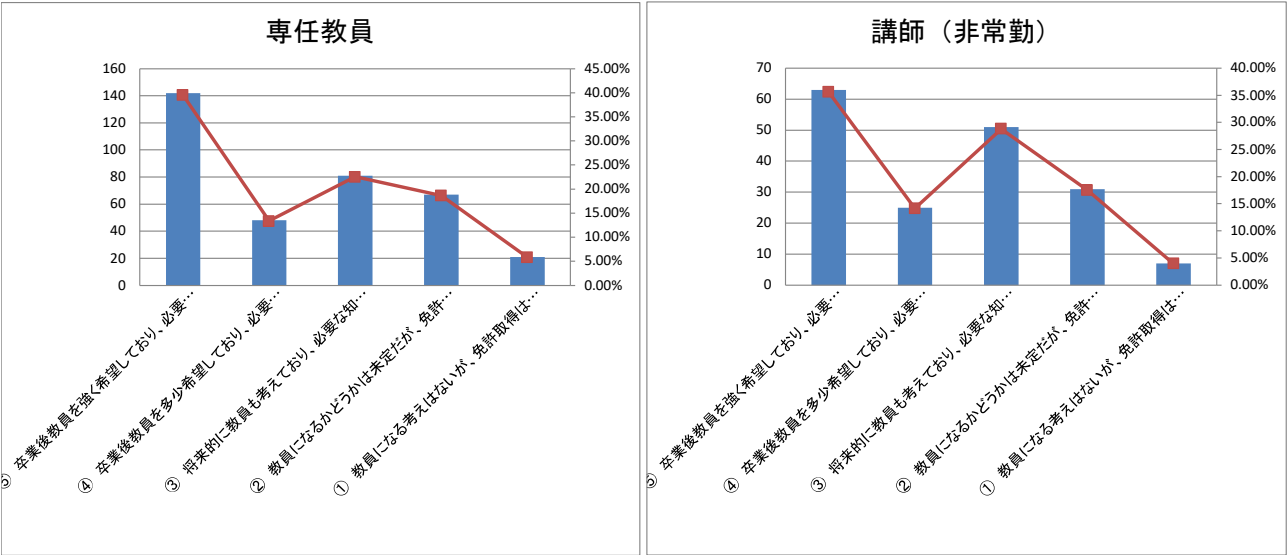
		⑤ 漢字の読み方をひらがなで書いてほしい	④ ホワイトボードか黒板に書いてほしい	③ レジュメなどプリントを配ってほしい	② キーワードをわかりやすく示してほしい	① もう少しゆっくり、はっきり話してほしい
専任教員	回答	90	42	43	77	50
	割合	29.80%	13.91%	14.24%	25.50%	16.56%
講師（非常勤）	回答	34	20	20	29	26
	割合	26.36%	15.50%	15.50%	22.48%	20.16%
計	回答	124	62	63	106	76
	割合	28.77%	14.39%	14.62%	24.59%	17.63%



(4) 教職課程科目

3-(2) この授業に取り組む姿勢として、一番当てはまるものは何ですか。

		⑤ 卒業後教員を強く希望しており、必要な知識技能を身に付ける	④ 卒業後教員を多少希望しており、必要な知識技能を身に付ける	③ 将来的に教員も考えており、必要な知識技能を身に付ける	② 教員になるかどうかは未定だが、免許取得を目指すに適している	① 教員になる考えはないが、免許取得を目指す
専任教員	回答	142	48	81	67	21
	割合	39.55%	13.37%	22.56%	18.66%	5.85%
講師（非常勤）	回答	63	25	51	31	7
	割合	35.59%	14.12%	28.81%	17.51%	3.95%
計	回答	205	73	132	98	28
	割合	38.25%	13.62%	24.63%	18.28%	5.22%



IV 評価及び課題

1. 商学部

(1) 実施状況

令和6年度「授業改善のための学生アンケート」は、2024年12月2日(月)～14日(土)に行われ、商学部における実施対象は、専任教員49名、講師(非常勤)102名であった。専任教員、講師(非常勤)それぞれの実施率は、専任教員が95.92%(令和5年度100.00%)、講師(非常勤)が88.24%(令和5年度90.57%)で、専任教員、講師(非常勤)ともに実施率が前年度から低下した。

実施科目数は、専任教員が235科目、講師(非常勤)は346科目である。学科目別実施科目数は、商学部初期教育科目(21科目)、商学部専門科目(155科目)、ゼミナール・外書講読(107科目)、外国語科目(241科目)、教養教育科目(31科目)、教職課程科目(12科目)のほか、他学部専門科目等が14科目で合計581科目であった。

なお、今年度の「授業改善のための学生アンケート」は、講座科目(オムニバス)・集中講義等を除く、通年科目及び後期科目(オンデマンド型授業を含む)を対象とし、学生アンケートシステムを使用してWeb上で実施した。アンケート回答数(延べ人数)は、1年生4,167人、2年生3,460人、3年生1,946人、4年生802人、その他5人で、合計10,380人である。回答数は1年生が最も多く、学年が上がるにしたがって回答数が減り、4年生の回答数が最も少ない。

以降では、商学部初期教育科目および専門科目に関する回答について考察する。

(2) 初期教育科目に関する集計結果

初期教育科目は、令和3年度から実施対象となったため過去4年間との比較で評価する。いずれの項目も過去4年間ほぼ同じ傾向を示しているが、令和6年度は「回答『3.0』が適切である項目」を除く、すべての項目で前年度(令和5年度)を下回った。回答平均値が4.00を超えた設問項目に注目して前年度と比較すると1-(1)「学生の出席状況」(R5 4.73 → R6 4.67)、2-(1)「狙いの明確さ」(R5 4.25 → R6 4.19)、2-(5)「環境の配慮」(R5 4.10 → R6 4.00)、2-(8)「教員の意欲・熱意」(R5 4.11 → R6 4.04)、2-(9)「時間の厳守」(R5 4.28 → R6 4.14)、2-(10)「教材等の効果」(R5 4.11 → R6 4.09)と数値が若干低下している。また、令和5年度には令和4年度から数値が上昇した2-(4)「声の大きさ」(R4 3.82 → R5 4.10 → R6 3.91)、2-(11)「理解しやすさ」(R4 3.87 → R5 4.08 → R6 3.87)、2-(14)「満足度」(R4 3.92 → R5 4.08 → R6 3.95)が令和6年度で再び数値が若干低下し、令和4年度とほぼ同じ水準となっている。

設問項目1-(3)「予習・復習をしているか」(R5 1.52 → R6 1.51)、2-(7)「授業時間以外に先生に質問に行くことがあるか(オフィスアワー等の活用)」(R5 2.49 → R6 2.42)では、集計を開始した令和3年度から一貫して低い値を示しており、学生の予習・復習の不十分さが改めて浮き彫りとなった。予習・復習の改善については、設問項目2-(12)「興味関心」(R5 3.91 → R6 3.76)や、2-(13)「見方・考え方が深まる」(R5 3.89 → R6 3.71)

などの回答平均値が令和5年度よりは低下したものの令和4年度と同水準を保っていることから、学生の学びに対する興味・関心・意欲はそれなりに高いと推測される。よって、その興味・関心・意欲を予習・復習にどうつなげていくことができるかが教員に課せられた今後の課題といえる。

また、学生にとって適切な学修難易度・進度であったかについては、設問項目2-(2)「難易度」の回答平均値が3.54、2-(3)「進度」の回答平均値が3.40と令和5年度に比べそれぞれ0.3ポイントほど上昇しているが、令和4年度以前と同水準であることから難易度・進度ともに概ね適切であったと評価できる。

(3) 専門科目に関する集計結果

専門科目の集計結果について、過去5年間との比較が可能な13の設問項目に注目すると、「オフィスアワー等の活用」の令和元年度の数値(1.60)を除きいずれも過去5年間ほぼ同じ傾向を示している。令和6年度において前年度と比べ数値が上昇した項目は「狙いの明確さ」、「声の大きさ」、「環境の配慮」、「教材等の効果」、「理解しやすさ」、「見方・考え方が深まる」、「満足度」があげられ、過去4年間との比較を加えると「質問・発言」、「意欲・熱意」、「時間の厳守」、「興味関心」でも数値が上昇している。一方、前年度と比べて数値が低下した項目は「学生の出席状況」、「ノート・メモ」、「予習・復習」、「オフィスアワー」である。

数値が上昇した項目は、主体が教員側にあり、数値が低下した項目は主体が学生側にあることがわかる(「満足度」の主体は学生だが、満足度の高い授業を提供したのは教員)。このことから、専門科目に対する教員側の意欲、姿勢、授業準備、授業運営および方法が適切であったと理解できる。一方、調査開始以来、低調な「予習・復習」(令和6年度は1.74、令和元年度からの5年間の平均1.76)をはじめ、前年度よりも数値が低下した「学生の出席状況」、「ノート・メモ」、「予習・復習」、「オフィスアワー」の結果から、学生の「学び」に対するモチベーションをどう喚起し、それを維持することができるかが今後の課題と思われる。

学生にとって適切な学修難易度・進度であったかについては、設問項目2-(2)「難易度」の回答平均値が3.53(R5:3.62)、2-(3)「進度」の回答平均値が3.16(R5:3.26)であることから、難易度・進度ともに概ね適切であったと評価できる。

(4) 学部設問項目に関する集計結果

商学部では、学部独自の設問項目として「あなたは、この授業に対して十分に取り組んだと思いますか」を設定した。この設問については、専任教員の114科目、講師(非常勤)の75科目において実施され、回答平均値は専任教員4.12、講師(非常勤)4.17であった。これらの結果から、学生は自身の学修に概ね満足していると思われるが、既述したように「予習・復習」が現状では十分ではないため、その点を学生が自覚し、自ら予習・復習を充実させるような方策について検討することが今後の課題と思われる。

以上

2. 政経学部

(1) 実施状況－571 科目について調査を実施

令和 6 年度「授業改善のための学生アンケート」は、授業期間の後期にあたる令和 6 年 12 月 2 日から 12 月 14 日に実施した。QR コードを学生に提示し、インターネット上にて回答を回収した。政経学部には所属する専任教員 56 名、および講師（非常勤）102 名に協力の依頼を行い、専任教員からは 56 名全員（実施率 100%）、講師（非常勤）からは 81 名（実施率 79.41%）のご協力を得た。

対象科目は、通年科目及び後期科目（オンデマンド型授業を含む）であり、専任教員が担当するものは 309 科目（1 教員あたり平均 5.5 科目）、講師（非常勤）が担当するものは 262 科目（同 3.2 科目）であった。そして、137 名の教員から、571 科目に関する結果を得た。上記の科目数には、外国語科目や、教養教育科目、教職科目なども含まれる。

アンケートの回答者数は、延べ人数ベースで 1 年生 4,645 名、2 年生 3,934 名、3 年生 2,377 名、4 年生 904 名、その他 2 名の合計 11,862 名である。1・3 年生が多く 4 年生が少ないのは、昨年度と同じ結果である。1 科目あたりの回答数は 20.8 名（ $=11,862 \text{ 名} \div 571 \text{ 科目}$ ）である。

尚、上記のような昨年度との比較検討に関しては、昨年度の「授業改善のための学生アンケート」は前期に行われたため、後期実施の今年度とは厳密には比較できないことを申し添える（以下、同様）。

(2) アンケート項目

アンケート項目は、全部で 19 問である。はじめに学生の受講姿勢の「自己評価」について問い、続いて、「教育内容・方法」として授業の進め方や内容に関して評価をさせ、総合的な満足度を問うた。最後に、「学部設問項目」として、政経学部の独自設問 2 問を追加している。

(3) 専門科目に関する集計結果－「自己評価」

以下では、政経学部における設置科目のうち専門科目に関する回答を見ていく。設問 1-(1)「出席状況」では、回答平均 4.63（標準偏差 0.65）であり、この結果は、過去 3 年と比較して微減ではあるが最小の値となっている。特に、昨年度（前期実施）より 0.08 ポイント減少しているが、アンケート未実施の令和 2 年度を除く過去 4 年から引き続いて回答平均が 4.5 以上あるため、連続的に回答者の出席状況は高いことが示されている。設問 1-(2)「ノートの筆記の有無」では回答平均 3.98（標準偏差 1.02）、また設問 1-(3)「予習や復習に充てる時間」では回答平均 1.70（標準偏差 0.93）であり、両設問の回答平均は、過去 4 年と比較して最小の値となった。予習復習の時間は、過去 4 年においても回答平均 1.5 以上～2.0 未満を推移していることから、依然として少ないことが分かる。

（４）専門科目に関する集計結果－「教育内容・方法」

設問 2-(1)から設問 2-(14)では、昨年度の結果（前期実施）と同様に、授業の各側面について学生から評価を得た。担当講師のタイプ（専任教員／非常勤講師）、専門科目のタイプ（法律政治／経済）での結果については、各回答平均での差異は小さく、学生からの評価は近い値となっている。設問別にみても差異は少ない。各回答平均に関して、設問 2-(7)「授業時間以外での教員への質問（オフィスアワー）」以外は、概ね 4.0 前後なので「そう思う」と考える学生が多かったことが見てとれる。

質問項目の中でも、「授業の開始・終了時間の適切性」、「講義要項に沿った授業か」、「教員の授業への意欲・熱意」の順番で、回答平均が高い値となっている。一方、「授業時間以外での教員への質問（オフィスアワー）」、「授業の進度」の質問では、設問 2 での全 14 項目の中でも回答平均が低い。これらの結果は、昨年度の結果（前期実施）と同様となった。

設問 2-(2)「授業の難易度」と設問 2-(3)「授業の進度」は、「回答 3.0 が適切である項目」であった。両設問について、担当講師のタイプ（専任教員／講師）および学科別（法律政治／経済）それぞれを見てみると、設問 2-(2)の回答平均は 3.39 以上、設問 2-(3)の回答平均は 3.12 以上 3.20 未満の値となっている。また、両設問は、それぞれ過去 4 年と比較して最小の値であった。

設問 2-(14)「総合的にこの授業に満足していますか」の質問に対して、「強くそう思う」「そう思う」と回答した割合は 84.58%であり、昨年度の結果（前期実施）と比較して 1.77 ポイント増加しており、例年と同様に非常に高い割合である。従って、令和 6 年度においても、政経学部では満足度の高い授業を行うことができたと考えられる。

（５）政経学部による独自設問における回答結果

設問 3-(1)「授業の満足度」を尋ねたところ、回答の割合が高い順番で、「自分が勉強したい内容であった」29.51%、「授業がわかりやすい」27.73%、「単位を取得することができそう」23.35%、「講義の時間帯が適切であった」14.12%、「宿題やテストで内容が身についた」5.29%であった。

設問 3-(2) は、留学生のみを対象として、授業を受けるうえで必要な事項を質問した。回答結果は、割合が高い順番で見ると、「ゆっくり話してほしい」34.27%、「文字情報を増やしてほしい」23.43%、「試験前に質問の時間がほしい」21.85%、「教材の漢字にふりがなをつけてほしい」11.89%、「日本語の書き方を教えてほしい」8.57%となっている。

（６）今後の課題

本年度のアンケートの結果から、政経学部の授業は、昨年度（前期実施）と同様に、概ね満足度の高い授業であると言える。特に、授業の満足度に関する設問の中で、「授業がわかりやすい」という回答の割合が、昨年度（前期実施）よりも 2.3 ポイント増加した。政経学部の各教員が、引き続き授業運営に日々ご尽力されていることが、結果から読み取ることができた。

しかしながら、本年度では、「ノートの筆記の有無」、「予習や復習に充てる時間」、「授業の難易度」、「授業の進度」の各設問に関して、それぞれ過去4年と比較して最小の値であった。「ノートの筆記の有無」に関しては、各教員の授業運営によって様々であると考えられるが、「授業時間以外での教員への質問（オフィスアワー）」とともに、「予習や復習に充てる時間」が少ないことが、例年に引き続き課題として残っている。

「授業の難易度」や「授業の進度」に関しては、上述した「授業がわかりやすい」という回答が上昇傾向であるため、さらにわかりやすい授業の展開を各教員が心掛けていくことで、学生の理解力を高め、専門性を涵養することにつながり、現状より望ましい評価になると考える。

また、留学生への対応として、留学生のみの回答の中で、「ゆっくり話してほしい」という回答の割合が、昨年度と同様に最も高かったため、授業の内容を理解できない留学生が依然として一定水準いることが推測される。しかしながら、本年度の結果において、「試験前に質問の時間がほしい」という留学生の回答の割合が、昨年度（前期実施）と比較して3.06ポイント増加しているため、授業時間以外での教員への質問に対して、意欲的な留学生が増加していると考えられることができる。

本年度のアンケート結果を踏まえて、今後も予習復習を促しながら、わかりやすい授業を展開していくことで、さらに学生の授業満足度が高まることが期待できる。

以上

3. 外国語学部

(1) 実施状況

実施教員数は、専任教員が 31 名、講師（非常勤）が 56 名で、実施率は専任教員が 100 %、講師（非常勤）が 87.5%で昨年よりも増加した。アンケート実施科目数は専任が 163、非常勤が 240 の計 403 科目であった。アンケートに回答した延べ人数は 3,991 名（1 年：1,436、2 年：1,270、3 年：866、4 年：415、その他：4）であり、昨年の 4,712 名から 15%ほど減少した。

(2) 全体集計

①外国語学部専門科目の集計結果について

外国語学部専門科目の結果について、以下で詳しく見ていく。回答平均値が高いほど望ましい設問は全部で 15 問である。今年は平均値が 4.00 を超える項目は 13 問にのぼり、昨年度の外国語学部の平均値を上回る設問が多かった。

「教育内容・方法」に関する項目のうち、2-(1)「講義要項に沿っているか」、2-(4)「話し方や声が聞き取りやすいか」、2-(5)「授業に集中できるよう配慮しているか」、2-(6)「学生の授業参加を促したか」、2-(8)「意欲や熱意を感じるか」、2-(9)「授業の開始・終了時刻が守られているか」、2-(10)「教材等は授業内容を理解するのに有効か」、2-(11)「授業内容は理解できたか」、2-(12)「授業内容に興味を持てたか」、2-(14)「総合的に満足しているか」の 10 項目は、大学全体の平均値を上回っただけでなく、他学部の専門科目よりも高い値を示していた。この結果からは、学生が授業に集中して取り組めるよう学習環境を整え、教材や授業内容に工夫を凝らし、意欲的に授業に取り組む教員の姿が浮かび上がる。そして、こうした取り組みの積み重ねが、授業への興味や理解度の向上につながり、最終的に高い満足度を生み出したと考えられる。

一方、平均値が 4.00 を超えなかった項目は、昨年に引き続き、1-(3)「予習・復習の時間」と、2-(7)「授業時間以外に先生へ質問に行くこと（オフィスアワー等）」であった。このうち、1-(3)「予習・復習の時間」については、大学平均を上回ってはいるものの、1.97 であった。選択肢ごとの回答率を見ると、「0.5h 未満」が 39.95%、「0.5h 以上」（すなわち、0.5h 以上 1h 未満）が 31.79%で、7 割を超える学生の自習時間が 1 時間に満たないという結果になった。この割合は昨年度よりも大きくなっている。予習・復習にかける時間がさらに短くなり、十分な学習時間が確保されていない状況となっている。

2-(7)「授業時間以外に先生へ質問に行くこと（オフィスアワー等）」に関しては、外国語学部の平均値は 2.61 で、昨年の 2.52 から微増しているものの高い値とは言えない。しかし、昨年度も指摘した通り、外国語学部は、少人数編成の授業が多いため、授業中や授業後に質問しやすい環境があったり、Microsoft Teams のチャット機能等で教員とのやり取りを行っているケースも多かったりすることから、「オフィスアワーに質問に行く」と

いう行動をとる学生は、今後も大きく増えることはないかもしれない。

回答平均値が 3.0 が適切な 2-(2) 「難易度」、2-(3) 「進度」は、それぞれの平均値が 3.39 と 3.12 であり、今回も概ね満足できる結果であった。

②外国語学部設問項目に関する集計結果

外国語学部は少人数教育に重点をおいており、効果的な教育を行う上で、教室環境の整備は特に重要である。そのため、それを確認するために、今回も学部独自項目として(1)「授業で使う教室の大きさ・施設・備品が適切か」、(2)「クラスの学生数は適切か」の2問を設定した。結果を見ると、(1)の平均値は 4.31、(2)は 4.29 であり、昨年とほぼ同様の値であった。学生の満足度も概ね良好であると判断できる。

(3) 授業改善に向けての今後の課題

集計結果を全体的に見ると、今年度も外国語学部の授業は高い評価を得ていた。しかし、受講生の予習・復習時間が非常に短く、さらに減少傾向にある点は大きな課題と言える。

外国語学部の語学系の専門科目では、日々の学習の積み重ねが不可欠であり、授業時間外の予習・復習の重要性は極めて高い。そのため、受講生が意欲的かつ継続的に取り組めるよう、授業外学習を促すための工夫が求められる。

以上

4. 工学部

(1) 実施状況

今年度の「授業改善のための学生アンケート」は、後期（2024 年 12 月 2 日～12 月 14 日）に実施された。実施教員数は、専任教員が 49 名中 49 名、講師（非常勤）が 43 名中 32 名で、専任教員の実施率は 100%、講師（非常勤）が 74.42%であり、専任教員は昨年度と同じく 100%の実施、講師（非常勤）は昨年度より約 23%低い実施率となった。アンケート実施科目数は 225 科目（専任：134、非常勤：91）で、専任教員の科目数は昨年度から 4 科目増加、講師（非常勤）の科目数が 20 科目減少した。一人あたりの実施科目数の平均値は、専任教員が 2.7 科目、講師（非常勤）が 2.8 科目であった。アンケートに回答した延べ人数は 5,118 名（1 年：2,226、2 年：1,857、3 年：956、4 年：71、その他：8）であり、昨年度の 6,744 名（1 年：3,063、2 年：2,082、3 年：1,427、4 年：160、その他：12）と比べて約 23%減少した。

(2) 全体集計

アンケート各項目について講義科目を中心に考察する。

I. 自己評価

① 学生の出席状況（設問 1-(1)）

工学部専門科目（講義）の出席状況は平均 4.69 であり、昨年度の 4.76 からやや低下しているが、過去 5 年間の数値では 4.6～4.8 程度であり、高い数値を保っているものと考ええる。また大学全体の数値が 4.61 であり、昨年度と同様に全学部専門科目の中で最も高い値であるとともに、僅差ではあるが全区分の中でも最も高い値となっている。理由としては、工学部は受講者が 100 名を超える大人数の授業が少なく出欠状況を把握しやすいことや、カードリーダーによる出席管理が定着していること、毎回課題演習を行う授業が多いことなどが考えられる。実験・実習科目の出席状況は 4.72 で昨年度の 4.84 と比べて低下しているものの、引き続き高い数値を維持している。多くの実験・実習科目では、授業出席および参加姿勢が重視されることから学生の出席意識が高いことが窺える。

② ノート・メモ（設問 1-(2)）

説明や内容についてのノートやメモを取っているかについては平均 3.73 であり、昨年度の 3.89 と比べて低下した。全体平均は 4.01（昨年度の全体平均は 4.11）であり、平均より低い値であるのは昨年度同様で、全区分の中で最も低い方である。専任教員のみ数値では 3.70（昨年 3.89）と低下しており、講師（非常勤）では 3.96（昨年 3.96）と横ばいである。数値が低い理由の 1 つとして、スクリーンへの掲示資料や電子的な配布資料の準備が進み、印刷した紙による資料配布が減ったことで、学生のノートを取る意識が低下しているのではないかと考える。タブレット等を使用して電子的にメモを取る、あるいは自分で印刷した

配布資料に書き込んでいる学生が見られる一方で、資料をスマートフォンで開いているだけの学生も見られる。ガイダンスや基礎ゼミ等でのノート・メモの指導が重要と考える。

③ 予習・復習（設問 1-(3)）

講義科目における予習・復習については全体平均が 1.88 で全学的に 1～2 台の低い値となっている。その中で工学部は 1.93 で比較的高いが、昨年度の値 1.99 からやや低下した結果となっている。専任教員のみの数値では 1.89（昨年 2.01）で低下、講師（非常勤）では 1.99（昨年 1.92）から上昇という結果となっている。予習・復習について、講義要項には予習・復習の項目があり記載内容については講義担当教員だけでなく学部での確認も行われている。さらに、Blackboard を利用して事前に講義資料を掲示して予習内容を具体的に示している授業も多く、予習・復習がしやすい環境は整えられているにも関わらず、結果としては低い数値となっており、学生に対する意識付けを高めるための工夫が必要であると考える。

Ⅱ. 授業内容・方法

① 講義要項との一致（設問 2-(1)）

講義科目で 4.19（昨年 4.18）となり、全学平均の 4.33 と比較すると 0.14 ポイント低く、全区分の中で最も低い値である。講義要項に沿って授業を行うことが基本であるが、工学部の専門科目では講義内の演習等によって知識を積み重ねていく内容の講義が多いので、学生の理解度が不十分な場合は進度を遅らせたり、理解が早い場合は発展的な内容を取り込んだりすることが考えられる。学生の理解度は受講者数などさまざまな要因によって毎年変わるため、学生の達成度や満足度の向上のためには臨機応変の対応が有効と考える。また、本項目の結果は、絶対的な数値としては決して低い値ではなく、現状の講義要項の記載と授業方法で問題は無いと考える。

② 難易度（設問 2-(2)、実験・実習科目：設問 2-(1)）

難易度は、中間の 3.0 が適切で、小さい値が易しい、大きい値が難しいという意味である。結果は講義科目で 3.67（昨年 3.67）、実験実習科目で 3.72 程度（昨年 3.73）であり、講義科目の全体平均 3.43（昨年 3.52）と比べると高い値となっている。講義科目の標準偏差は 0.78（昨年 0.77）であり、標準偏差の全体平均 0.70（昨年 0.73）に比べるとやや大きく、難易度の感じ方のばらつきがあることが窺える。難易度の平均値と標準偏差の結果を見ると、単に授業の難易度を下げればよいという訳ではなく、学生一人一人のレベルに合わせた対応によって、難しいと感じる学生も易しいと感じる学生も適切な難易度の感じ方となるような工夫が必要と考える。

③ 進度（設問 2-(3)、実験・実習科目：設問 2-(2)）

進度も難易度同様に、中間の 3.0 が適切で、小さい値が遅い、大きい値が速いという意味を示す。結果は講義科目で 3.28（昨年 3.30）、実験実習科目で 3.46 程度（昨年 3.39）となった。昨年度からは数値が上がり、また中間の 3.0 よりはやや大きな値であるため、進度としては少し速いと思う学生が多い結果となっている。難易度同様に進度についても、一律に下げればよいということではなく、学生一人一人に合わせた対応が望ましいと考える。

④ 話し方や声の聞き取りやすさ（設問 2-(4)）

講義科目で 3.97（昨年 4.01）、実験実習科目で 4.12（昨年 4.03）という結果で、全学平均の 4.20（昨年 4.16）と比較するとやや低い値となっているものの、絶対的な数値としては高い水準にあると考える。講義科目の学科別では、機械システム工学科 4.03（昨年 4.06）、電子システム工学科 4.10（昨年 4.05）、情報工学科 4.03（昨年 4.02）、デザイン学科 4.01（昨年 4.08）であり、ほぼ同様の数値となった。話し方や声の聞き取りやすさについては、個々の教員の配慮や工夫によって改善を進める必要があると考える。

⑤ 環境の配慮（設問 2-(5)）

講義科目で 4.02（昨年 4.07）、実験実習科目で 4.12 程度（昨年 4.08）となった。全学平均の 4.23（昨年 4.22）と比較すると低い値であるが、絶対的な数値としては高く、多くの授業で高い評価を受けているものと考ええる。さらに全学平均に近づけるために、学生が授業に集中できるように配慮することの必要性を認識して改善を進める必要がある。

⑥ 質問・発話（設問 2-(6)）

講義科目で 3.59（昨年 3.68）で、昨年度よりやや減少した。また、全学平均の 4.03（昨年 4.02）と比較して低い値であり、全学部の中で最も低い値となった。工学部の授業では、特に演習や実習において学生間で相談や意見交換をする場面がしばしば見られるが、質問・発言すべき場面では教員からも発話を促し、積極的な授業参加を求める必要があると考える。

⑦ オフィスアワー（設問 2-(7)）

授業時間以外の質問については、講義科目で 2.44（昨年 2.52）と低下し、全学平均の 2.46（昨年 2.55）とほぼ同じ数値であったが、絶対的には低い値である。工学部は少人数の授業が多く授業中に質問できる機会が多いこと、授業のない日でも出校している教員が多く学生はオフィスアワーを意識する必要がない場合が多いこと、メールや Teams のチャット等を利用してオフィスアワーに限らず質問や連絡できることなどの理由が考えられる。

⑧ 意欲・熱意（設問 2-(8)、実験・実習科目：設問 2-(6)）

講義科目で 4.04（昨年 4.09）、実験実習科目で 4.27 程度（昨年 4.22）となった。全学平均の 4.28（昨年 4.28）より低い値であったものの、絶対的な数値としては高いため、高評価を得ているものと考えられる。学科別でも 4.05～4.14 であり大きな違いはなく、各学科とも高評価を得たと言える。

⑨ 時間の厳守（設問 2-(9)、実験・実習科目：設問 2-(7)）

講義科目で 4.26（昨年 4.30）、実験実習科目で 4.28 程度（昨年 4.25）となった。講義科目の全学平均の 4.37（昨年 4.38）よりやや低いものの、時間は守られているという結果と判断できる。専任教員の講義科目で 4.29（昨年 4.34）、講師（非常勤）では 4.32（昨年 4.30）であり、また学科別でも 4.25～4.35 と差はなく、時間通りに授業が進められているもの考える。

⑩ 教材等の効果（設問 2-(10)、実験・実習科目：設問 2-(8)）

講義科目で 4.04（昨年 4.16）、実験実習科目で 4.12 程度（昨年 4.08）となり、講義科目、実験実習科目ともに高い評価を得た。担当教員の尽力により講義資料や教材の準備や活用が進められていることで、その効果が表れているものとする。

⑪ 理解しやすさ（設問 2-(11)、実験・実習科目：設問 2-(10)）

講義科目で 3.64（昨年 3.72）、実験実習科目で 3.89 程度（昨年 3.87）となり、全学平均 4.01 より低い結果となっている。講義科目を学科別にみると、機械システム工学科 3.75（昨年 3.75）、電子システム工学科 3.77（昨年 3.82）、情報工学科 3.74（昨年 3.81）、デザイン学科 3.78（昨年 3.93）であり、各学科ともほぼ同様の値となった。いずれの結果も昨年度と大きな変化はなく、講義科目と実験実習科目、各学科科目の特徴や教育効果を総合した結果が、評価の数値として定着しているものとする。

⑫ 興味・関心（設問 2-(12)、実験・実習科目：設問 2-(12)）

講義科目で 3.73（昨年 3.77）、実験実習科目で 4.04 程度（昨年 4.00）、全学平均は 4.03（昨年 4.03）であった。工学部では、基礎知識の習得期間が長いため、低学年の科目では具体的な対象や目標が見通しにくく、興味や関心が湧きにくい面もあると思われる。全学の講義科目の学年別データによると、1 年生 3.94、2 年生 4.01、3 年生 4.10、4 年生 4.30 と学年進行につれて数値が高まっているが、工学部では上記の理由からその傾向が強いのではないかと予測する。

⑬ 見方・考え方が深まる（設問 2-(13)）

講義科目で 3.67（昨年 3.75）、実験実習科目で 4.01 程度（昨年 3.97）となり、講義科目で全体平均 4.01（昨年 4.01）を下回った。工学部の多くの講義科目、特に低学年の科目は学問体系における基礎の部分の内容であるので、履修直後では見方・考え方の深まりの実感が薄いのではないかと考える。一方で実験実習科目のような体験を通した授業や実学要素の高い講義では見方・考え方を深めやすいものと考え。学生の学ぶ姿勢や興味を早期から育むために、実験実習科目と講義科目間の連携、基礎科目と実学科目間の連携、ディスカッション等を通した学習の取り入れなどの工夫が考えられる。

⑭ 満足度（設問 2-(14)）

講義科目で 3.86（昨年 3.90）、実験・実習科目で 4.08 程度（昨年 4.02）、講義科目の全体平均は 4.18（昨年 4.15）であった。学科別に見ると、機械システム工学科 3.96（昨年 3.96）、電子システム工学科 3.97（昨年 3.96）、情報工学科 3.95（昨年 3.99）、デザイン学科 3.95（昨年 4.04）であった。学科によっては若干の変動が見られるが、満足度はほぼ例年通りの数値を維持しているものと考えている。

Ⅲ. 学部設問項目

令和 2 年度学修行動調査所見にて「リーダーシップ能力、課題に対する解決能力育成」という課題に対し、令和 3 年度よりその教育改善方策の 1 つとして「リーダーシップ能力や課題解決能力の意識付け」を掲げており、本年度も継続して以下の 4 項目を設定している。

① この授業の到達目標をよく理解していますか（設問 3-(1)）

専任教員が担当する科目で 3.67（昨年 3.81）、講師（非常勤）で 3.64（昨年 3.61）であり、合計で 3.66（昨年 3.75）であった。この結果によると、授業の到達目標をあまり意識していない学生が昨年度同様やや増加していると考えられる。リーダーシップ能力や課題解決能力を高めるためには、到達目標を理解した上で協力して課題解決に取り組むことが重要であり、授業の導入の際に丁寧に説明することが必要であると考え。

② 宿題や課題に前向きな気持ちで取り組んでいますか（設問 3-(2)）

専任教員が担当する科目で 3.76（昨年 3.88）、講師（非常勤）で 3.76（昨年 3.72）であり、合計で 3.76（昨年 3.83）であった。専任教員で低下し、合計でもやや低下した結果となった。工学部では学習支援センターの利用を促し、数学や物理学などの基礎的な科目だけでなく専門科目でも相談に行くよう指導しており、さらに利用を促すことで宿題や課題への取り組みの改善を進めたい。また、授業時間内で演習の時間を十分にとることで、学生の宿題や課題への取り組みの改善を促したいと考える。

③ この授業の内容について、先生や友人とよく話しますか（設問 3-(3)）

専任教員が担当する科目で 3.41（昨年 3.52）、講師（非常勤）で 3.35（昨年 3.40）であり、合計で 3.40（昨年 3.46）であった。「リーダーシップ能力、課題に対する解決能力育成」には、学習内容について他者とよく話す経験が必要との考えからこの質問をしている。結果として、あまり高い数値とは言えず、昨年度との比較でもやや数値が低下している。先生や友人と気軽に相談できる機会や雰囲気をつくり、この数値の改善を目指すことで「リーダーシップ能力、課題に対する解決能力育成」を進めていきたい。

④ この授業は、対面とオンデマンドのどちらの形式に適していると思いますか

（設問 3-(4)）

オンデマンドの授業に対して、専任教員の科目で 37.64%、講師（非常勤）の科目で 34.25%が、「1：対面に適している」との回答であった。科目全体の集計ではあるが、オンデマンドで実施している科目でも、対面の方が適していると感じている学生が多くいることが分かる。このことを念頭に置いて、対面とオンデマンドの実施形態について科目ごとに検討していく必要があると考える。

以上

5. 国際学部

(1) 実施状況

専任教員は32名中31名(96.88%)が、講師(非常勤)は、47名中38名(80.85%)がアンケートを実施した。講師(非常勤)の回答率(令和5年度88.64%)が減少した。

実施科目数は専任教員158科目(令和5年度178科目)、非常勤講師175科目(令和5年度165科目)、計333科目で、令和5年度計343科目から微減であった。

アンケート回答数(延べ人数)は、1年生1,879人、2年生1,809人、3年生931人、4年生370人、その他31人の計5,020人で、令和5年度計5,913人の約15%減であった。ただし、全学の平均も前年比約18%減であり、全学的な傾向と考えられる。

(2) 全体集計

以下の表は、国際学部専門科目(57科目)について、各項目の過去5年間における平均値である。前年度よりも上昇した場合に↗印を、低下した場合に↘印を、変化がなかった場合には→印を付した。但し、「2-(2) 難易度」と「2-(3) 進度」の2項目は数値が「3.0」の回答が適切であると判断されるものであるため、3.0に近づく方向を「上昇」とした。参考のために、本年度における大学全体の平均値も付記してある。

	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	大学全体
1-(1) 学生の出席状況	↗ 4.57	↗ 4.73	↘ 4.64	↗ 4.67	↘ 4.56	4.61
1-(2) ノート・メモ	↗ 3.91	↗ 4.40	↘ 4.22	↘ 4.18	↘ 4.04	4.01
1-(3) 予習・復習	↗ 1.83	↘ 1.79	↗ 1.81	↗ 1.88	↘ 1.82	1.88
2-(1) 狙いの明確さ	↗ 4.19	↗ 4.39	↘ 4.36	↗ 4.40	↘ 4.29	4.33
2-(4) 声の大きさ	↗ 4.19	↘ 3.83	↗ 4.26	↘ 4.18	↗ 4.21	4.20
2-(5) 環境の配慮	↗ 4.26	↘ 3.92	↗ 4.26	↗ 4.32	↘ 4.21	4.23
2-(6) 質問・発言	—	3.69	↗ 3.93	↗ 4.05	↘ 3.98	4.03
2-(7) オフィスアワー	↗ 1.66	↗ 2.56	↗ 2.67	↘ 2.40	↗ 2.41	2.46
2-(8) 意欲・熱意	—	4.32	↗ 4.35	↗ 4.38	↘ 4.31	4.28
2-(9) 時間の厳守	—	4.37	↗ 4.39	↗ 4.43	↘ 4.38	4.37
2-(10) 教材等の効果	↗ 4.25	↗ 4.27	↗ 4.31	↘ 4.28	↘ 4.22	4.23
2-(11) 理解しやすさ	↗ 4.06	↗ 4.08	→ 4.08	→ 4.08	↘ 4.05	4.01
2-(12) 興味・関心	—	4.21	→ 4.21	↘ 4.19	↘ 4.15	4.03
2-(13) 見方・考え方が深まる	↗ 4.13	↗ 4.20	↗ 4.23	→ 4.23	↘ 4.16	4.01
2-(14) 満足度	↗ 4.19	↗ 4.23	↗ 4.25	↘ 4.22	↗ 4.23	4.18

○回答「3.0」が適切である項目

	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	大学全体
2-(2) 難易度	↗ 3.33	↘ 3.41	→ 3.41	↘ 3.45	↗ 3.35	3.43
2-(3) 進度	↗ 3.20	↗ 3.15	↘ 3.17	↘ 3.20	↗ 3.16	3.16

① 自己評価 (1-(1)～(3))

1-(1)～(3)の各項目について、回答の多かった上位を挙げると以下のとおりである(←の右の数字は昨年度)。

「1-(1) 授業への出席状況」	(1) ⑤90%以上 (65.52%) ←73.49%
	(2) ④80%以上 (26.14%) ←22.09%
「1-(2) ノート・メモ」	(1) ④そう思う (45.32%) ←39.73%
	(2) ⑤強くそう思う (33.44%) ←42.63%
「1-(3) 予習・復習」	(1) ①0.5h 未満 (51.47%) ←46.84%
	(2) ②0.5h 以上 (1h 未満) (25.58%) ←28.71%

総じて学生たちの講義への取り組みは比較的良いものの、出席率が80%以上(④+⑤)と答えた学生が約92%であり、令和5年度から4%減少した。また出席率90%以上と回答した学生の比率も約8%減少している。

ノート・メモをとっていると答えた学生(④+⑤)の比率は約79%で、令和5年度から3%減少しており、また「⑤強くそう思う」と答えた学生は9%も減少している(ただし、平均値4.04は、大学全体平均値の4.01を上回っており、相対的には高めの数字となっている)。

予習・復習の時間について、1h未満と答えた学生(①+②)が約77%と令和5年度の約76%より微増した。本項目については商学部専門科目及び政経学部専門科目でもそれぞれ約80%、81%となっており、他学部専門科目よりも低めではあるが(ただし外国語学部は約72%)、引き続き改善を要する点である。

②教育内容・方法 (2-(1)～(13))

大学全体の平均値より0.1ポイント以上高かった項目として、「興味・関心」「見方・考え方が深まる」の2項目があり、令和5年度の5項目から3項目(「環境の配慮」「意欲・熱意」「理解しやすさ」)減少した。

他方、大学全体の平均値より0.1ポイント以上低かった項目はなく、昨年度低かった「オフィスアワー」を含め、概ね大学全体と近い数字となっている。

「満足度」については、国際学部の数字は相対的に高めに推移しており、昨年度の平均値4.22は全学部の中で最も高い数字であったが、今年度の4.23は、外国語学部の4.29に次ぐ数字であった。引き続き、「興味・関心」のある授業を受け、「見方・考え方が深ま」ったとの学生の受け止めが寄与しているものと考えられるが、昨年度に比べて特長が薄まった分、相対的に満足度が低下していることが窺える。

③学部設問項目 (3-(1)～(5))

昨年度、学部設問項目を更新し、留学生のみを対象とした3つの設問を行った。今年度が2回目となるが、今後も経年変化をフォローし、留学生に留意した授業改善を進めていく参考としていきたい。

	令和5年度	令和6年度			
3-(1) 授業の内容の理解度					
専任教員	4.05	↗4.15			
講師(非常勤)	3.98	↘3.97			
計	4.05	↗4.10			
3-(2) 授業の日本語の理解度					
専任教員	4.11	↗4.26			
講師(非常勤)	4.29	↗4.36			
計	4.13	↗4.29			

上記の数字は、昨年度からの改善傾向を示している。今年度の学部 FD ワークショップでも留学生教育を取り上げたことから、来年度以降のさらなる向上を期待したい。

3-(3) この授業に必要なことは何ですか。

本設問では、具体的な要望事項 5 項目を選択肢としたが、そのうち上位 3 項目は以下のとおりであった(←の右の数字は昨年度)。

- ⑤漢字の読み方をひらがなで書いてほしい：28.77%(←19.02%)
- ②キーワードをわかりやすく示してほしい：24.59%(←24.55%)
- ①もう少しゆっくり、はっきり話してほしい：17.63%(←22.44%)

本結果は、「ひらがな」「キーワードの提示」「ゆっくり、はっきり」が留学生から望まれている優先事項であることを示している。昨年度「レジュメ等の資料配付」が第 3 位であったが、今年度は「ひらがな」の要望が増加したのが特徴的であった。

(3) まとめ

前述のとおり、「満足度」については国際学部の数字は高めに推移しており、今年度も外国語学部に次ぐ高い数字となった。しかし、全般的に諸数字が下降傾向にあること、またこれまで大学全体の中で比較優位にあった項目が減少していることから、今回のアンケート結果を踏まえ、特に以下の点に留意しつつ、不断の授業改善に取り組む必要があると考えられる。

- ①授業への出席状況、ノート・メモ、予習・復習など、基本的な学習習慣面での低下傾向への歯止め。
- ②国際学部の従来からの特長であった「環境の配慮（私語防止等授業に集中できる環境の保持）」「教員の意欲・熱意」「教材等の理解しやすさ」の一層の向上。
- ③人数が増加傾向にある留学生の理解度、満足度が、さらに向上するための授業の工夫。

以上

6. 教養教育科目

本学では、「積極進取の気概とあらゆる民族から敬慕されるに値する教養と品格を具えた有為の人材の育成」を建学の理念に掲げている。また、3つの基本方針を定めた上で、国際性、専門性、人間性を備えた人材の育成に取り組んでいる。その実現のため教育目標に挙げられている「世界のあらゆる民族・人種との共存、ならびに相互信頼を実現する柔軟な理解力、豊かな受容力」「確固たる信念をもって行動するための洞察力と決断力」「開拓精神にあふれ、かつ、そのために必要な知力と体力」を実現するためにも、教養教育科目の充実は重要である。

今年度は前年度同様に感染症等による想定外の状況に陥ることもなく、安定した学習環境が維持できたことによる効果が本アンケートからも随所に推測できる結果となった。

(1) アンケート実施科目数

教養教育科目に対する実施科目数は、141科目で、学部別では、商学部 31科目、政経学部 46科目、外国語学部 22科目、工学部 10科目、国際学部 25科目、兼担 7科目であった。

(2) 集計結果と評価

以下では、いくつかの設問項目を取り上げ、前年度との比較（ただし、前年度のアンケートが前期実施であったため厳密には比較できない）や近年の傾向について記述し、課題を述べる。なお、＜＞内に示した項目の右側には対応する設問番号を示している。

＜予習・復習＞ 1- (3)

本項目は、当該科目における予習・復習時間を尋ねるものである（1＝0.5h未満、2＝0.5h以上、3＝1h以上、4＝2h以上、5＝3h以上）。全体平均値（以下、「全体」とする）でも 1.88 と低い数値であるが、教養教育科目平均値（以下、「本科目」とする）では、1.62 となっている。このことから、学生の予習時間は十分とはいえない点を読み取れる。また、前年度と比較しても低下傾向にあるため、今後の対策が求められる。

＜質問・発言＞ 2- (6)

本項目は、対面授業の履修者のみ回答する項目であり、授業において学生の授業参加への促しがあったかどうかを尋ねるものである。本科目では 3.77 と相対的に低く、全体の 4.03 よりも低い。前年度と比較すれば 0.12 ポイント高くなっているものの、学生に積極的に質問を促すなど、授業運営における工夫が求められる。

＜理解のしやすさ＞ 2- (11)

今年度は、前年度同様の授業形態であったことが要因であるのか、本科目では前年度よりも 0.07 ポイント高くなったが、全体の 4.01 ポイントと比較すると 0.01 ポイント低く、教員には従前通りに内容がより分かりやすくなるような授業運営上の工夫が求められているといえる。

<興味関心>2- (12)

「この授業の内容に興味を持てましたか」という質問に対する回答は、本科目では、全体の 4.03 よりも低い 4.00 となった。結果としてはおおむね問題がないと考えるが、幅広い知識を身に着けることを目的とする本科目においては改善が望まれる。

<見方・考え方の深まり> 2- (13)

「この授業を通じてものの見方や考え方が深まりましたか」という質問に対する回答は、全体と同様の 4.01。前年度と比較するとわずかではあるが 0.01 ポイント高く、受講者は授業内容から新しい知見や知識を身に着けていると感じていることが分かる。

<満足度> 2-(14)

教養教育科目に対する満足度について、本科目では今年度は 4.14 で、前年度と比較して 0.04 ポイント高いものの、全体の 4.18 より 0.04 ポイント低く、結果としてはおおむね問題がないと考えるが、上述の<理解のしやすさ>同様に受講者からの改善点等に応じた授業運営上の工夫が求められているといえる。

<その他>

その他の項目についても本科目では 4.00 台と良好な数字となっており、授業運営はおおむね適切に行われていることがうかがえる。3.0 が適切である項目（難易度・授業進度）についても、両項目とも 3.37（難易度）、3.14（授業進度）と大きな問題はないように思われる。

(3) 課題

本調査の結果から、本科目においては、受講者による授業に対する「理解のしやすさ」、「ものの見方や理解の深まり」、「満足度」などはおおむね問題がない水準であり、いずれも前年度と比較すると上昇傾向にある。

また、（教養教育科目に限られない問題であるが）予習・復習時間の極端な少なさ、授業時間以外に質問すること（オフィスアワー等）や授業時の発言・質問への促しが不十分である点など、前年度からの課題も引き続き明らかになっている。

なお、教養教育科目では、次年度「全学共通教養科目」に改訂・始動するにあたり、系列及び科目名・内容の改編、様々な授業形態（現行カリキュラムは基本的に遠隔授業、新カリキュラムは一部科目を除き対面授業）などから、若干の混乱が生じることが予想されるが、ここ数年のコロナ禍に授業運営の在り方を根底から見直す必要に迫られた経験に基づき、様々な知識や方法を担当教員各位が応用し、種々工夫を推進することが求められる。

そして、従前にも増して、広く深く学術の基礎を学び人間性を涵養する教育となるよう、授業内容や授業方法の工夫・改善を進めていく必要がある。

以上

6. 教養教育科目（外国語科目）

令和6年度の「授業改善のための学生アンケート」は、後期（12月2日～12月14日）に実施した。以下、その結果を報告する。

（1）実施状況

外国語のアンケート実施科目数は5学科で計710件、アンケート上の分類中、最多である。昨年の702件から微増している。

（2）全体集計、学科目別の平均値及び標準偏差

- 1(1) 学生の出席状況：4.58は、全体平均4.61よりもわずかに低い。
- 1(2) ノート・メモ：4.16は全体平均4.01よりも高いものの、昨年度の4.24からわずかに低下している。昨年度に比べ、本項目は全体的に低下傾向にあり、外国語科目も例外ではないようである。
- 1(3) 予習・復習：1.99は全体平均1.88を上回っているものの、昨年度の2.10を下回っている。昨年度に比べ、本項目は全体的に低下傾向にあり、外国語科目も例外ではないようである。
- 2(1) 狙いの明確さ：4.33で全体平均と同じである。
- 2(2) 難易度：3.39で全体平均3.43をやや下回る。昨年度の数値3.48と比べても、授業難易度は概ね上手く設定できているものと考えられる。
- 2(3) 進度：3.16（昨年度3.23）で全体平均と同じである。昨年度比で数値が下がったので、授業進度が速いと感じた学生は減少している。
- 2(4) 声の大きさ：4.20で全体平均の4.20と同じである。
- 2(5) 環境の配慮：4.23で全体平均の4.23と同じである。
- 2(6) 質問・発言：4.26で全体平均の4.03を上回っている。比較的少人数制クラスが実現していることと、外国語科目の性質上、タスクの一環として学生に発言を促すことが多いと考えられる。
- 2(7) オフィスアワー：2.50で全体平均2.46をわずかに上回るが、利用率自体は低い。
- 2(8) 意欲・熱意：4.28で全体平均と同じである。
- 2(9) 時間の厳守：4.38で全体平均4.37をわずかに上回っている。105分授業が定着し、授業時間の厳守が浸透しているものと思われる。
- 2(10) 教材等の効果：4.26で全体平均4.23をわずかに上回っている。学生の関心を引く教材の選択が比較的できているものと考えられる。
- 2(11) 理解しやすさ：4.04で全体平均4.01をわずかに上回っている。多くの授業で、履修学生の語学レベルに合った授業内容が実現しているものと考えられる。
- 2(12) 興味関心：4.00で全体平均4.03をわずかに下回り、昨年度と同様の傾向が見られる。
- 2(13) 見方・考え方が深まる：3.94で全体平均4.01を下回っている。専門科目と比較して、本項目の値が低いのはやむを得ないものと思われる。
- 2(14) 満足度：4.20で全体平均4.18をわずかに上回っている。

（３）外国語科目の令和元年度から令和６年度までの各設問項目の経年比較

全体的に大きな変化があった項目はないが、1-(1)「学生の出席状況」の数値が過年度に比べて低いのは残念な結果である。一方、2-(14)「満足度の数値」が上昇傾向にあるのは好ましい結果である。また、2-(7)「オフィスアワー」の利用率が例年低いのは、授業時間内で学習内容を概ね理解・消化できているためであろうか。

（４）課題

アンケート結果を見る限り、緊急課題と認識すべき事案は見当たらないが、今後も授業改善アンケートの実施及び結果の分析を通じて、データ上の変化や推移を注視し、必要な対応を迅速に行える体制を継続的に整えておくことが重要と考える。

以上

6 教養教育科目（スポーツ・トレーニング科目）

（1）実施状況

令和6年度の「授業改善のための学生アンケート」は、令和6年12月2日（月）から12月14日（土）までの授業時間中に実施した。QRコードを学生に何らかの方法で提示（学生アンケートシステム）し、学生がスマホ等で読み込んでWeb上にて回答を回収した。

スポーツ・トレーニング科目のアンケート内容は、講義科目や実験実習科目と異なり、身体を動かす実技科目であることから独自の内容となっている。

実施科目数は、実質、商学部・政経学部が4科目（トレーニング基礎演習・生涯スポーツ基礎演習・生涯スポーツ応用演習A・生涯スポーツ応用演習B）、外国語学部・工学部が同様に4科目（科目名も商・政経学部と同じ）、国際学部が2科目（生涯スポーツ基礎演習Ⅰ・生涯スポーツ基礎演習Ⅱ）である。

教員7名（専任4名・講師3名）が、上記した方法でアンケートを実施し、アンケート当日欠席した学生には以下の連絡を送りアンケートを実施した。

「blackboardの連絡事項」にQRコードを掲載し、学生にスマホ等で読み込ませ、回答させた。

（2）アンケート項目

アンケート項目は21問。体育実技科目用のアンケートであるため、一般的な講義科目用のアンケートより設問数が若干多くなった。また、回答「3.0」が適切である項目は設けなかった。21問中の9問は、スポーツ・トレーニング科目独自の設問となった。

（3）受講姿勢に関する学生の自己評価ーその集計結果

1－（1）「学生の出席状況」の平均値は4.61である。令和5年度は、4.86であることから、微減したがまだ十分に高い数値であると言える。「出席率80%以上」と回答した学生は91%であった。昨年度の97.9%と比較すると約7ポイント低下したが、これもまだ十分に高いパーセンテージである。体育実技科目は、平成25年度までは国際学部を除く全学部が必修科目としていたが、平成26年度からは工学部のみが必修科目としている。その工学部も令和2年度からは必修科目から体育実技科目を外した。それ故、本調査の数値は、必修科目ではなくなった選択科目としての体育実技科目の4回目となる出席状況調査の数値である。平成22年度から令和元年度までの体育実技科目が必修であった10年間の「出席率80%以上」と回答した学生の平均値が90.7%であった。令和6年度の91%とほぼ同様の数値である。従って、令和6年度に体育実技科目を選択履修した学生の授業出席に対する真面目な姿勢が窺えると考察できる。

1－(2)「健康・運動への関心」の平均値は4.36であった。昨年度を下回ったが、極めて良好な数値であると思える。しかし、令和3年度の同設問に対する数値4.57より漸減してきている。「⑤強くそう思う」と「④そう思う」の合計（以下⑤+④とする）が、本調査では93.1%であった。令和5年度の調査も95.2%である。これらは令和元年度調査の81.1%を大きく凌駕している。自身の健康・体力に関してより強い関心を寄せている学生が、近年は履修登録していることが窺える。良い傾向であると考察できる。

1－(3)「積極的参加」の平均値は4.49であった。必修科目ではなく選択科目として体育実技科目を履修する学生であるから、この項目の数値が高いのは十分に頷ける現象である。令和5年度の4.61から微減している。ただし、⑤+④の合計値も本調査が96.8%であり、令和5年度は98.4%であった。微減しているが、レベルの高い積極参加の姿勢が十分に窺える。コロナ禍による運動不足や仲間たちと思うように会えなかったもどかしさなどによるフラストレーションの存在も今年度はまだ少し引きずっている可能性がある。

受講生の体育実技科目受講に対する意識は、近年、より積極的になってきていると思われる。それは受講生の態度（取り組みの状況）にもよく表れている。早く教場に来る・授業準備を積極的に手伝える・実技実施中に大声を出す・よく笑う・欠席や遅刻が少ない等々は、担当教員が感じる近年の受講生の変化である。令和6年度の「健康・運動への関心」についても「強くそう思う」「そう思う」と答えた「肯定群」の割合が93.1%と、令和元年度(81.1%)を12ポイント近く引き離している。受講学生が体育実技科目を選択履修する目的意識は極めて明確であり、これが数値に反映されていると考えられる。令和3年度前期までは、緊急事態宣言の発出に伴い、対面授業がほとんど行えなかった。しかし、この数値を見る限り、学生の取り組み状況にそれらの影響はないように見受けられる。むしろ、実際に仲間と共に身体を動かす喜びに学生は満ち溢れているよう窺える。「積極参加」も9.2ポイント、令和5年度は3年前より上昇している。オンライン授業では血気盛んと形容できる活発な大学生の活動欲求を十分に満たすことは難しい。

(4) 教育内容・方法について－その集計結果と今後の課題

2－(1)「狙いの明確さ」の平均値は4.47であった。令和4年度は4.55、令和元年度の数値は4.45。高い水準を継続して維持していると考察できる。学科目別回答の分析では、⑤+④が95.8%であり、昨年度の94.6%を1.2ポイント上回った。「狙いの明確さ」についての受講生の評価は若干上昇している。

2－(2)「運動量」の平均値は4.60であった。昨年度と同様である。十分に高い数値である。授業参加における運動量は十分であると受講生は感じていると考えられる。令和4年

度の調査でも 4.64 であった。令和元年度以前の調査とは設問文章の文言を変えているため、比較検討はできない。

2－(3)「体力、健康の向上・改善」の平均値は 4.41 であった。令和 5 年度は 4.54。この項目も令和元年度以前の調査とは設問の文言を変えている。従って、数値の比較検討はできない。4.41 は、体育実技科目の授業として十分に納得できる数値であると考察できる。

2－(4)「説明のわかりやすさ」の平均値は 4.52 である。これも他の質問項目と同様に首肯しうる数値ではあるが、科目の特性上、受講生が全く未知の内容を教授する訳ではないので、限りなく 5.0 に近づける努力をしなければならないと考えられる。昨年度の数値は 4.46 であった。わずかに数値が上昇した。令和元年度の 4.20 よりかなり向上している。良好な傾向が感じられる。

2－(5)「声の大きさ」の平均値は 4.53 である。令和 5 年度の 4.64 より 0.11 ポイント低い数値となった。しかし、特に問題は感じなくて良いと考えられる。高い数値である。⑤＋④は 97.8%であった。

2－(6)「コミュニケーション」の平均値は 4.47 である。令和 5 年度の 4.60 からわずかに低下した。しかし、良好な数値であると言えよう。⑤＋④も 92.1%であった。学生とのフレンドリーな関係（運動場面においては、選手と指導者とのフレンドリーな関係が選手の躍動感につながると言われている）が十分に窺える。

2－(7)「雰囲気」の平均値は 4.58 である。令和 5 年度の 4.57 よりわずかに数値は増加した。⑤＋④は 98.4%である。これも極めて良好な数値である。今後とも継続して行きたい。

2－(8)「授業の準備」の平均値は 4.61 である。新設した質問項目であるため、令和元年度以前のデータはない。令和 5 年度は 4.67 であった。⑤＋④は 96.3%である。施設面・用具面などの授業の準備に関しての学生の評価は十分に高いと考えられる。及第点であろう。

2－(9)「安全への配慮」の平均値は 4.68 である。令和 5 年度は 4.77 であった。2－(8)と同様に新設の設問であるため、令和元年度以前のデータはない。⑤＋④は 97.4%と高い数値である。しかし、体育実技科目においては「安全への配慮が十分でしたか」の問いに対しては、⑤＋④は 100%にならないと考慮されなければならないと考えられる。今後の課題として、いの一歩に捉えなければいけないであろう。

2－(10)「意欲・熱意」の平均値は4.63である。令和5年度は4.80であった。この項目も新設した設問であるため、令和元年度以前のデータはない。⑤+④は95.2%と十分に高い数値である。教員の情熱を受講生は存分に感じていると考えられる数値である。

2－(11)「時間の厳守」の平均値は4.51である。令和5年度は4.72であった。微減している。この項目も新設した設問であるため、令和元年度以前のデータはない。⑤+④は93.5%とこの数値も低下してしまった。「安全への配慮」と同様に100%にならないといけない項目であると考えられる。今後の課題として捉えなければならない。

2－(12)「興味関心」の平均値は4.50である。令和5年度は4.60。この項目も新設した設問であるため令和元年度以前のデータはない。⑤+④は96.3%と非常に良好な数値となった。多くの学生が授業内容に興味を抱いていると回答している。

2－(13)「知識・技術の習得」の平均値は4.42である。令和5年度の平均値4.52よりわずかに評価が下がった。⑤+④は93.1%である。これも極めて良好な数値である。今後とも継続して行きたい。

2－(14)「健康・体力維持」の平均値は4.51である。これは令和5年度の4.55よりわずかに評価が低下した。⑤+④は95.2%である。もちろん極めて良好な数値ではあるが、この項目こそが、100%達成を目指すべき項目であろう。体育実技科目の達成目標の柱となるものである。今後の課題として、この項目の評価を体育実技担当教員は共有していかなければならないと考える。

2－(15)「満足度」の平均値は4.59である。これも令和5年度の4.63よりわずかに評価が下がった。⑤+④は97.9%と極めて高い数値である。一般的な講義科目より高い評価を受けたのは、選択科目としての実技科目としての科目の特性上当然であると考えられるが、受講生の興味関心がもともと高いが故に、授業内容に失望した際には大きく数値が落ちるであろうことは想像に難くない。今後も高い満足度の数値を得て行くために担当教員は鋭意努力していかなければならないと考える。

(5) スポーツ・トレーニング科目独自設問—その集計結果と今後の課題

3－(1)「種目の選択と内容の希望」の平均値は4.54である。令和5年度の4.51よりわずかに高い評価となった。良好な数値であると考ええる。⑤+④は97.4%であった。

3－（２）「時間帯」の平均値は4.48である。令和5年度の4.60より若干数値は低下している。体育実技科目であるため激しい身体活動に適していると考えられる2時限目～4時限目の時間帯に、フットサルを除く種目は授業時間を配置しているため、多くの学生がこの項目を肯定していると考えられる。⑤＋④は95.6%である。今後も授業の配置時間は現状の配置を基本的に継続して行く所存だが、種目と使用施設の関係上、難しいケースが生まれる可能性は否定できない。

3－（３）「履修の希望」の平均値は4.32である。令和5年度は4.37であった。令和元年度以前の10年間の平均値3.69をかなり上回る結果である。これは、必修科目としての体育実技が無くなり、体育実技の全てが選択科目となった令和3年度以降の学生評価アンケート調査であることが強く影響していると考えられる。選択科目であることから、当然、運動嫌い・体育嫌いの学生は履修してこない。現在我々が提供している実技プログラムを履修したいと考えている学生だけが履修してくるという単純な結果であろう。⑤＋④は85.7%であった。しかし、取得することができる体育実技科目の単位数は限られている。体育実技科目に限っては特別な科目として単位取得の制限が撤廃される、あるいは、一度取得した単位でももう一度申し込みまた受講できるなどの特別な措置が構築されなければリピート受講はできない。多くの学生がリピート受講を望んでいる。

以上、現状の分析と今後の課題を簡便に示してきた。2－（１５）の「満足度」の平均値からは、強く、受講生の体育実技科目受講に対する好意的な評価を窺うことができる。しかし、詳細に検討すると「どちらとも言えない」が2.12%存在している。新たに105分授業が導入された令和4年度以降、更衣と教場への移動を伴う体育実技科目にとっては授業が行い易い環境となった。学生の不満のひとつである授業の支度の煩雑さは大いに解消されている。

105分授業導入は、体育実技科目にとっては極めて追い風である。学生の満足度と学生の体力向上を目指し、更なる努力で体育実技授業の改善を図って行きたい。

7. 教職課程科目

今回から、教職課程科目は、日本語教員養成基礎講座とは切り離して単独で集計・評価されることになった。したがって、今年度の数値が次年度以降分析する際の起点となる。昨年度と比較する場合には、多少の留保が必要である。なお、評価対象科目は昨年度より7科目減の計46科目である。また今回、「ICT機器の活用」「取り組み姿勢」を問う教職科目独自の設問項目を設定した。

2-(14)「総合的な満足度」は、今年度の平均値は昨年度4.41よりやや減の4.33であった。これは、全学(2122科目)の4.18を上回っており、教職課程の受講学生的好意的評価は維持されていると言える。ただ、全学の平均値は昨年度比で0.03ポイント増であったことから、楽観的な評価は戒めなければならない。以下、個別の分析を踏まえて、今後の課題について述べる。

1. 自己評価について

- (1)「学生の出席状況」の平均値は4.66(標準偏差0.59)であり、昨年度より0.08ポイント低下した。
- (2)「ノートやメモ」の平均値は4.23(同0.76)であり、昨年度より0.15ポイント低下した。
- (3)「予習あるいは復習」の平均値は1.66(同0.92)であり、昨年度より0.29ポイント低下した。内訳では、予習あるいは復習の時間「30分未満」が昨年度より15%余り増加して56.3%となった。

学生の自己評価からは、全体として学修への積極性がやや低下している現状が窺える。90%以上の出席率が72.0%と昨年度より6%減、「ノートやメモ」については「強くそう思う」「そう思う」と答えた「肯定群」(以下、同様の表記)の割合が88.3%と昨年度より2%減であった。ただし、「ノートやメモ」について「強くそう思う」が昨年度より約10%減の38.9%となった。いずれの設問項目も平均値の低下は全学的傾向ではあるが、教職科目での履修学生の取組姿勢としては改善すべき課題である。

また、「予習あるいは復習」については、今年度は昨年度よりも0.29ポイント減、また全学の平均値(1.89)よりも0.23ポイント減といずれも下げ幅が大きかった。「予習あるいは復習」「30分未満」の割合が過半数を占め、逆に「1時間以上2時間未満」が昨年度からほぼ半減(20.4%から11.2%へ)した点が特徴的である。

授業担当者が履修学生の目的意識に働きかけるなどして、ノートやメモを取るよう促す指導、課題・宿題を効果的に取り入れて予習・復習を習慣化する工夫などに一層力を入れていく必要がある。

2. 教育内容・方法について

個別の設問項目の平均値について、昨年度との変動は小数点二桁レベルではあるものの、概ね「昨年度並み」か「やや減」であり、ほとんどの項目で全学平均値を上回る。今回新設の設問「ICT機器の適切な活用」についても、履修学生の評価は好意的である。他方で、「授業時間以外に先生へ質問に行く（オフィスアワー等）」については、全学平均値を下回り、下げ幅が大きかった。

- (1) 「授業のねらいの明確さ」の平均値は 4.46（標準偏差 0.61）であり、昨年度 4.50（同 0.55）よりやや低下した。また「強くそう思う」「そう思う」と答えた「肯定群」は 96.1%と、昨年度とほぼ同程度であった。
 - (2) 「難易度」の平均値は 3.30（同 0.58）であり、昨年度の 3.44（同 0.58）よりやや易化した。「やや難しい」と答えた割合が 8.5%低下して 26.3%となり、「ちょうど良い」は昨年度より 7.5%増加して 67.9%であった。
 - (3) 「進度」の平均値は 3.16（同 0.50）であり、昨年度の 3.14（同 0.44）とほぼ同程度であった。「ちょうど良い」は昨年度より約 4%減の 80.6%であった。
 - (4) 「声の大きさ」（聞き取りやすさ）の平均値は 4.38（同 0.69）であり、昨年度 4.45（同 0.65）よりやや低下した。
 - (5) 「環境の配慮」（私語の防止等）の平均値は 4.35（同 0.68）であり、昨年度の 4.40（同 0.65）よりやや低下した。「肯定群」は昨年度とほぼ同程度の 91.3%となった。
 - (6) 「学生の質問・発言を促す」の平均値は 4.24（同 0.78）であり、昨年度 4.36（同 0.75）より 0.12 ポイント低下した。また「肯定群」は昨年度より約 4%低下して 85.6%となったが、「強くそう思う」は昨年度より約 8%減の 41.8%となった。
 - (7) 「授業時間以外に先生へ質問に行く（オフィスアワー等）」の平均値は 2.14（同 1.34）であり、昨年度の 2.61（同 1.34）より 0.47 ポイント低下した。また「肯定群」も 9.8%減少して、19.0%となった。
 - (8) 「先生の授業への意欲・熱意」の平均値は 4.48（同 0.63）であり、昨年度とほぼ同程度であった。
 - (9) 「時間厳守」の平均値は 4.52（同 0.64）であり、昨年度とほぼ同程度であった。
 - (10) 「教材等の効果」の平均値は 4.39（同 0.69）であり、昨年度の 4.43（同 0.70）よりやや低下した。
 - (11) 「理解しやすさ」の平均値は 4.20（同 0.69）であり、昨年度 4.24（同 0.68）よりやや低下した。また「肯定群」は昨年度よりほぼ同程度の 89.7%となった。
 - (12) 「興味」の平均値は 4.26（同 0.75）であり、昨年度の 4.34（同 0.66）よりやや低下した。また「肯定群」は昨年度とほぼ同程度の 89.0%となった。
 - (13) 「見方・考え方」の平均値は 4.33（同 0.71）であり、昨年度の 4.31（同 0.71）とほぼ同程度となった。また「肯定群」は昨年度とほぼ同程度の 92.2%であった。
- ・ 今回の新設項目「ICT機器の活用は適切」については、平均値は 4.29（同 0.77）であった。

個別の設問項目の平均値は、以上の通り「昨年度と同程度」か、小数点二桁レベルの微減に当たる「やや減」の傾向が多くにみられた。「肯定群」についても昨年度と同程度か数%の減少が多かったが、同程度の場合でも、「強くそう思う」が減少し、「そう思う」が増加する傾向が窺えた。ただほとんどの設問項目で、全学の平均値を下回っているものはなく、全体としては好意的な評価が維持されている。(2)「難易度」は「ちょうど良い」が3分の2を、(3)「進度」も「ちょうど良い」が8割を占めており、この点で学生の授業評価は概ね良好ととらえられる。(1)「授業のねらいの明確さ」についても、9割を超える「肯定群」のなかで「強くそう思う」が引き続き過半数を占めており、担当教員の授業改善・工夫が概ね本学学生の実態に対応して行われているものと考えられる。

ただ、小数点一桁レベルでのやや大きな下げ幅がみられたのが、すでに述べた(7)「授業時間以外に先生へ質問に行く（オフィスアワー等）」であり、これは唯一、全学平均値を下回った。また、(6)「学生への質問・発言を促す」についても下げ幅が大きかった。

さらに、今回はもう一つの新設項目「将来を見据えた取組姿勢」を学生に問うた。同一学生の履修科目数が異なり、累計処理されたので、おおまかな傾向しか掴めないが、「卒業後教員を強く希望する」が38.3%、「将来的に教員になる」が24.6%、「教員になるかどうか未定」「教員になる考えはない」が合わせて23.6%であった。教員希望の強い学生が一定程度履修する一方で、自身の将来設計があいまいな学生もいる。こうした学生の将来に向けた幅広い意識傾向も踏まえて、教職の魅力・やりがいを喚起しながら、個別学生の自己実現に向けて「オフィスアワー」の利用を促す指導を行っていく必要がある。また、105分授業の3年目に入り、担当教員もそれに対応して学生の主体的学修を促す工夫をしてきているが、学生の個人・ペア・グループ単位の発言機会を通した授業改善を一層すすめることが求められる。

次年度に向けた改善課題は以下の通りである。

- (1) 履修学生の目的意識に働きかけ、教職の魅力・やりがいを喚起しながら、ノートやメモを取るよう促す指導や、課題・宿題を取り入れるなどした予習・復習の習慣化の工夫に努める。
- (2) (1)と関連付けながら、個別学生の自己実現に向けて「オフィスアワー」の利用を促す指導を行っていく。
- (3) 個人・ペア・グループ単位の学生の発言機会の拡充を通した授業改善を一層すすめる。

以上、評価と課題を述べてきたが、これらを総括する「2-(14)総合的な満足度」の数値は、昨年度よりやや低下したものの、受講学生が授業に対して好意的な評価をしていることはすでに述べた。もっとも、「総合的な満足度」の肯定群のうち「強くそう思う」が昨年度より6%余り減少して42.2%となり、減少分が「そう思う」の割合を増やしている点は真摯に受け止める必要がある。教職課程単独での集計・評価の元年となった今年度のアンケート結果を共有して、次年度に向けてさらなる工夫改善に努めたい。

以上

8. 日本語教員養成講座科目

日本語教員養成講座の科目は全部で14あり、そのうち、「授業改善のためのアンケート」が実施されたものは8科目であった。

アンケート結果を見ると、2-(14)「総合的にこの授業に満足していますか。」の平均値が4.34（標準偏差0.72）であり、総合的に見て、本講座科目の授業に対する受講生の満足度が高いことがわかる（選択肢は、5が「強くそう思う」、4が「そう思う」、3が「どちらとも言えない」、2が「そう思わない」、1が「全くそう思わない」。ほかの設問についても、断りのないかぎり同様）。

以下、アンケート結果を項目別に見ていく。

1. 「自己評価」について

1-(1)「あなたのこの授業の出席率は何の程度ですか。」については、平均値が4.54（標準偏差0.72）であった。

1-(2)「あなたは授業での口頭説明や板書内容などについて、ノートあるいはメモをとっていますか。」については、平均値が4.09（標準偏差0.83）であった。

以上からは、授業参加に熱心な受講生が多いことがうかがえる。

一方、1-(3)「あなたはこの科目について、毎回どのくらい予習あるいは復習をしていますか。」については、平均値が1.99（標準偏差1.08）であった。

これは、ほとんど予習・復習をしていないか、していても1時間程度のものが多いことを示している（選択肢は、5が「3h以上」、4が「2h以上」、3が「1h以上」、2が「0.5h以上」、1が「0.5h未満」）。

2. 「教育内容・方法」について

ここの設問については、選択肢3が「ちょうど良い」である（3.0が適切である）2-(2)と2-(3)、および「授業時間以外」のことを聞いている2-(7)を除き、いずれも平均値が4.0を超えており、本講座科目の授業が高い評価を得ていることがうかがえる。

2-(1)「この授業は講義要項に沿って授業が行われていますか。」は、平均値4.44（標準偏差0.60）であった。

2-(4)「話し方や声は聞き取りやすいですか。」は、平均値4.44（標準偏差0.67）であった。

2-(5)「先生は授業に集中できるよう配慮していますか。」は、平均値4.23（標準偏差0.73）であった。

2-(6)「この授業は学生の授業参加を促しましたか。」は、平均値4.51（標準偏差0.65）であった。

2-(8)「先生の授業に対する意欲や熱意を感じますか。」は、平均値4.46（標準偏差0.62）であった。

2-(9)「この授業の開始・終了時間は守られていますか。」は、平均値4.55（標準偏差0.55）であった。

2-(10)「教材等（教科書・配布資料・板書・パワーポイント等）はこの授業内容を理解するのに有効ですか。」は、平均値 4.44（標準偏差 0.65）であった。

2-(11)「この授業の内容はよく理解できましたか。」は、平均値 4.14（標準偏差 0.71）であった。

2-(13)「この授業を通じてものの見方や考え方が深まりましたか。」は、平均値 4.28（標準偏差 0.62）であった。

また、選択肢 3 が「ちょうど良い」である（3.0 が適切である）2-(2)「この授業の難易度はどうですか。」は、平均値が 3.43（標準偏差 0.62）であった（選択肢は、2-(2)では、5 が「難しすぎる」、4 が「やや難しい」、2 が「やや易しい」、1 が「易しすぎる」、2-(3)では、5 が「速すぎる」、4 が「やや速い」、2 が「やや遅い」、1 が「遅すぎる」）。

同じく選択肢 3 が「ちょうど良い」である（3.0 が適切である）2-(3)「この授業の進度はどうですか。」については、平均値が 3.13（標準偏差 0.42）であった。

2-(2)と 2-(3)については、「ちょうど良い」を選んだ者が多く（2-(2)で 5 割以上、2-(3)では 8 割以上）、多くの者が難易度・進捗ともに「ちょうど良い」と思っているようすがうかがえる。

一方、2-(7)「授業時間以外に先生へ質問に行くこと（オフィスアワー等）がありますか。」については、平均値が 2.47（標準偏差 1.35）であった。

ここからは、多くの者が質問に行っていないことがわかる。ただし、4 か 5 を選んだ者が 3 割弱いる点を見ると（また標準偏差からも）、質問に行く者が一定数いることもうかがえる。

以上をまとめると、本講座科目の受講生には、出席状況やノート・メモに見られるように、授業において真面目な者が多く、また、受講生の授業に対する評価も高いといえる。これには、担当教員の授業に対する工夫や努力によるところも大きいのではないかと考える。ただし、予習・復習時間の少なさや、授業時間外に教員に質問に行くことの少なさに見られるように、授業以外の時間における学習が足りない点が問題点として挙げられる。

今後の課題としては、受講生が授業内容をきちんと理解し、ものの見方や考え方をさらに深められるように、教員が授業の内容や教え方などについてさらに工夫し改善するのはもちろんのこと、宿題や課題を充実させるなどして、受講生に予習・復習の習慣化を促し、教員への質問なども積極的に行うように働きかけを行っていくことなどが挙げられるだろう。こういったことが、さらなる授業改善につながると思う。

以 上

参考資料

「授業改善のための学生アンケート」実施要領

アンケート様式

令和6年度「授業改善のための学生アンケート」実施要領（学部）

1. 目的

学修者本位の教育の質の向上を図るため、各教員が授業に対する学生の評価・意見を直接聞き、授業内容及び教育方法の改善に反映させ、さらに、学部・学科全体として、授業科目・教育課程の編成・実施に関する改善策の検討に役立てること。

2. 対象科目

本学で開講する通年科目及び後期科目（オンデマンド型授業を含む）を対象とする。

ただし、北短開講科目、一部の委託業者担当科目、講座科目（オムニバス）、集中講義（工学部卒業研究を含む）は対象外とする。

3. 実施期間

令和6年12月2日（月） ～ 12月14日（土）

4. 実施方法

「学生アンケートシステム」を使用し、Web上で実施する。

- (1) 事前に「学生アンケートシステム」にログインし、科目毎のQRコードとURLが記載されたPDFデータを出力（必要であれば印刷）する。科目毎専用のアンケートフォームとなっているため、アンケート実施時に科目が混在しないように注意する。
- (2) アンケート実施期間前の授業にて、アンケート実施の旨と、スマートフォン（以下スマホ）を持参するよう学生に周知する。
- (3) アンケート実施期間内に、次の方法にて実施する。所要時間は5分程度。

【対面授業科目】

教室内のスクリーン（モニター）にQRコードを表示し、学生がスマホ等で読み込んで回答する。スマホ非所有者は【オンデマンド型授業科目】の方法で対応する。またQRコードを読み取れない場合は、URLから回答するよう依頼する。

【オンデマンド型授業科目】

各授業科目の担当教員において、Blackboardの「連絡事項」にQRコード（PDF）を掲載頂き、学生がスマホ等で読み込み回答する。

※体育実技科目については同様の方法で実施する。

《特記事項》

- ・同一教員が担当している連続授業（2コマ以上）については、期間内に1度のアンケート実施をお願いします。
- ・複数の教員が担当している連続授業については、各担当教員でのアンケート実施をお願いします。

5. 科目別集計表等の作成、実施結果の取り纏め

- (1) 実施期間後（12月15日（日）以降）に科目別集計表が自動で集計される。
- (2) 担当教員は、科目別集計表の「アンケート結果に対する担当教員の所見及び改善に向けた今後の取組方針」について学生アンケートシステム上で入力する。
（入力文字数は任意、800字まで入力可）
- (3) FD委員会は“実施結果報告書 第Ⅰ部 全体集計”、“第Ⅱ部 科目別集計”を作成する。
- (4) 各学部FD委員会は、実施結果を分析し、報告書を纏めるにあたって、学部において授業改善のための意見交換を行い、「今後の課題」の中でいくつかの「具体的な次年度の授業改善取組方針及び実施計画」を掲げる。
実施結果報告書第Ⅰ部の記載項目は、「Ⅱ実施状況」、「Ⅲ全体集計」を基に、各学部等の「Ⅳ評価及び課題」をA4サイズ2～3枚程度に纏める。

6. 活用方法

- (1) 各教員は「科目別集計結果」及び「実施結果報告書」を、自己の授業内容及び教育方法の改善に役立てる。
- (2) 各学部・学科は、「科目別集計結果」及び「実施結果報告書」を、授業科目・教育課程の編成・実施に関する組織的な改善策の検討に役立てる。
- (3) 大学は、教育の質の向上を図るための教学マネジメントの一環として、各学部における取組に対して適切な支援と助言を行う。

以 上

令和6年度 「授業改善のための学生アンケート」 設問項目
【講義等科目用】

【選択肢の凡例】 5:強く思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

1	自己評価					(7)	授業時間以外に先生へ質問に行くこと (ワイアワ-等) がありますか。⑤良く ある ④ある ③どちらともいえない ②あまりない ①全くない						
(1)	あなたのこの授業の出席率ほどの程度 でしたか。	⑤ 90% 以上	④ 80% 以上	③ 60% 以上	② 40% 以上	① 40% 未満	(8)	先生の授業に対する意欲や熱意を感じ ますか。	⑤	④	③	②	①
(2)	あなたは授業での口頭説明や板書内容 などについて、ノートあるいはメモを とっていますか。 (※対面授業の履修者のみ回答してく ださい)	⑤	④	③	②	①	(9)	この授業の開始・終了時間は守られて いますか。 (※対面授業の履修者のみ回答してく ださい)	⑤	④	③	②	①
(3)	あなたはこの科目について、毎回のど くらい予習あるいは復習をしています か。(h=時間)	⑤ 3h 以上	④ 2h 以上	③ 1h 以上	② 0.5h 以上	① 0.5h 未満	(10)	教材等(教科書・配付資料・板書・パ ワーポイント等)はこの授業内容を理 解するのに有効ですか。	⑤	④	③	②	①
2	教育内容・方法					(11)	この授業の内容はよく理解できまし たか。						
(1)	この授業は講義要項に沿って授業が行 われていますか。	⑤	④	③	②	①	(12)	この授業の内容に興味を持ってまし たか。	⑤	④	③	②	①
(2)	この授業の難易度はどうですか。⑤難 しすぎる ④やや難しい ③ちょうど良 い ②やや易しい ①易しすぎる	⑤	④	③	②	①	(13)	この授業を通じてものの見方や考え 方が深まりましたか。	⑤	④	③	②	①
(3)	この授業の進捗はどうか。⑤速す ぎる ④やや速い ③ちょうど良い ② やや遅い ①遅すぎる	⑤	④	③	②	①	(14)	総合的にこの授業に満足しています か。	⑤	④	③	②	①
(4)	話し方や声は聞き取りやすいですか。 (※対面授業の履修者のみ回答してく ださい)	⑤	④	③	②	①	3	学部等設問項目					
(5)	先生は授業に集中できるよう配慮(私 語の防止等)していますか。 (※対面授業の履修者のみ回答してく ださい)	⑤	④	③	②	①	各学部、教職課程科目の「学部等設問項目」が入ります。						
(6)	この授業は学生の授業参加(質問・発 言)を促しましたか。 (※対面授業の履修者のみ回答してく ださい)	⑤	④	③	②	①							

自由意見欄 (自由記述)	この授業で良かった点、改善してほしい点、この教室の環境(教室の大きさ・エアコン・防音・設備など)について意見や要望があれば、具体的に書いてください。
-----------------	--

《学部等設問項目》

商学部	(1)	あなたは、この授業に対して十分に取り組んだと思いますか。
政経学部	(1)	この授業の満足度として、あなたが考える一番大きなものは何ですか。 ⑤ 自分が勉強したい内容であった ④ 授業がわかりやすい ③ 単位を取得することができそう ② 宿題やテストで内容が身についた ① 講義の時間帯が適切であった
	(2)	留学生だけに質問します。留学生からみて、この授業に必要なことは何ですか。(複数回答可) ⑤ ゆっくり話してほしい ④ 文字情報をふやしてほしい ③ 教材の漢字にふりがなをつけてほしい ② 日本語の書き方を教えてほしい ① 試験前に質問の時間がほしい
外国語学部	(1)	この授業で使う教室の大きさ、施設・備品などは適切ですか。(※対面授業の履修者のみ回答してください)
工学部	(2)	このクラスの学生数は適切ですか。(※対面授業の履修者のみ回答してください)
	(1)	この授業の到達目標をよく理解していますか。
	(2)	宿題や課題に前向きな気持ちで取り組んでいますか。
	(3)	この授業の内容について、先生や友人とよく話しますか。
国際学部	(4)	この授業は、対面とオンデマンド／メディア授業のどちらの形式に適していると思いますか。 (※オンデマンド授業またはメディア授業の履修者のみ回答してください) ⑤対面に適している ④どちらかという対面に適している ③どちらとも言えない ②どちらかというオンデマンド／メディア授業に適している ①オンデマンド／メディア授業に適している
	(1)	留学生だけに質問します。この授業の内容はどのくらいわかりますか。 ⑤よく わかる ④だいたい わかる ③はんぶん わかる ②ほとんど わからない ①全く わからない
	(2)	留学生だけに質問します。先生の日本語はどのくらいわかりますか。 ⑤よく わかる ④だいたい わかる ③はんぶん わかる ②ほとんど わからない ①全く わからない
	(3)	留学生だけに質問します。この授業に必要なことは何ですか。(複数選択可) その他の意見がある場合は、自由意見欄に記入してください。 ⑤漢字の読み方をひらがなで書いてほしい ④ホワイトボードか黒板に書いてほしい ③レジュメなどプリントを配ってほしい ②キーワードをわかりやすく示してほしい ①もう少しゆっくり、はっきり話してほしい
教職課程科目	(1)	この授業ではICT機器の活用は適切に行われていますか。
	(2)	この授業に取り組む姿勢として、一番当てはまるものは何ですか。 ⑤卒業後教員を強く希望しており、必要な知識技能を身に付ける ④卒業後教員を多少希望しており、必要な知識技能を身に付ける ③将来的に教員も考えており、必要な知識技能を身に付ける ②教員になるかどうかは未定だが、免許取得を目指すに適している ①教員になる考えはないが、免許取得は目指す

【工学部・実験・実習科目用】

【選択肢の凡例】 5:強く思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

1	自己評価	5	4	3	2	1	(5)	先生は授業に集中できるよう配慮（安全及び私語の防止等）していますか。 （※対面授業の履修者のみ回答してください）	⑤	④	③	②	①
(1)	あなたのこの授業の出席率はどの程度でしたか。	⑤ 90%以上	④ 80%以上	③ 60%以上	② 40%以上	① 40%未満	(6)	先生は熱意をもって授業を行っていますか。	⑤	④	③	②	①
(2)	あなたはこの授業のために事前準備を行っていますか。	⑤	④	③	②	①	(7)	この授業の開始・終了時間は守られていますか。 （※対面授業の履修者のみ回答してください）	⑤	④	③	②	①
(3)	あなたはこの授業のレポート作成にまじめに取り組んでいますか。	⑤	④	③	②	①	(8)	教材等（実験機材・教科書・配付資料・板書・パワーポイント・模型等）はこの授業内容を理解するのに有効ですか。	⑤	④	③	②	①
(4)	あなたの受講態度（遅刻状況、授業への集中度、私語の有無などの総合評価）はどうでしたか。⑤非常に良かった ④良かった ③普通 ②悪かった ①非常に悪かった	⑤	④	③	②	①	(9)	教材（実験機材・テキスト・配付資料・模型など）の使用は適切ですか。	⑤	④	③	②	①
							(10)	この授業の内容はよく理解できましたか。	⑤	④	③	②	①
2	教育内容・方法	5	4	3	2	1	(11)	この授業のテーマに関する知識あるいは技術が身につきましたか。	⑤	④	③	②	①
(1)	この授業の難易度はどうですか。⑤難しすぎる ④やや難しい ③ちょうど良い ②やや易しい ①易しすぎる	⑤	④	③	②	①	(12)	この授業の内容に興味が持てましたか。	⑤	④	③	②	①
(2)	この授業の進捗はどうですか。⑤速すぎる ④やや速い ③ちょうど良い ②やや遅い ①遅すぎる	⑤	④	③	②	①	(13)	この授業を通じてものの見方や考え方が深まりましたか。	⑤	④	③	②	①
(3)	説明は分かりやすいですか	⑤	④	③	②	①	(14)	総合的にこの授業に満足していますか。	⑤	④	③	②	①
(4)	話し方や声は聞き取りやすいですか。 （※対面授業の履修者のみ回答してください）	⑤	④	③	②	①							

自由意見欄 (自由記述)	(1)	この授業で良かった点は、なんですか。
	(2)	この授業で改善してほしい点があれば書いてください。
	(3)	この授業の環境（教室の大きさ・エアコン・照明・防音・備品など）について意見や要望があれば具体的に書いてください。

【スポーツ・トレーニング用】

【選択肢の凡例】 5:強く思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

1	自己評価	5	4	3	2	1							
(1)	あなたのこの授業の出席率は何の程度でしたか。	⑤ 90%以上	④ 80%以上	③ 60%以上	② 40%以上	① 40%未満	(8)	この授業は施設・用具など授業の準備は十分でしたか。⑤十分であった ④おおむね十分であった ③どちらとも言えない ②やや不十分であった ①不十分であった	⑤	④	③	②	①
(2)	あなたは自分の健康と運動・栄養・休息に関心を持っていますか。	⑤	④	③	②	①	(9)	この授業は安全への配慮が十分でしたか。⑤十分であった ④おおむね十分であった ③どちらとも言えない ②やや不十分であった ①不十分であった	⑤	④	③	②	①
(3)	あなたはこの授業でやる気を持って積極的に取り組んでいますか。	⑤	④	③	②	①							
2	教育内容・方法	5	4	3	2	1	(10)	先生は熱意をもって授業を行っていますか。	⑤	④	③	②	①
(1)	この授業は講義要項に沿って授業が行われていますか。	⑤	④	③	②	①	(11)	この授業の開始・終了時間は守られていますか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①
(2)	この授業の運動量はどうか。 ⑤十分であった ④おおむね十分であった ③どちらとも言えない ②やや不足していた ①不十分であった	⑤	④	③	②	①	(12)	この授業の内容に興味を持ちましたか。	⑤	④	③	②	①
							(13)	この授業のテーマに関する知識あるいは技術が身につきましたか。	⑤	④	③	②	①
(3)	この授業で体力・健康状態が向上・改善されましたか。⑤十分であった ④おおむね十分であった ③どちらとも言えない ②やや不十分であった ①不十分であった	⑤	④	③	②	①	(14)	この授業は学生生活及び健康・体力維持に役立ちましたか。	⑤	④	③	②	①
							(15)	総合的にこの授業に満足していますか。	⑤	④	③	②	①
(4)	説明は分かりやすいですか。	⑤	④	③	②	①	3	スポーツ・トレーニング設 問事項	5	4	3	2	1
(5)	話し方や声は聞き取りやすいですか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①	(1)	履修したスポーツ種目の選択と内容はあなたの希望にそっていましたか。	⑤	④	③	②	①
(6)	教員と学生との友好的なコミュニケーションがありますか。	⑤	④	③	②	①	(2)	受講した時間帯は適切でしたか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①
(7)	この授業は身体活動にふさわしい雰囲気には保たれていますか。	⑤	④	③	②	①	(3)	次年度以降、あなたの好きな「生涯スポーツ応用演習」(自由科目)を履修したいですか。	⑤	④	③	②	①

自由意見欄 (自由記述)	(1)	この授業で良かった点は、なんですか。
	(2)	この授業で改善してほしい点があれば書いてください。
	(3)	この授業の環境(アリーナ・グラウンド・トレーニングルーム・更衣室・シャワールームおよび用具<ボール・ラケット等>)について意見や要望があれば具体的に書いてください。